

事業年度	令和8年度
工事種別	改修工事（建築工事）
工事番号	小大工-6

課長	係長	検算	設計

工事名 可児市立旭小学校トイレ大規模改造工事（Ⅱ期）

◎注意事項

この内訳書の工事項目及び数量は、積算する上での参考資料です。
積算の際は、設計図面にて工事項目及び数量を拾い出し積算して下さい。

可児市 教育委員会事務局 教育総務課

当初 設計書

工事番号	小大工-6	工事箇所	可児市 大森 地内	施設名	旭小学校
工事名	可児市立旭小学校トイレ大規模改造工事（Ⅱ期）				
理 由			工 事 概 要		
<p>本工事は旭小学校において、令和5年度に策定した「可児市小中学校トイレ改修計画」に基づき、経年により老朽化して環境が悪化したトイレの環境改善と共に、洋式化やバリアフリー化を図り、多様性へ十分配慮したトイレを整備するものである。</p>			<p>建築工事 一式 ・躯体改修工事 ・防水改修工事 ・建具改修工事 ・内装改修工事 ・塗装改修工事</p> <p>電気設備工事 一式 ・電灯設備工事 ・コンセント設備工事 ・弱電設備工事</p> <p>機械設備工事 一式 ・換気設備工事 ・衛生器具設備工事 ・給水設備工事 ・排水通気設備工事</p>		
金 額		円	内消費税相当額		円
特 記 仕 様 書					
<p>1. 一般事項</p> <p>(1) 受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。</p> <p>(2) 受注者は、本工事が「可児市工物品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。</p> <p>(3) 提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿（指示、協議、承諾は除く）、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、別添様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。</p> <p>2. 建設副産物有効利用及び適正処理について</p> <p>(1) 受注者は、建設副産物を排出するにあたっては、建設リサイクル法を遵守するとともに、「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」により、適切に実施すること。</p> <p>(2) 建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。また受注者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。なお、「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」及び「岐阜県建設発生土管理基準」に基づき適正な利用の推進を図ること。</p> <p>3. 使用材料</p> <p>(1) 生コンクリートについて 本工事に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリート(24N/mm²以上)については55%以下、無筋コンクリート及び鉄筋コンクリート(21N/mm²以下)については60%以下、均しコンクリートについては60%程度とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。</p> <p>4. 工事施工について</p> <p>(1) 受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないよう努めること。</p> <p>(2) 工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、請負人の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。</p> <p>5. 工事保険について 本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険(保険対象:第三者に与えた損害)及び工事保険(保険対象:工事目的物、工事材料及び仮設物等)に加入するものとする。</p> <p>6. ワンデーレスポンスの取組について</p> <p>(1) この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。 「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。</p> <p>(2) 実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。</p> <p>(3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。</p> <p>(4) 受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。</p>					

7. 電子納品について
「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。
8. 暴力団等による不当介入における通報義務について
(1) 受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱(平成22年可児市訓令甲第47号)に定める様式第9号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。
(2) 受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。
9. 現場代理人の兼務について
現場代理人は、工事請負契約約款第10条第2項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。
また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人を兼務することができる。
 1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
 2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
 3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて3件までであること。
 4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が4,000万円未満であること。
 5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員の認めた場合は、兼務を取り消すものとする。
現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。
10. 可児市公共基準点の保全について
公共施工区域内に可児市公共基準点が設置してある場合は、基準点鋸を滅失・き損または、その効用に支障をきたすことのないよう十分に留意すること。施工上止むを得ず支障となる場合は、事前に監督員に報告すること。
11. 法定外の労災保険の付保
本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
12. 建築物・工作物等の解体・改修工事に伴うアスベスト調査について
工事規模、請負金額にかかわらず事前にアスベストの使用の有無の事前調査を行うこと。
また、一定規模以上の工事は、事前調査結果を岐阜県に報告すること。
13. 統一の一斉休工の取組について
(1) 本工事は「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制モデル工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める「まんなかホリデー(中部地区統一の一斉休工)」に取組むものとする。
なお、本取組は強制的な一斉休工や工程の調整を求めるものではない。
(2) 休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。
(巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く)
14. その他
(1) 学校の児童や先生、来校者への安全対策に配慮すること。また、学校運営に支障が無いようにするため、学校や教育委員会と事前に仮設計画や工程等に関する協議を行うこと。
(2) 工事共通仕様
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築・電気設備・機械設備工事編) 最新版
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(建築・電気設備・機械設備工事編) 最新版
(3) 工事用水・電気については施設内のものを使用することができる。ただし、有償とする。

その他図面特記仕様書による。

特記仕様書
(条件明示)

工事名 可児市立旭小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
 なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件

明示項目	明示事項	制約条件等
工 程	<input type="checkbox"/> 1. 関連する別途発注工事あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 () <input type="checkbox"/> B. 期間 (~)
	<input type="checkbox"/> 2. 他機関協議による工程条件あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 () <input type="checkbox"/> B. 期間 (~)
	<input type="checkbox"/> 3. 他機関との協議状況	<input type="checkbox"/> A. 協議済機関及び内容 () <input type="checkbox"/> B. 未協議機関及び内容 ()
	<input type="checkbox"/> 4. 占用許可状況 ()	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 5. 建築確認	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 6. 河川区域、保全区域内作業あり	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 7. 文化財協議 (文化財課)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 () <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ()
	<input type="checkbox"/> 8. 施工時期	<input type="checkbox"/> A. 施工時期 ()
	<input checked="" type="checkbox"/> 9. その他	<input checked="" type="checkbox"/> A. その他 (小学校運営に支障がないよう配慮すること。)
用 地	<input type="checkbox"/> 1. 用地補償物件撤去まで着工制限あり	<input type="checkbox"/> A. 区間(No. ~ No.) <input type="checkbox"/> B. 着工見込時期 () <input type="checkbox"/> C. 内容 ()
	<input type="checkbox"/> 2. 工事用地の未買収	<input type="checkbox"/> A. 場所 () <input type="checkbox"/> B. 処理の見込み時期 () <input type="checkbox"/> C. 未買収地への立ち入り可否 ()
	<input type="checkbox"/> 3. 仮設ヤードの有無	<input type="checkbox"/> A. 官有地 <input type="checkbox"/> B. 民有地 <input type="checkbox"/> C. その他 () <input type="checkbox"/> D. 別途協議
	<input type="checkbox"/> 4. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
公 害 対 策	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 施工方法の制限あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 騒音 (小学校運営に支障がないよう配慮すること。) <input checked="" type="checkbox"/> B. 振動 (小学校運営に支障がないよう配慮すること。) <input type="checkbox"/> C. 水質 () <input type="checkbox"/> D. その他 ()
	<input type="checkbox"/> 2. 事業損失防止に関する調査あり	<input type="checkbox"/> A. 調査の項目 ()
	<input type="checkbox"/> 3. 環境影響調査あり	<input type="checkbox"/> A. 生物・植物調査あり
	<input type="checkbox"/> 4. 土壌汚染対策法に関する届出	<input type="checkbox"/> A. 届出済 (3,000㎡以上の土地の形質の変更、工事着手30日前まで)
	<input checked="" type="checkbox"/> 5. 石綿含有に関する事前調査	<input checked="" type="checkbox"/> A. 発注者による含有調査 (含有有り) <input type="checkbox"/> B. 受注者による含有調査 <input type="checkbox"/> C. 調査結果の報告 (一定規模以上)
	<input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> A. フロン回収あり <input type="checkbox"/> B. その他 ()
安 全 対 策	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 交通規制あり	<input type="checkbox"/> A. 全面通行止め <input type="checkbox"/> B. 片側通行止め <input checked="" type="checkbox"/> C. 時間制限あり (登下校時間帯)
	<input type="checkbox"/> 2. 通学路あり	<input type="checkbox"/> A. 迂回路あり <input type="checkbox"/> B. 仮設歩道必要
	<input type="checkbox"/> 3. 交通整理員	<input type="checkbox"/> A. 区間(No. ~) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> B. 区間(No. ~) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> C. 区間(No. ~) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> D. 交替要員あり
	<input type="checkbox"/> 4. 鉄道等の近接作業制限あり	<input type="checkbox"/> A. 工法制限あり () <input type="checkbox"/> B. 作業時間制限あり ()
	<input type="checkbox"/> 5. バス路線 (運行者との協議)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 () <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ()
	<input checked="" type="checkbox"/> 6. その他	<input checked="" type="checkbox"/> A. その他 (学校敷地内及び学校周囲通行時徐行)
工 事 用 道 路	<input type="checkbox"/> 1. 一般道路 (搬入路) の使用制限	<input type="checkbox"/> A. 搬入経路指定あり <input type="checkbox"/> B. 時間帯制限あり
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設道路の設置条件あり	<input type="checkbox"/> A. 一般交通供用あり <input type="checkbox"/> B. 安全施設必要 () <input type="checkbox"/> C. 路面工 () <input type="checkbox"/> D. 工事完了後存続又は撤去 () <input type="checkbox"/> E. 構造 () <input type="checkbox"/> F. 用地 (借地) <input type="checkbox"/> G. 用地 (公用地) <input type="checkbox"/> H. 用地 (その他)
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
指 定 仮 設 備	<input type="checkbox"/> 1. 仮設物の指定又は一部指定あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ()
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設構造物の転用、兼用あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 () <input type="checkbox"/> B. 内容 ()
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()

明示項目	明示事項	制約条件等
建設発生廃棄物係	<input type="checkbox"/> 1. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [場所が未確定]	<input type="checkbox"/> A. 運搬距離 (km) <input type="checkbox"/> B. 投棄料計上あり <input type="checkbox"/> C. 整地(押土、敷均、締固等)必要 <input type="checkbox"/> D. 整地(押土)必要
	<input type="checkbox"/> 2. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [自工事へ流用]	<input checked="" type="checkbox"/> A. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> B. スtockヤード利用あり () <input type="checkbox"/> C. 仮置場必要 () <input type="checkbox"/> D. 運搬距離 (km) <input type="checkbox"/> E. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 3. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事へ流用、または処分地指定]	<input type="checkbox"/> A. 場所 () <input type="checkbox"/> B. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> C. 整地(押土、敷き均し、転圧)あり <input type="checkbox"/> D. スtockヤード利用あり () <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 () <input type="checkbox"/> F. 運搬距離 (km) <input type="checkbox"/> G. 仮置場の用地借上費計上あり <input type="checkbox"/> H. 処分料計上あり
	<input type="checkbox"/> 4. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事からの流用]	<input type="checkbox"/> A. 他工事名 () <input type="checkbox"/> B. 請負者運搬あり(運搬距離 km) <input type="checkbox"/> C. 盛土、埋め戻し <input type="checkbox"/> D. スtockヤード利用あり () <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 () <input type="checkbox"/> F. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 5. 産業廃棄物の処理条件あり [特別管理産業廃棄物]	<input type="checkbox"/> A. 種類 () <input type="checkbox"/> B. 場所 () <input type="checkbox"/> C. 中間処理施設までの運搬距離 (km) <input type="checkbox"/> D. 処理費計上あり
	<input type="checkbox"/> 6. 浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	<input type="checkbox"/> A. 槽内洗浄必要 <input type="checkbox"/> B. 可見市環境課と打合せの必要あり
	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」に基づく提出・提示書類あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 産業廃棄物管理票(マニフェスト) <input type="checkbox"/> B. 建設発生土管理状況書類及び処理地の関係図書 <input checked="" type="checkbox"/> C. コブリス <input checked="" type="checkbox"/> D. 廃棄物処理委託契約、許可書
工事支障物件	<input type="checkbox"/> 1. 占用支障物件あり(電気)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期(R 年 月頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期(別途協議)
	<input type="checkbox"/> 2. 占用支障物件あり(電話)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期(R 年 月頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期(別途協議)
	<input type="checkbox"/> 3. 占用支障物件あり(水道)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期(R 年 月頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期(別途協議)
	<input type="checkbox"/> 4. 占用支障物件あり(下水道)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期(R 年 月頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期(別途協議)
	<input type="checkbox"/> 5. 占用支障物件あり(ガス)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期(R 年 月頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期(別途協議)
	<input type="checkbox"/> 6. 占用支障物件あり(マンホール蓋、仕切り弁蓋等)	<input type="checkbox"/> A. 管理者による高さ調整 () <input type="checkbox"/> B. 請負者による高さ調整 ()
	<input type="checkbox"/> 7. 占用支障物件あり(その他)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期() <input type="checkbox"/> B. 移設時期(別途協議)
	<input type="checkbox"/> 8. その他	<input type="checkbox"/> A. その他()
排水工関係	<input type="checkbox"/> 1. 濁水、湧水処理条件あり	<input type="checkbox"/> A. 方法()
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他()
再生材使用	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 再生材使用指定あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. RC <input checked="" type="checkbox"/> B. アスファルト再生合材(30%再生) <input type="checkbox"/> C. アスファルト再生合材(100%再生) <input type="checkbox"/> D. 再生材を使用できない場合別途協議 <input type="checkbox"/> E.
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他()
その他	<input type="checkbox"/> 1. 現場発生材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名() <input type="checkbox"/> B. 納入場所()
	<input type="checkbox"/> 2. 支給材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名() <input type="checkbox"/> B. 引渡し場所()
	<input type="checkbox"/> 3. 現場環境改善	<input type="checkbox"/> A. 仮設費() <input type="checkbox"/> B. 安全費() <input type="checkbox"/> C. 営繕費() <input type="checkbox"/> D. 地域連携()
	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 「可見市工物品質証明実施要領」該当あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 品質証明員の配置あり
	<input type="checkbox"/> 5. 部分使用	<input type="checkbox"/> A. 範囲() <input type="checkbox"/> B. 時期()
	<input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> A. その他()

記号	工事名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	可児市立旭小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)						
A	建築工事		1.0	式			
E	電気設備工事		1.0	式			
M	機械設備工事		1.0	式			
I	直接工事費	計	1.0	式			
II	共通仮設費	(共通仮設工事費積上分を含む)	1.0	式			
	純工事費	計					
III	現場管理費		1.0	式			
	工事原価	計					
IV	一般管理費等負担額		1.0	式			
	工事価格	計					
V	消費税相当額		1.0	式			
	総合計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
A	建築工事						
(1-1)	北舎 (一般便所)						
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	躯体改修工事		1.0	式			
3	防水改修工事		1.0	式			
4	建具改修工事		1.0	式			
5	内装改修工事		1.0	式			
6	塗装改修工事		1.0	式			
7	外構改修工事		1.0	式			
8	撤去工事		1.0	式			
9	発生材積込・運搬		1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し	仕上	225.0	m ²			
	養生	仕上	225.0	m ²			
	整理清掃後片付け		253.5	m ²			
	内部仕上足場	脚立足場 並列 階高4m以下 存置1カ月	225.6	m ²			
	仮設間仕切り	A種 H=2.5	33.0	m			
	仮設片開きフラッシュ戸	ラワン合板 900×2000	5.0	箇所			
	外部足場	くさび緊結式 W900 高さ20m未満 存置3カ月	67.7	m ²			
	垂直養生	防災養生シート張り 存置3カ月	67.7	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.1	鉄筋						
	異形鉄筋	SD295A D10(小口)	0.1	t			
	異形鉄筋	SD295A D13(小口)	0.1	t			
	鉄筋加工組立		0.2	t			
	鉄筋運搬費		0.2	t			
	あと施工アンカー(接着系)	差し筋アンカーD10 横向打	182.0	箇所			
	あと施工アンカー(接着系)	差し筋アンカーD13 横向打	102.0	箇所			
	溶接金網	φ6 100×100	70.1	m ²			
	スクラップ控除	へビーH2	0.003	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.2	コンクリート						
	土間スラブ 普通コンクリート	Fc=21N+3 S=18	0.7	m3			
	嵩上げコンクリート	Fc=21N+3 S=18	3.5	m3			
	コンクリート打設手間	土間スラブコン ポンプ打ち	0.7	m3			
	コンクリート打設手間	嵩上げコン ポンプ打ち	3.5	m3			
	ポンプ圧送		2.0	回			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.3	型枠						
	普通合板型枠	地上部	4.8	m ²			
	型枠運搬費		4.8	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	防水改修工事						
	シーリング	SR-1 10×10	269.0	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
4	建具改修工事						
	北SD-1 鋼製点検口	W600×H600	6.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.1	床						
	床下地調整	塩ビ床シート貼替部	60.7	m ²			
	コンクリート均し	金鏝 張物下地	73.1	m ²			
	塩ビ床シート	t=2 消臭 抗菌性	124.5	m ²			
	汚垂石	t=7	4.8	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.2	巾木・壁						
	不燃メラミン化粧板	t=3 ボード下地	147.4	m ²			
	不燃メラミン化粧板	t=3 ONタイル工法	38.5	m ²			
	耐水せっこうボード	準不燃 厚12.5 突き付け工法	217.8	m ²			
	耐水せっこうボード重張り	準不燃 厚12.5+9.5 突き付け工法	36.3	m ²			
	軽量鉄骨間仕切り壁下地	65型 @300	100.7	m ²			
	軽量鉄骨間仕切り壁下地	90型 @300	78.1	m ²			
	軽量鉄骨間仕切り壁下地	100型 @300	23.6	m ²			
	軽量鉄骨間仕切り開口補強	65型 PS点検口	6.0	箇所			
	軽量鉄骨間仕切り開口補強	65型 三方枠	2.0	箇所			
	軽量鉄骨間仕切り開口補強	90型 三方枠	1.0	箇所			
	SUS巾木	H100	103.0	m			
	SUS壁見切り	20×15程度	37.4	m			
	モルタル補修	タイル浮き部	6.0	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.3	天井						
	軽量鉄骨天井下地	19型 @300	121.4	m ²			
	けい酸カルシウム板	t6.0 ベベルエッジ 突付け	138.6	m ²			
	化粧せっこうボード	t9.5 LGS面	40.2	m ²			
	廻り縁	塩ビ製 コの字型	130.7	m			
	天井点検口	450×450 アルミ額縁	6.0	箇所			
	軽量鉄骨天井開口補強	450×450	18.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.4	その他						
	北TB-1 トイレブース	W2130×H1900	2.0	箇所			
	北TB-2 トイレブース	W650×H2500	4.0	箇所			
	北TB-3 トイレブース	W4160×H1900	1.0	箇所			
	北TB-4 トイレブース	W945×H1900	1.0	箇所			
	北TB-5 トイレブース	W4745×H1900	2.0	箇所			
	北TB-6 トイレブース	W800×H1900	1.0	箇所			
	北TB-7 トイレブース	W3620×H1900	1.0	箇所			
	北TB-8 トイレブース	W890×H1900	1.0	箇所			
	北TB-9 トイレブース	W3380×H1900	1.0	箇所			
	北TB-10 トイレブース	W800×H1900	1.0	箇所			
	北TB-11 トイレブース	W3610×H1901	1.0	箇所			
	ライニング面台	メラミンポストフォーム t=20 W160 L500	1.0	箇所			
	ライニング面台	SUS t=25 W160	64.6	m			
	ライニング面台	SUS t=25 W200	0.9	m			
	ライニング面台	SUS t=25 W280	1.7	m			
	腰壁笠木	SUS t=25 W120	2.7	m			

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掃除道具掛け下地	ゴム集成材 t=20 W600×H100	5.0	箇所			
ピクトサイン1・2 平付	200×200 アルミ製ブラケット	6.0	箇所			
SUS手洗い	W2800×D500×H600	4.0	箇所			
SUS三方枠	W1170×H2200×D120 t=25	2.0	箇所			
SUS三方枠	W2050×H2200×D170 t=25	1.0	箇所			
耐食鏡	t5×W1800×H700 SUS 二方枠	6.0	箇所			
耐食鏡	t5×W2800×H700 SUS 三方枠	4.0	箇所			
パーテーション 取外し・再取付		1.0	箇所			
小計						
改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	塗装改修工事						
	壁 NAD塗り	ボード下地面 下地調整共	86.3	m ²			
	天井 NAD塗り	ケイカル下地面 素地ごしらえ共	138.6	m ²			
	窓枠 SOP塗り	RB種 木部B種 下地調整共	65.9	m			
	掃除用具掛け SOP塗り	糸幅300以下 木部B種 素地ごしらえ共	3.0	m			
	SD SOP塗り	鋼製建具面 B種(枠共)	6.3	m ²			
	SD 錆止め塗り	鉄製建具面 A種(枠共)	6.3	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	外構改修工事						
	密粒度アスファルト舗装	表層:t50 アスファルト混合物 路盤:t150 再生碎石(RC-40)	2.0	m2			
	土間コンクリート舗装	コンクリートt150 コテ押え共 配筋:縦横D10@200シングル 路盤:t60 再生碎石(RC-40)	5.0	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8.1	床 撤去						
	ビニル床シート撤去	t=2.0	51.0	m2			
	50角タイル撤去		63.7	m2			
	土間コンクリート撤去	t=150	0.7	m2			
	コンクリートカッター入れ		24.4	m			
	SUS框撤去	W40×H50	9.6	m			
	汚垂石撤去		5.0	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8.2	巾木・壁 撤去						
	100角タイル撤去	Mコテ共	34.5	m2			
	100角タイル撤去		80.5	m2			
	コンクリートブロック撤去	t=100	107.0	m2			
	GB-S撤去	t=12.5	66.5	m2			
	GB-S(EP塗)撤去	t=12.5	61.1	m2			
	LGS100撤去	@300	78.5	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8.3	天井 撤去						
	FK撤去	t=6.0 アスベスト含有	147.0	m2			
	GB-R撤去	t=9.5	94.2	m2			
	LGS19撤去	@300	100.0	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8.4	その他 撤去						
	SUS面台撤去	D110	48.4	m			
	SUS筥木撤去	W140	4.0	m			
	SUS三方枠撤去	W140	10.9	m			
	パーテーション撤去	アルミ枠+F(はめ込み) W730xH1420	4.0	箇所			
	SUS手洗い撤去	W2800xD500xH650	4.0	箇所			
	SD 片開戸撤去	450x450	6.0	箇所			
	トイレブース撤去	t=40	140.0	m2			
	アスファルト舗装撤去	t=50 砕石 t=150共	5.0	m2			
	土間コンクリート撤去	土間コンクリートt=130	1.2	m2			
	アスファルトカッター入れ		6.0	m			
	コンクリートカッター入れ		5.2	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	発生材積込・運搬						
	積込・運搬	コンクリートがら(有筋)	11.1	m3			
	積込・運搬	コンクリートがら(無筋)	1.4	m3			
	積込・運搬	アスファルト混合物	0.3	m3			
	積込・運搬	廃プラスチック類	0.1	m3			
	積込・運搬	陶磁器・ガラスくず	1.9	m3			
	積込・運搬	ボード類	2.5	m3			
	積込・運搬	ボード類(アスベスト含有)	0.9	m3			
	積込・運搬	混合材	6.3	m3			
	積込・運搬	ステンレスくず	0.04	t			
	積込・運搬	アルミくず	0.01	t			
	積込・運搬	スチールくず	0.9	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し	仕上	15.9	m ²			
	養生	仕上	15.9	m			
	整理清掃後片付け		29.4	m ²			
	内部仕上足場	脚立足場 並列 階高4m以下 存置1カ月	15.9	m ²			
	仮設間仕切り	A種 H=2.5	1.8	m ²			
	仮設片開きフラッシュ戸	ラワン合板 900×2000	3.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	防水改修工事						
	シーリング	SR-1 10×10	16.8	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
3	建具改修工事						
	北SD-2 鋼製点検口	W450×H450	3.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.1	床						
	床下地調整	塩ビ床シート貼替部	12.8	m ²			
	塩ビ床シート	t=2 消臭 抗菌性	12.8	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.2	巾木・壁						
	不燃メラミン化粧板	t=3 ボード下地	14.7	m ²			
	耐水せっこうボード	準不燃 t=12.5 突き付け工法	15.4	m ²			
	軽量鉄骨間仕切り壁下地	65型 @300	22.1	m ²			
	軽量鉄骨間仕切り開口補強	65型	3.0	箇所			
	SUS巾木	H60	23.0	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.3	天井						
	軽量鉄骨天井下地	19型 @300	8.5	m ²			
	けい酸カルシウム板	t6.0 ベベルエッジ 突付け	12.8	m ²			
	廻り縁	塩ビ製 コの字型	25.6	m			
	軽量鉄骨天井開口補強	300×1200	3.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.4	その他						
	ライニング面台	メラミンポストフォーム t=20 W160 L500	1.0	箇所			
	ピクトサイン3 平付	250×250 アルミ製ブラケット	3.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	塗装改修工事						
	天井 NAD塗り	ケイカル下地面 素地ごしらえ共	12.8	m ²			
	SD SOP塗り	鋼製建具面 B種(枠共)	1.8	m ²			
	SD 錆止め塗り	鉄製建具面 A種(枠共)	1.8	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6.1	床 撤去						
	ビニル床シート撤去	t=2.0	12.8	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6.2	巾木・壁 撤去						
	コンクリートブロック撤去	t=100	21.4	m ²			
	GB-S(EP塗)撤去	t=12.5	6.0	m ²			
	GB-S+ダイノックシート貼撤去	t=12.5	8.9	m ²			
	ソフト巾木撤去	H=60	22.3	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6.3	天井 撤去						
	FK(EP塗)撤去	t=6.0 アスベスト含有	12.8	m ²			
	LGS19撤去	@300	8.5	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6.4	その他 撤去						
	SD 片開戸撤去	450×450	3.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	発生材積込・運搬						
	積込・運搬	コンクリートがら(有筋)	2.1	m3			
	積込・運搬	廃プラスチック類	0.03	m3			
	積込・運搬	ボード類	0.2	m3			
	積込・運搬	ボード類(アスベスト含有)	0.1	m3			
	積込・運搬	混合材	0.01	m3			
	積込・運搬	スチールくず	0.04	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し	仕上	38.6	m ²			
	養生	仕上	38.6	m			
	整理清掃後片付け		81.5	m ²			
	内部仕上足場	脚立足場 並列 階高4m以下 存置1カ月	38.6	m ²			
	仮設間仕切り	A種 H=2.5	5.4	m ²			
	仮設片開きフラッシュ戸	ラワン合板 900×2000	1.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.1	鉄筋						
	異形鉄筋	SD295A D10(小口)	0.04	t			
	異形鉄筋	SD295A D13(小口)	0.02	t			
	鉄筋加工組立		0.1	t			
	鉄筋運搬費		0.1	t			
	あと施工アンカー(接着系)	差し筋アンカーD10 横向打 接着系	210.0	箇所			
	あと施工アンカー(接着系)	差し筋アンカーD13 横向打 接着系	70.0	箇所			
	溶接金網	φ6 100x100	34.6	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.2	コンクリート						
	土間スラブ 普通コンクリート	Fc21-18	0.4	m3			
	嵩上げコンクリート	Fc21-18	1.7	m3			
	コンクリート打設手間	土間スラブコン ポンプ打ち	0.4	m3			
	コンクリート打設手間	嵩上げコン ポンプ打ち	1.7	m3			
	ポンプ圧送		1.0	回			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
2.3	型枠						
	普通合板型枠	地上部	3.4	m ²			
	型枠運搬費		3.4	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	防水改修工事						
	シーリング	SR-1 10×10	68.9	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.1	床						
	床下地調整	塩ビ床シート貼替部	3.5	m ²			
	コンクリート均し	金鏝 張物下地	32.4	m ²			
	塩ビ床シート	t=2.5 防滑 抗菌性	33.5	m ²			
	汚垂石	t=7	2.4	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.2	巾木・壁						
	不燃メラミン化粧板	t=3 ボード下地	24.8	m ²			
	不燃メラミン化粧板	t=3 ONタイル工法	71.4	m ²			
	耐水せっこうボード	準不燃 厚12.5 突き付け工法	27.8	m ²			
	軽量鉄骨間仕切り壁下地	65型 @300	9.5	m ²			
	軽量鉄骨間仕切り壁下地	90型 @300	14.8	m ²			
	SUS巾木	H100	31.9	m			
	モルタル補修	タイル浮き部	2.0	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.3	天井						
	けい酸カルシウム板	t6.0 ベベルエッジ 突付け	36.5	m ²			
	廻り縁	塩ビ製 コの字型	51.5	m			
	天井点検口	450×450 アルミ額縁	2.0	箇所			
	軽量鉄骨天井開口補強	450×450	4.0	箇所			
	軽量鉄骨天井開口補強	300×1200	2.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.4	その他						
	内TB-1 トイレブース	W1680×H1900	1.0	箇所			
	内TB-2 トイレブース	W810×H1900	1.0	箇所			
	内TB-3 トイレブース	W4040×H1900	1.0	箇所			
	内TB-4 トイレブース	W2490×H1900	1.0	箇所			
	ライニング面台	メラミンポストフォーム t=20 W120	10.8	m			
	ライニング面台	メラミンポストフォーム t=20 W210 L4100	1.0	箇所			
	掃除道具掛け下地	ゴム集成材 t=20 W600×H100	2.0	箇所			
	ピクトサイン1・2 突出	200×200 アルミ製ブラケット	2.0	箇所			
	SUS手洗い	W1400×D500×H600	2.0	箇所			
	耐食鏡	t5×W1400×H600 SUS 三方枠	2.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	塗装改修工事						
	壁 NAD塗り	木下地面 下地調整共	18.4	m ²			
	天井 NAD塗り	ケイカル下地面 素地ごしらえ共	36.5	m ²			
	木製巾木 SOP塗り	RB種 木部B種 下地調整共	7.3	m			
	掃除用具掛け SOP塗り	糸幅300以下 木部B種 素地ごしらえ共	1.2	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6.1	床 撤去						
	ビニル床シート撤去	t=2.5	3.5	m2			
	50角タイル撤去		33.0	m2			
	土間コンクリート撤去	t=120	0.4	m3			
	コンクリートカッター入れ		19.6	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6.2	巾木・壁 撤去						
	コンクリートブロック撤去	t=100	8.4	m2			
	50角タイル撤去	Mコテ共	7.7	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6.3	天井 撤去						
	有孔FK+吹付タイル撤去	t=6.0 アスベスト含有	36.5	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6.4	その他 撤去						
	テラズブロック面台撤去	D120	7.1	m			
	固定棚撤去	メラミンフラッシュ 400x400xt25	7.0	枚			
	トイレブース撤去		37.2	m2			
	SUS手洗い撤去	W1220xD400xH650	2.0	箇所			
	SUS面台撤去	D100	2.4	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	発生材積込・運搬						
	積込・運搬	コンクリートがら(有筋)	0.9	m3			
	積込・運搬	コンクリートがら(無筋)	0.1	m3			
	積込・運搬	廃プラスチック類	0.01	m3			
	積込・運搬	陶磁器・ガラスくず	0.4	m3			
	積込・運搬	ボード類(アスベスト含有)	0.2	m3			
	積込・運搬	混合材	2.5	m3			
	積込・運搬	ステンレスくず	0.004	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し	仕上	6.5	m ²			
	養生	仕上	6.5	m			
	整理清掃後片付け		6.5	m ²			
	内部仕上足場	脚立足場 並列 階高4m以下 存置1ヵ月	6.5	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.1	地業						
	砂地業	土間下 t=30	0.3	m3			
	碎石地業	土間下 t=100 再生材	0.9	m3			
	防湿シート	土間下 ポリエチレンフィルムt=0.15	9.1	m3			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.2	鉄筋						
	異形鉄筋	SD295A D10	0.1	t			
	異形鉄筋	SD295A D13	0.1	t			
	鉄筋加工組立		0.2	t			
	鉄筋運搬費		0.2	t			
	あと施工アンカー(接着系)	差し筋アンカーD10 横向打	94.0	箇所			
	あと施工アンカー(接着系)	差し筋アンカーD13 横向打	40.0	箇所			
	スクラップ控除	へビーH2	0.002	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.3	コンクリート						
	土間スラブ 普通コンクリート	Fc=21N+3 S=18	1.1	m3			
	コンクリート打設手間	土間スラブコン ポンプ打ち	1.1	m3			
	ポンプ圧送		1.0	回			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
2.4	型枠						
	普通合板型枠	地上軸部	9.1	m ²			
	型枠運搬費		9.1	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	防水改修工事						
	シーリング	SR-1 10×10	12.7	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	建具改修工事						
	型板ガラス	t=4	0.1	m ²			
	ガラス周囲シーリング	SR-1 5×5	1.8	m			
	内LSD-1 鋼製片引きハンガードア(壁収納)	W1010×H2000	1.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.1	床						
	床下地調整	塩ビ床シート貼替部	4.1	m ²			
	コンクリート均し	金鏝 張物下地	8.6	m ²			
	塩ビ床シート	t=2.5 防滑 抗菌性	12.7	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.2	巾木・壁						
	不燃メラミン化粧板	t=3 ボード下地	18.2	m ²			
	耐水せっこうボード	準不燃 厚12.5 突き付け工法	27.4	m ²			
	耐水せっこうボード	準不燃 厚12.5+9.5 継目処理工法	9.1	m ²			
	軽量鉄骨間仕切り壁下地	65型 @300	24.1	m ²			
	SUS巾木	H100	11.8	m			
	グラスウール断熱材敷込み	t50 24kg/m ³	12.6	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.3	天井						
	けい酸カルシウム板	t6.0 ベベルエッジ 突付け	8.5	m ²			
	化粧せっこうボード	t9.5 LGS面	10.0	m ²			
	廻り縁	塩ビ製 コの字型	23.3	m			
	天井点検口	450×450 アルミ額縁	4.0	箇所			
	軽量鉄骨天井開口補強	450×450	6.0	箇所			
	軽量鉄骨天井開口補強	300×1200	1.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.4	その他						
	ライニング面台	メラミンポストフォーム t=20 W120	2.6	m			
	ピクトサイン4 平付	250×250 アルミ製ブラケット	1.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	塗装改修工事						
	天井 NAD塗り	ケイカル下地面 素地ごしらえ共	8.5	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.1	床 撤去						
	ビニル床シート撤去	t=2.5 Mコテ共	13.1	m ²			
	土間コンクリート撤去	t=120	1.1	m ³			
	碎石撤去	t=100	0.9	m ³			
	コンクリートカッター入れ		7.6	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
7.2	巾木・壁 撤去						
	木製巾木撤去	H100	2.5	m			
	桧合板撤去	t=6.0	6.0	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
7.3	天井 撤去						
	GB-D撤去	t=9.5	18.7	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.4	その他 撤去						
	アコーディオンカーテン撤去		6.4	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	発生材積込・運搬						
	積込・運搬	コンクリートがら(有筋)	0.1	m3			
	積込・運搬	コンクリートがら(無筋)	1.2	m3			
	積込・運搬	廃プラスチック類	0.2	m3			
	積込・運搬	ボード類	0.1	m3			
	積込・運搬	木くず	0.04	m3			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(3)	発生材処分(建築)						
	発生材処分	コンクリートがら(有筋)	14.2	m3			
	発生材処分	コンクリートがら(無筋)	2.7	m3			
	発生材処分	アスファルト混合物	0.3	m3			
	発生材処分	廃プラスチック類	1.9	m3			
	発生材処分	陶磁器・ガラスくず	12.0	m3			
	発生材処分	ボード類	2.8	m3			
	発生材処分	ボード類(アスベスト含有)	1.2	m3			
	発生材処分	木くず	0.04	m3			
	発生材処分	混合材	15.4	m3			
	発生材処分	ステンレスくず	0.04	t			
	発生材処分	アルミくず	0.01	t			
	発生材処分	スチールくず	4.0	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯(照明)設備						
	メタルモール	A型	9.0	m			
	メタルモール	A型 コーナーボックス	6.0	個			
	メタルモール	A型 スイッチボックス	6.0	個			
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C 隠蔽	135.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C 管内	9.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C 隠蔽	11.0	m			
	アウトレットボックス	中型四角浅型 44×102	50.0	個			
	照明器具 A	LEDベースライト 3200lm	8.0	個			
	照明器具 E	LEDダウンライト φ100	13.0	個			
	照明器具 F	LEDダウンライト φ100	8.0	個			
	センサー切替スイッチ		6.0	個			
	天井埋込人感センサー	親機	4.0	個			
	天井埋込人感センサー	子機 換気連動	4.0	個			
	天井埋込人感センサー	子機	10.0	個			
	取外し再取付 アウトレットボックス	44×102	16.0	個			
	取外し再取付 照明器具 aLED	直付40型	4.0	個			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	取外し再取付 照明器具 bLED	ダウンライト	5.0	個			
	取外し再取付 照明器具 埋込40型		2.0	個			
	取外し再取付 天井埋込人感センサー	親機	2.0	個			
	取外し再取付 天井埋込人感センサー	子機	5.0	個			
	撤去 アウトレットボックス	44×102	14.0	個			
	撤去 照明器具 c321	FHF32×1 天井埋込	8.0	個			
	撤去 スイッチ	1P15A×2	6.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	電灯(コンセント)設備						
	電線管	(PF28) 隠蔽	20.0	m			
	メタルモール	A型	18.0	m			
	メタルモール	A型 コーナーボックス	16.0	個			
	アウトレットボックス	中型四角浅型 44×102	75.0	個			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 管内	57.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 隠蔽	179.0	m			
	コンセント	2P15A×1 E極・接地端子付	39.0	個			
	開閉器増設	ELCB2P50/20	6.0	個			
	撤去 アウトレットボックス	44×102	32.0	個			
	撤去 コンセント	2P15A ×1 E極・接地端子付	5.0	個			
	撤去 コンセント	2P15A ×1 E付	12.0	個			
	撤去 コンセント	2P15A ×1 接地端子付	15.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	弱電設備						
	取外し再取付 アウトレットボックス	44×102	6.0	個			
	取外し再取付 天井埋込スピーカー		6.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
4	発生材積込・運搬						
	積込運搬費	混合	0.08	m3			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯(照明)設備						
	電線管	(PF16) 隠蔽	5.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C 隠蔽	11.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C 管内	5.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C 隠蔽	4.0	m			
	アウトレットボックス	中型四角浅型 44×102	12.0	個			
	照明器具 D	LEDベースライト 2940lm	3.0	個			
	センサー切替スイッチ		3.0	個			
	天井埋込人感センサー	親機 換気連動	3.0	個			
	撤去 アウトレットボックス	44×102	6.0	個			
	撤去 照明器具	d161 FHF16×1 天井埋込	3.0	個			
	撤去 スイッチ	1P15A×2	3.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	電灯(コンセント)設備						
	電線管	(E25)隠蔽	3.0	m			
	メタルモール	A型	18.0	m			
	メタルモール	A型 コーナーボックス	14.0	個			
	アウトレットボックス	中型四角浅型 44×102	10.0	個			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 管内	18.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 隠蔽	8.0	m			
	コンセント	2P15A×1 E極・接地端子付	7.0	個			
	撤去 アウトレットボックス	44×102	6.0	個			
	撤去 コンセント	2P15A ×1 E極・接地端子付	6.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	弱電設備						
	取外し再取付 アウトレットボックス	44×102	3.0	個			
	取外し再取付 天井埋込スピーカー		3.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
4	発生材積込・運搬						
	積込運搬費	混合	0.03	m3			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯(幹線)設備						
	電線管	(C31) 露出	33.0	m			
	ケーブル	EM-CE8sq-3c 管内	33.0	m			
	ケーブル	EM-CE8sq-3c 隠蔽	12.0	m			
	プルボックス	200×200×150SUS WP	3.0	個			
	プルボックス	200×200×150	1.0	個			
	電灯分電盤	L-2	1.0	面			
	開閉器増設	ELCB3P50/30	1.0	ヶ			
	コア抜き	φ 30	2.0	箇所			
	配管塗装費	31	33.0	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	電灯(照明)設備						
	メタルモール	A型	8.0	m			
	メタルモール	A型 コーナーボックス	4.0	個			
	メタルモール	A型 スイッチボックス	6.0	個			
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C 隠蔽	47.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C 管内	12.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C 隠蔽	11.0	m			
	アウトレットボックス	中型四角浅型 44×102	25.0	個			
	照明器具 A	LEDベースライト 3200lm	4.0	個			
	照明器具 D	LEDベースライト 2940lm	2.0	個			
	照明器具 E	LEDダウンライト φ100	5.0	個			
	照明器具 F	LEDダウンライト φ100	2.0	個			
	センサー切替スイッチ		2.0	個			
	スイッチ	3W15A×1	4.0	個			
	天井埋込人感センサー	親機	2.0	個			
	天井埋込人感センサー	子機 換気連動	2.0	個			
	天井埋込人感センサー	子機	6.0	個			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	取外し再取付 アウトレットボックス	44×102	1.0	個			
	取外し再取付 照明器具	bLED ダウンライト	1.0	個			
	撤去 アウトレットボックス	44×102	8.0	個			
	撤去 照明器具	iLED 直付40型	4.0	個			
	撤去 スイッチ	3W15A×2	4.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	電灯(コンセント)設備						
	メタルモール	A型	40.0	m			
	メタルモール	A型 コーナーボックス	18.0	m			
	メタルモール	A型 スイッチボックス	13.0	個			
	アウトレットボックス	中型四角浅型 44×102	5.0	個			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 管内	40.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 隠蔽	69.0	m			
	コンセント	2P15A×1 E極・接地端子付	13.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	発生材積込・運搬						
	積込運搬費	混合	0.04	m3			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯(照明)設備						
	電線管	(PF16) 隠蔽	2.0	m			
	メタルモール	A型	2.0	m			
	メタルモール	A型 コーナーボックス	1.0	個			
	メタルモール	A型 スイッチボックス	1.0	個			
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C 管内	2.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C 隠蔽	14.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C 管内	2.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C 隠蔽	2.0	m			
	アウトレットボックス	中型四角浅型 44×102	4.0	個			
	照明器具 D	LEDベースライト 2940lm	1.0	個			
	センサー切替スイッチ		1.0	個			
	スイッチ	1P.15A×1	1.0	個			
	天井埋込人感センサー	親機 換気連動	1.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	電灯(コンセント)設備						
	電線管	(PF22) 隠蔽	8.0	m			
	メタルモール	B型	16.0	m			
	メタルモール	B型 コーナーボックス	2.0	個			
	アウトレットボックス	中型四角浅型 44×102	4.0	個			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 管内	8.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 隠蔽	36.0	m			
	コンセント	2P15A×1 E極・接地端子付	3.0	個			
	コンセント	2P15A×1 E極付	1.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	弱電設備						
	メタルモール	A型	11.5	m			
	メタルモール	A型 ジャンクションボックス	3.0	個			
	ケーブル	EM-AE1.2-2c 隠蔽	15.0	m			
	アウトレットボックス	中型四角浅型 44×102	3.0	個			
	トイレ呼出押釦		1.0	個			
	埋込型表示器		1.0	個			
	差動式スポット型感知器		1.0	個			
	取外し再取付 アウトレットボックス	44×102	1.0	個			
	取外し再取付 感知器	差動式スポット型	1.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(3)	発生材処分(電気)						
	(北舎 一般)						
	発生材処分費	混合	0.08	m3			
	(北舎 多目的)						
	発生材処分費	混合	0.03	m3			
	(屋内運動場)						
	発生材処分費	混合	0.04	m3			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	換気設備						
	FV-3 天井換気扇	低騒音形 150φ×300m ³ /h×80Pa	8.0	台			
	FV-4 天井換気扇	低騒音形 150φ×350m ³ /h×80Pa	4.0	台			
	機器据付費		1.0	式			別紙明細 NO.1
	スパイラルダクト	亜鉛鉄板 150φ	26.0	m			
	保温工事		1.0	式			別紙明細 NO.2
	あと施工アンカー		1.0	式			別紙明細 NO.3
	撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.4
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	衛生器具設備						
	C-1 大便器1	洗浄弁式床置床排水節水Ⅱ形 掃除口付 暖房便座 紙巻器	23.0	組			
	U-1 小便器	壁掛式低リップ形 自動洗浄 1φ100V	15.0	組			
	L-1 はめ込みカウンター式洗面器	アンダーカウンター式 自動水栓 ボウル×2 L=2000程度	6.0	組			
	SK-1 掃除流し	20mm送り座付横水栓	6.0	組			
	TR-1 L形手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ	6.0	組			
	TR-3 小便器用手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ	3.0	組			
	大便器用フラッシュバルブ	壁給水	4.0	個			
	暖房便座		4.0	個			
	水石けん入れ	壁付 0.35L	16.0	個			
	衛生器具据付費	再取付品を含む	1.0	式			別紙明細 NO.5
	撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.6
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	研り工事		1.0	式			別紙明細 NO.9
	既設管接続費		1.0	式			別紙明細 NO.10
	撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.11
	小計						
	改め計						

名称	内容	数量	単位	単価	金額	備考
雑排水管 硬質ポリ塩化ビニル管	地中配管 VP 100A	2.0	m			
污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 50A	2.0	m			
污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 75A	39.0	m			
污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 100A	50.0	m			
污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 125A	6.0	m			
雑排水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 40A	11.0	m			
雑排水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 50A	11.0	m			
雑排水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 65A	8.0	m			
雑排水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 75A	15.0	m			
雑排水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 100A	21.0	m			
通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 50A	20.0	m			
通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 65A	14.0	m			
通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 75A	5.0	m			
通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 100A	17.0	m			
排水金物	COA 65A	1.0	個			
排水金物	COA 80A	6.0	個			

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水金物	COA 100A	15.0	個			
排水金物	COA 125A	1.0	個			
排水金物	T14A 50A	4.0	個			
あと施工アンカー		1.0	式			別紙明細 NO.12
研り工事		1.0	式			別紙明細 NO.13
既設管接続費		1.0	式			別紙明細 NO.14
土工事		1.0	式			別紙明細 NO.15
撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.16
小計						
改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	発生材積込・運搬						
	積込・運搬	金属くず	2.3	ton			
	積込・運搬	廃プラスチック	0.9	m ³			
	積込・運搬	保温材	2.2	m ³			
	積込・運搬	陶器類	7.1	m ³			
	積込・運搬	混合類	2.6	m ³			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	換気設備						
	FV-1 天井換気扇	低騒音形 100φ×150m ³ /h×80Pa	3.0	台			
	機器据付費		1.0	式			別紙明細 NO.1
	スパイラルダクト	亜鉛鉄板 100φ	3.0	m			
	保温工事		1.0	式			別紙明細 NO.2
	あと施工アンカー		1.0	式			別紙明細 NO.3
	撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.4
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	衛生器具設備						
	C-5 大便器5	タンク式床置床排水節水Ⅱ形 掃除口付 温水洗浄便座 紙巻器	3.0	組			
	L-2 洗面器	ハイバック形 自動単水栓	3.0	組			
	TR-1 L形手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ°	3.0	組			
	TR-2 はね上げ手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ°	3.0	組			
	BR-1 背もたれ		3.0	組			
	M-2 化粧鏡	360×1100	3.0	枚			
	衛生器具据付費		1.0	式			別紙明細 NO.5
	撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.6
	小計						
	改め計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
あと施工アンカー		1.0	式			別紙明細 NO.8
研り工事		1.0	式			別紙明細 NO.9
既設管接続費		1.0	式			別紙明細 NO.10
土工事		1.0	式			別紙明細 NO.11
撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.12
小計						
改め計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 100A	3.0	m			
排水金物	COA 65A	3.0	個			
排水金物	COA 100A	3.0	個			
あと施工アンカー		1.0	式			別紙明細 NO.13
研り工事		1.0	式			別紙明細 NO.14
既設管接続費		1.0	式			別紙明細 NO.15
土工事		1.0	式			別紙明細 NO.16
撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.17
小計						
改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	発生材積込・運搬						
	積込・運搬	金属くず	0.4	ton			
	積込・運搬	廃プラスチック	0.1	m ³			
	積込・運搬	保温材	0.2	m ³			
	積込・運搬	陶器類	0.4	m ³			
	積込・運搬	混合類	1.0	m ³			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	換気設備						
	FV-6 天井換気扇	低騒音形 150φ×500m ³ /h×80Pa	2.0	台			
	機器据付費		1.0	式			別紙明細 NO.1
	スパイラルダクト	亜鉛鉄板 150φ	7.0	m			
	保温工事		1.0	式			別紙明細 NO.2
	あと施工アンカー		1.0	式			別紙明細 NO.3
	撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.4
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	衛生器具設備						
	C-1 大便器1	洗浄弁式床置床排水節水Ⅱ形 掃除口付 暖房便座 紙巻器	7.0	組			
	U-1 小便器	壁掛式低リップ形 自動洗浄 1φ100V	5.0	組			
	SK-2 多目的流し	13mmレバー式横水栓	2.0	組			
	TR-1 L形手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ°	2.0	組			
	TR-3 小便器用手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ°	1.0	組			
	F-2 自動水栓	台付 単水栓	6.0	個			
	水石けん入れ	壁付 0.35L	4.0	個			
	衛生器具据付費		1.0	式			別紙明細 NO.5
	撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.6
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	給水設備						
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VB 20A	7.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VB 25A	31.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VB 32A	2.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VB 40A	10.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VB 50A	11.0	m			
	弁類	仕切弁 GV(コア) 25A	1.0	個			
	弁類	仕切弁 GV(コア) 50A	2.0	個			
	保温工事		1.0	式			別紙明細 NO.7
	あと施工アンカー		1.0	式			別紙明細 NO.8
	研り工事		1.0	式			別紙明細 NO.9
	既設管接続費		1.0	式			別紙明細 NO.10
	撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.11
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	発生材積込・運搬						
	積込・運搬	金属くず	0.4	ton			
	積込・運搬	廃プラスチック	0.6	m ³			
	積込・運搬	保温材	0.3	m ³			
	積込・運搬	陶器類	2.2	m ³			
	積込・運搬	混合類	0.1	m ³			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	換気設備						
	FV-2 天井換気扇	低騒音形 100φ×200m ³ /h×80Pa	1.0	台			
	機器据付費		1.0	式			別紙明細 NO.1
	スパイラルダクト	亜鉛鉄板 100φ	6.0	m			
	保温工事		1.0	式			別紙明細 NO.2
	あと施工アンカー		1.0	式			別紙明細 NO.3
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	衛生器具設備						
	C-5 大便器5	タンク式床置床排水節水Ⅱ形 掃除口付 温水洗浄便座 紙巻器	1.0	組			
	L-2 洗面器	ハイバック形 自動単水栓	1.0	組			
	SK-3 オストメイトバック	壁掛式汚物流し ロータンク式 電気温水器(3L)	1.0	組			
	TR-1 L形手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ°	1.0	組			
	TR-2 はね上げ手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ°	1.0	組			
	BR-1 背もたれ		1.0	組			
	BS-1 ベビーシート		1.0	組			
	BC-1 ベビーチェア		1.0	組			
	FB-1 フィッティングボード°		1.0	組			
	M-2 化粧鏡	360×1100	1.0	枚			
	衛生器具据付費		1.0	式			別紙明細 NO.4
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	給水設備						
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 VLP-VD 20A	5.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 VLP-VD 25A	6.0	m			
	保温工事		1.0	式			別紙明細 NO.5
	既設管接続費		1.0	式			別紙明細 NO.6
	土工事		1.0	式			別紙明細 NO.7
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	排水通気設備						
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 40A	2.0	m			
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 65A	2.0	m			
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 75A	2.0	m			
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 100A	5.0	m			
	通気管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 50A	3.0	m			
	通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 50A	7.0	m			
	通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 100A	1.0	m			
	排水金物	COA 100A	1.0	個			
	通気金物	VC(平形) 100A	1.0	個			
	あと施工アンカー		1.0	式			別紙明細 NO.8
	研り工事		1.0	式			別紙明細 NO.9
	土工事		1.0	式			別紙明細 NO.10
	小計						
	改め計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
衛生器具据付費						別紙明細 NO.5
C-1 大便器1	洗浄弁式床置床排水節水Ⅱ形 掃除口付 暖房便座 紙巻器	23.0	組			
U-1 小便器	壁掛式低リップ形 自動洗浄 1φ100V	15.0	組			
L-1 はめ込みカウンター式洗面器	アンダーカウンター式 自動水栓 角形ホウル×2 L=2000程度	6.0	組			
SK-1 掃除流し	20mm送り座付横水栓	6.0	組			
TR-1 L形手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ	6.0	組			
TR-3 小便器用手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ	3.0	組			
フラッシュバルブ		4.0	組			
洋風便器用便座		4.0	組			
小計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去工事						別紙明細 NO.6
洋風便器	洗浄弁式	16.0	組			
和風便器	洗浄弁式	8.0	組			
小便器	床排水形	9.0	組			
小便器	壁掛低リップ形	6.0	組			
はめ込み洗面器	洗面器2組 洗面カウンター含む	6.0	組			
掃除流し		6.0	組			
小便器用手すり		1.0	組			
フラッシュバルブ		4.0	個			
洋風便器用便座		4.0	個			
洋風便器	(取外し)	4.0	組			
横水栓	(取外し)	20.0	個			
小計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
保温工事						別紙明細 NO.7
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 20A	46.4	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 25A	49.9	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 32A	2.2	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 40A	19.0	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 50A	12.5	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 65A	7.1	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 80A	8.7	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 100A	19.2	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 125A	4.2	m			
グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 20A	24.7	m			
グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 25A	19.5	m			
グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 40A	12.8	m			
グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 50A	7.9	m			
グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 80A	5.5	m			

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
グラスウール	給水管 ヒット内 着色アルミガラスクロス 100A	2.2	m			
グラスウール	弁類 天井内・PS ポリスチレンフォームカバー 65A	1.0	個			
グラスウール	弁類 天井内・PS ポリスチレンフォームカバー 80A	2.0	個			
グラスウール	弁類 天井内・PS ポリスチレンフォームカバー 100A	2.0	個			
グラスウール	消火管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 65A	17.2	m			
グラスウール	消火管 ヒット内 着色アルミガラスクロス 65A	2.6	m			
小計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
既設管接続費						別紙明細 NO.10
配管工	鋼管類 保温有り 20A 1箇所	0.30	人			
保温工	鋼管類 保温有り 20A 1箇所	0.02	人			
配管工	鋼管類 保温有り 25A 2箇所	0.64	人			
保温工	鋼管類 保温有り 25A 2箇所	0.04	人			
配管工	鋼管類 保温有り 40A 2箇所	0.82	人			
保温工	鋼管類 保温有り 40A 2箇所	0.06	人			
配管工	鋼管類 保温有り 80A 1箇所	0.85	人			
保温工	鋼管類 保温有り 80A 1箇所	0.04	人			
配管工	鋼管類 保温有り 100A 1箇所	0.99	人			
保温工	鋼管類 保温有り 100A 1箇所	0.05	人			
配管工	鋼管類 保温有り 125A 1箇所	1.16	人			
保温工	鋼管類 保温有り 125A 1箇所	0.06	人			
その他		0.20	乗率			
小計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去工事						別紙明細 NO.11
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 20A	68.7	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 25A	59.5	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 32A	3.5	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 40A	42.2	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 50A	20.9	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-FVA 65A	6.3	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-FVA 80A	14.6	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-FVA 100A	21.4	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-FVA 125A	4.2	m			
弁類	仕切弁 GV 65A	1.0	個			
弁類	仕切弁 GV 80A	2.0	個			
弁類	仕切弁 GV 100A	2.0	個			
ガラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 20A	38.7	m			
ガラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 25A	41.6	m			

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 32A	3.5	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 40A	26.8	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 50A	13.3	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 65A	6.3	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 80A	9.1	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 100A	19.2	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 125A	4.2	m			
グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 20A	30.0	m			
グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 25A	17.9	m			
グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 40A	15.4	m			
グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 50A	7.6	m			
グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 80A	5.5	m			
グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 100A	2.2	m			
グラスウール	弁類 天井内・PS ポリスチレンフォームカバー 65A	1.0	個			
グラスウール	弁類 天井内・PS ポリスチレンフォームカバー 80A	2.0	個			
グラスウール	弁類 天井内・PS ポリスチレンフォームカバー 100A	2.0	個			

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
研り工事						別紙明細 NO.13
機械研り	貫通口径 100mm コンクリート厚さ 120mm～150mm	22.0	箇所			
機械研り	貫通口径 125mm コンクリート厚さ 120mm～150mm	8.0	箇所			
機械研り	貫通口径 150mm コンクリート厚さ 120mm～150mm	48.0	箇所			
小計						

名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
既設管接続費						別紙明細 NO.14
配管工	樹脂類 50A 5箇所	0.70	人			
配管工	樹脂類 65A 1箇所	0.14	人			
配管工	樹脂類 75A 6箇所	0.90	人			
配管工	樹脂類 100A 9箇所	1.44	人			
配管工	樹脂類 125A 2箇所	0.32	人			
その他		0.20	乗率			
小計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去工事						別紙明細 NO.16
汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 50A	9.2	m			
汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 75A	3.0	m			
汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 100A	29.5	m			
汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 125A	3.3	m			
雑排水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 40A	6.7	m			
雑排水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 50A	3.4	m			
雑排水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 65A	7.7	m			
雑排水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 100A	16.7	m			
通気管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 50A	9.7	m			
通気管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 65A	9.0	m			
汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	地中配管 VP 100A	3.5	m			
汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	地中配管 VP 125A	1.9	m			
雑排水管 硬質ポリ塩化ビニル管	地中配管 VP 100A	4.3	m			
汚水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 50A	12.7	m			

名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 100A	79.8	m			
污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 125A	6.1	m			
雑排水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 40A	11.2	m			
雑排水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 50A	15.9	m			
雑排水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 65A	7.8	m			
雑排水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 75A	17.7	m			
雑排水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 100A	26.4	m			
通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 50A	18.1	m			
通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 65A	13.5	m			
通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 75A	9.4	m			
通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 100A	16.6	m			
排水金物	COA 50A	1.0	個			
排水金物	COA 65A	1.0	個			
排水金物	COA 80A	2.0	個			
排水金物	COA 100A	5.0	個			
排水金物	COB 65A	1.0	個			

名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
排水金物	COB 80A	3.0	個			
排水金物	COB 100A	18.0	個			
排水金物	COB 125A	1.0	個			
排水金物	T14A 50A	4.0	個			
排水金物	T5A 50A	2.0	個			
排水金物	T5B 50A	6.0	個			
根切り	人力	3.43	m ³			
埋戻し	人力	3.43	m ³			
小計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	
衛生器具据付費						別紙明細 NO.5
C-5 大便器5	タンク式床置床排水節水Ⅱ形 掃除口付 温水洗浄便座 紙巻器	3.0	組			
L-2 洗面器	ハイバック形 自動単水栓	3.0	組			
TR-1 L形手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ°	3.0	組			
TR-2 はね上げ手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ°	3.0	組			
BR-1 背もたれ		3.0	組			
M-2 化粧鏡	耐食形 360×1100	3.0	枚			
小計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	
撤去工事						別紙明細 NO.6
身障者用便器	洗浄弁式	3.0	組			
はめ込み洗面器		3.0	組			
L形手すり		3.0	組			
はね上げ手すり		3.0	組			
傾斜鏡		3.0	枚			
小計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	
保温工事						別紙明細 NO.7
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 20A	7.2	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 25A	2.6	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 40A	1.0	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 50A	4.4	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 65A	14.9	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 80A	7.4	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 100A	5.0	m			
グラスウール	弁類 天井内・PS ポリスチレンフォームカバー 65A	1.0	個			
小計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	
既設管接続費						別紙明細 NO.10
配管工	鋼管類 保温有り 40A 2箇所	0.82	人			
保温工	鋼管類 保温有り 40A 2箇所	0.06	人			
配管工	鋼管類 保温有り 65A 3箇所	2.16	人			
保温工	鋼管類 保温有り 65A 3箇所	0.09	人			
配管工	鋼管類 保温有り 80A 1箇所	0.85	人			
保温工	鋼管類 保温有り 80A 1箇所	0.04	人			
その他		0.20	乗率			
小計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	
撤去工事						別紙明細 NO.12
揚水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-FVA 65A	2.6	m			
揚水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-FVD 65A	2.6	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 20A	2.0	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 25A	5.4	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 40A	1.0	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 50A	4.4	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-FVA 80A	1.0	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-FVA 100A	2.7	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 20A	1.0	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 25A	2.7	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-FVD 65A	2.7	m			
弁類	仕切弁 GV 65A	1.0	個			
ガラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 20A	2.0	m			
ガラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 25A	5.4	m			

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 40A	1.0	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 50A	4.4	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 65A	4.8	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 80A	1.0	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 100A	2.7	m			
グラスウール	弁類 天井内・PS ポリスチレンフォームカバー 65A	1.0	個			
根切り	人力	0.87	m ³			
埋戻し	人力	0.87	m ³			
小計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	
研り工事						別紙明細 NO.14
機械研り	貫通口径 100mm コンクリート厚さ 120mm～150mm	2.0	箇所			
機械研り	貫通口径 125mm コンクリート厚さ 120mm～150mm	2.0	箇所			
機械研り	貫通口径 150mm コンクリート厚さ 120mm～150mm	4.0	箇所			
小計						

名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	
既設管接続費						別紙明細 NO.15
配管工	樹脂類 50A 2箇所	0.28	人			
配管工	樹脂類 65A 1箇所	0.14	人			
配管工	樹脂類 75A 3箇所	0.45	人			
配管工	樹脂類 100A 6箇所	0.96	人			
その他		0.20	乗率			
小計						

名称	内容	数量	単位	単価	金額	
撤去工事						別紙明細 NO.17
汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 100A	6.7	m			
雑排水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 40A	1.3	m			
雑排水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 100A	5.4	m			
通気管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 50A	1.9	m			
通気管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 75A	0.5	m			
汚水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 100A	14.3	m			
雑排水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 40A	1.2	m			
雑排水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 50A	1.3	m			
雑排水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 65A	2.5	m			
雑排水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 75A	0.5	m			
雑排水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 100A	11.1	m			
通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 50A	2.4	m			
通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 100A	12.6	m			
排水金物	COA 65A	1.0	個			

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去工事						別紙明細 NO.4
天井埋込換気扇		2.0	台			
スパイラルダクト	150φ	6.5	m			
ガラスウール	スパイラルダクト 25t	0.9	m ²			
小計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
衛生器具据付費						別紙明細 NO.5
C-1 大便器1	洗浄弁式床置床排水節水Ⅱ形 掃除口付 暖房便座 紙巻器	7.0	組			
U-1 小便器	壁掛式低リップ形 自動洗浄 1φ100V	5.0	組			
SK-2 多目的流し	13mmレバー式横水栓	2.0	組			
TR-1 L形手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ°	2.0	組			
TR-3 小便器用手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ°	1.0	組			
F-1 自動水栓	壁付 単水栓	6.0	個			
水石けん入れ		4.0	個			
小計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去工事						別紙明細 NO.6
洋風便器	ロータンク式	2.0	組			
和風便器	洗浄弁式	7.0	組			
小便器	床排水形	6.0	組			
掃除流し		1.0	組			
小便器用手すり		1.0	組			
横水栓		4.0	個			
小計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
保温工事						別紙明細 NO.7
グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 20A	7.0	m			
グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 25A	30.6	m			
グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 32A	1.9	m			
グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 40A	10.0	m			
グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 50A	11.0	m			
小計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
既設管接続費						別紙明細 NO.10
配管工	鋼管類 保温有り 20A 2箇所	0.60	人			
保温工	鋼管類 保温有り 20A 2箇所	0.04	人			
配管工	鋼管類 保温有り 25A 1箇所	0.32	人			
保温工	鋼管類 保温有り 25A 1箇所	0.02	人			
その他		0.20	乗率			
小計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去工事						別紙明細 NO.11
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 20A	20.5	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 25A	21.2	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 32A	3.0	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 40A	7.9	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 50A	11.3	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 20A	4.7	m			
ガラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 20A	20.5	m			
ガラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 25A	21.2	m			
ガラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 32A	3.0	m			
ガラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 40A	7.9	m			
ガラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 50A	11.3	m			
根切り	人力	0.79	m ³			
埋戻し	人力	0.79	m ³			
小計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
研り工事						別紙明細 NO.13
機械研り	貫通口径 100mm コンクリート厚さ 120mm～150mm	7.0	箇所			
機械研り	貫通口径 125mm コンクリート厚さ 120mm～150mm	2.0	箇所			
機械研り	貫通口径 150mm コンクリート厚さ 120mm～150mm	15.0	箇所			
小計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
既設管接続費						別紙明細 NO.14
配管工	樹脂類 50A 1箇所	0.14	人			
配管工	樹脂類 100A 1箇所	0.16	人			
配管工	樹脂類 125A 1箇所	0.16	人			
その他		0.20	乗率			
小計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去工事						別紙明細 NO.15
污水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 50A	9.6	m			
污水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 65A	4.5	m			
污水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 75A	9.4	m			
污水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 100A	31.6	m			
污水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 125A	6.6	m			
通気管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 50A	6.1	m			
通気管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 65A	3.8	m			
排水金物	COB 100A	4.0	個			
排水金物	COB 125A	1.0	個			
排水金物	T3B 65A	2.0	個			
排水金物	T14A 50A	1.0	個			
小計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
衛生器具据付費						別紙明細 NO.4
C-5 大便器5	タンク式床置床排水節水Ⅱ形 掃除口付 温水洗浄便座 紙巻器	1.0	組			
L-2 洗面器	ハイバック形 自動単水栓	1.0	組			
SK-3 オストメイトパック	壁掛式汚物流し ロータンク式 電気温水器(3L)	1.0	組			
TR-1 L形手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ°	1.0	組			
TR-2 はね上げ手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ°	1.0	組			
BR-1 背もたれ		1.0	組			
BS-1 ベビーシート		1.0	組			
BC-1 ベビーチェア		1.0	組			
FB-1 フイティングボード°		1.0	組			
M-2 化粧鏡	360×1100	1.0	枚			
小計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
保温工事						別紙明細 NO.5
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 20A	2.0	m			
グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 25A	1.0	m			
小計						

名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
土工事						別紙明細 NO.7
根切り	人力	1.39	m ³			
山砂		0.69	m ³			
埋戻し	人力	0.70	m ³			
残土処分	人力	0.69	m ³			
小計						

名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
土工事						別紙明細 NO.10
根切り	人力	3.46	m ³			
山砂		0.99	m ³			
埋戻し	人力	2.47	m ³			
残土処分	人力	0.99	m ³			
小計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(3)	発生材処分(機械)						
	(北舎 一般)						
	発生材処分費	金属くず	2.3	ton			
	発生材処分費	廃プラスチック	0.9	m ³			
	発生材処分費	保温材	2.2	m ³			
	発生材処分費	陶器類	7.1	m ³			
	発生材処分費	混合類	2.6	m ³			
	(北舎 多目的)						
	発生材処分費	金属くず	0.4	ton			
	発生材処分費	廃プラスチック	0.1	m ³			
	発生材処分費	保温材	0.2	m ³			
	発生材処分費	陶器類	0.4	m ³			
	発生材処分費	混合類	1.0	m ³			
	— 次項へ続く —						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(屋内運動場)						
	発生材処分費	金属くず	0.4	ton			
	発生材処分費	廃プラスチック	0.6	m ³			
	発生材処分費	保温材	0.3	m ³			
	発生材処分費	陶器類	2.2	m ³			
	発生材処分費	混合類	0.1	m ³			
	小計						
	改め計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費(積上げ)						
仮囲い	成形鋼板 H=2.0	33.8	m			
クロスゲート	H=1.8 W=3.0	2.0	箇所			
クロスゲート	H=1.8 W=6.0	1.0	箇所			
養生敷き鉄板	t22	1.0	式			
交通誘導員	A種 6人程度	1.0	式			
仮設トイレ	水洗タイプ 4ヶ月 仮設配管共	10.0	棟			
手洗いシンク	基本料 全槽L1800程度 蛇口3ヶ所	2.0	台			
手洗いシンク	リース料 2台	4.0	ヶ月			
仮設床組み		20.6	m ²			
仮設屋根	単管小屋 4ヶ月	20.6	m ²			
ラフタークレーン	25t オペレーター付き	3.0	日			
既設フェンス	取外し再取付	1.0	式			
電気工事仮設費		1.0	式			別紙明細 NO.1
小計						
改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細 NO.1 電気工事仮設費						
	電線管	(VE22) 仮設	22.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 管内	22.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 隠蔽	7.0	m			
	プルボックス	200×200×150SUS WP	3.0	個			
	スイッチボックス	1個用 WP	2.0	個			
	照明器具	G	4.0	個			
	スイッチ	1P15A×1 WP	2.0	個			
	コア抜き	φ 30	1.00	箇所			
	撤去 電線管	(VE22) 仮設	22.0	m			
	撤去 ケーブル	EM-EEF2.0-3C 管内	22.0	m			
	撤去 ケーブル	EM-EEF2.0-3C 隠蔽	7.0	m			
	撤去 プルボックス	200×200×150SUS WP	3.0	個			
	撤去 スwitchボックス	1個用 WP	2.0	個			
	撤去 照明器具	G	4.0	個			
	撤去 スwitch	1P15A×1 WP	2.0	個			
	小計						

II 建築改修工事仕様	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項
工事概要 工事名称 可児市立旭小学校トイレ大規模改修工事（Ⅱ期） 主要用途 小学校 工事種別 改修 敷地 可児市大森2078番地の3 敷地面積 22,294㎡ 都市計画法等 都市計画区域 ○ 都市計画区域内（・市街化区域・市街化調整区域○その他） 用途地域 ・（ ） 防火地域 ・ 防火地域 ・ 準防火地域 ○指定なし その他の指定 ・ 22条指定区域内 ・ 22条指定区域外 ・（ ） 建築基準法 道 路 ・ 国道 ・ 県道 ○市道 ・ 町道 ・ 村道 ・ 広道 幅員 - m（2以上の道路に接する場合には、広い方の道路幅員を記入） 指定の建ぺい率 60.0% 指定の容積率 200.0% 工事建物の概要 ② 北舎 : RC 造・3階建て、延べ床面積 2,911.54㎡ ⑦-1 南舎 : RC 造・2階建て、延べ床面積 1,300.77㎡ ※工事対象外 ⑩ 特別教室棟 : RC 造・2階建て、延べ床面積 772.21㎡ ※工事対象外 ⑭-1 屋内運動場 : S 造・平屋建て、延べ床面積 1,194.329㎡ ⑭-2 屋外便所 : S 造・平屋建て、延べ床面積 18.9㎡ ※工事対象外 工事の範囲 ○建築工事（トイレ改修に伴う内装、建具等） ○電気設備工事（トイレ改修に伴う幹線、電灯設備等） ○機械設備工事（トイレ改修に伴う換気、衛生、給排水設備等） ○外構工事一式 特記仕様書の範囲 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。 ○構造特記仕様書 ・ 外構工事特記仕様書 ・ 植栽工事特記仕様書 ○解体工事特記仕様書 ○電気設備工事特記仕様書 ・ 機械設備工事特記仕様書 ○可児市建設工事特記仕様書 別途工事 1. 共通仕様 (1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版【令和5年3月改定】)」(以下「改修標準仕様書」という。)による。 なお、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版【令和5年3月改定】)」(以下「標準仕様書」という。)による。 (2) 電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、電気設備改修工事及び機械設備改修工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。 (3) 受注者は建築基準法第7条の定めによる完了検査(同法第7条の3の定めによる中間検査を含む)時には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料(報告書等)を用意すること。 2. 本特記仕様書の表記 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の() 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の[] 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 受注者は、南海トラフ地震防災対策強化地域における工事にあっては、南海トラフ地震に関連する事情(臨時)が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。 上記事項が発生した場合は、契約書第26条(臨機の措置)の規定による。 (5) 標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により(条例等を含む)に抵触する場合には、関係法令等の遵守(1.1.13)の規定を優先する。	⑧ 発生材の処理等 ※引渡しを要するもの(・金属類 ※PCB含有物 ・) (1.3.12) ・特別管理産業廃棄物(※廃石綿 ()) ・現場において再利用を図るもの() ・再生資材の活用を図るもの() ・アスベスト成形板としての処理を要するもの ※改修標準仕様書の9章 環境配慮改修工事による ・PCB含有シーリング材の分析調査 ・第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否の判定を行う採取箇所数(計 箇所) 採取場所(※図示) ・第二次判定 専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う分析個数(計 個) ・除去処理工事 撤去工法 「標準施工要領書(日本シーリング工業共同組合連合会/日本シーリング材工業会)」による 除去範囲(※図示) ※再生資源利用促進計画書及び再生資源利用計画書の提出 建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を監督員に提出するものとする。 なお、計画書及び報告書は「建設副産物情報交換システム」(COBRIS)により作成したものとす。 種別 ・ A種 ○B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 [3.2.3][表3.2.1] ※再生クラッシャーラン [G] ・ 切込砂利又は切込砕石 [4.6.2] [G] 印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)」(以下「グリーン購入法」という。))に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針の変更(平成31年2月8日閣議決定)」に定める特定調達物品等を示す。原則としてグリーン購入法における特定調達品目を使用しない。(1.4.1) 1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次のi)からiv)を満たすものとする。 i) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDFパーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散量が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ii) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 iii) 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 iv) i)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散量が極めて少ない材料を使用しなくてはならない。 2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次のi)又はii)に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次のiii)又はiv)に該当する材料を指す。 i) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ii) 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 iii) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 iv) 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASマーク表示のない材料等は、次の1)から6)の事項を満たすものとする。(1.4.2) 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3) 安定的な供給が可能であること。 4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料等を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断に基準に従い、あらかじめ、「木材・木材製品の合法性・持続可能性の証明のためのガイドライン」(林野庁 平成18年2月15日)に準拠した証明書を監督員へ提出する。 改修標準仕様書、標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。 ※施工計画調査 (1.5.1~3) 本工事該当部位及び関連部位について既存施設(埋設配管等を含む)について、施工計画作成のための事前調査、情報収集を行う。 報告書 監督員に2部提出 立面図、平面図等に記載、必要に応じ写真を添付 調査業者 外壁及び防水改修施工数量調査は、使用予定材料メーカーの指定する施工業者とする。 ・埋設配管の試掘 範囲、復旧方法 ※図示 ・ ・施工数量調査(外壁改修) (1.5.2、3) 調査範囲 ※外壁改修範囲 ・ 図示 調査内容 ひび割れの幅及び長さ等を調査する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分、欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を調査する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を調査する。また、既存塗膜と新規塗料との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示 ・ ・既存塗膜の付着力試験 試験箇所及び箇所数については、監督員と協議の上決定する	① 共通事項 15 技能士 (1.5.2、3) ・ 施工数量調査(防水改修) 調査範囲 ※防水改修範囲 ・ 図示 調査方法 ・ 図示 ・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示 ・ ※適用する 適用する技能士 (1.6.2) 工事種目 技能士検定職種 技能検定作業 仮設工事 とび ○ とび作業 鉄筋工事 鉄筋施工 ○ 鉄筋組立作業 コンクリート工事 型枠施工 ○ 型枠組立作業 コンクリート圧送施工 ○ コンクリート圧送工事作業 石工事 石材施工 ・ 石張り作業 木工事 建築大工 ○ 大工工事作業 金属工事 内装仕上げ施工 ○ 鋼製下地工事作業 建築板金 ○ 内外装板金作業 防水改修工事 防水施工 ・ フタ付防水工事作業 ・ ルルコ®系塗膜防水工事作業 ・ アクリル®系塗膜防水工事作業 ・ 合成®系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル®系シート防水工事作業 ・ ペット系防水工事作業 ○ シート®防水工事作業 ・ 改質アクリルシート®工法防水 ・ FRP防水工事作業 屋根及びとい改修工事 建築板金 ・ 内外装板金作業 外壁改修工事 樹脂接着剤注入施工 ・ 樹脂接着剤注入工事作業 左官 ○ 左官作業 タイル張り ○ タイル張り作業 建具改修工事 サッシ施工 ○ ビル用サッシ施工 ガラス施工 ○ ガラス工事作業 自動ドア施工 ・ 自動ドア施工作業 内装改修工事 建築大工 ・ 大工工事作業 内装仕上げ施工 ○ 鋼製下地工事作業 建築板金 ○ 内外装板金作業 内装仕上げ施工 ○ フタ付系床仕上げ工事作業 ・ カベ®系床仕上げ工事作業 ○ ボード仕上げ工事作業 表装 ○ 壁装作業 左官 ○ 左官作業 タイル張り ○ タイル張り作業 塗装改修工事 塗装 ○ 建築塗装作業 耐震改修工事 型枠施工 ・ 型枠工事作業 鉄筋施工 ・ 鉄筋組立作業 コンクリート圧送施工 ・ コンクリート圧送工事作業 排水工事 配管 ・ 建築配管作業 舗装工事 路面標示施工 ・ 溶融・インソルト®マーカー工事作業 植栽工事 造園 ・ 造園工事作業 16 技能資格者 (1.6.3) ・ 溶接技能者(一社)日本溶接協会が検定した技能資格を有する者) ・ 圧接技量資格者(JIS Z 3881(ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準)による技量を有する者) 17 施工の検査等 (1.6.5、6) ○ 監督員の指示による 18 施工の立会い (1.6.7) ○ 監督員の指示による 19 化学物質の濃度測定 (1.6.9) 1) 着工前及び着工後に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。 2) 測定対象室及び測定箇所数は次による。 測定対象室() 測定箇所数() 測定方法 ※パップ採取による蒸気拡散式分析法 ・ 厚生労働省の標準法 測定物質 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン 換気 測定対象室のすべての窓及び扉(造り付け家具、押入れ等を含む。)を開放し30分換気する。 閉鎖 測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押入れ等の扉は、開放したままとする。 測定 測定は、「閉鎖」の状態のまま行う。 測定時間は、原則として24時間とする。但し24時間測定が行えない場合は、8時間測定(10時30分~18時30分)とする。 測定位置は、室中央付近の床から1.2m~1.5mの高さとする。 20 完成時の提出書類 (1.8.1~3)(表1.8.1) ○完成図(施工図、施工計画書を除く) ※新規に作成 ・ 既存完成図を修正 記載内容は監督職員と協議する。 可児市建設工事における取扱書類一覧により整理し提出する。 ※提出完成図(A2版二つ折り製本2部、A3版二つ折り製本2部) ○保全に関する資料 提出 ※1部 ・ ○施工図(・監督員の指示による) 提出 ※A2版二つ折り製本2部、A3版二つ折り製本2部 ○施工計画書(・監督員の指示による) 提出 ※1部 ・ 本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権者の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に移譲するものとする。 製作図等で原因として提出が出来ないものは、原因に代わるものとしてよい。 設備機器の位置、取り付け等が検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 完成図面電子データJWW形式又はDXF形式 及びPDF形式又はTIFF形式(解像度300DPI程度)	① 共通事項 22 工事写真 23 設計GL 24 建設機械 25 設備工事との取り合い 26 事故報告 27 養生その他 28 完成写真 29 建設発生土の処理 30 書類の書式等 31 概成工期 32 下請施工業務 33 産業廃棄物の適正処理 34 下請業者等 国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」による工事写真撮影ガイドブック(令和5年版)及び国土交通大臣官房官庁営繕部「デジタル工事写真の黒板情報電子化について」による他、監督員の指示により撮影し提出する。 ※設計GL=BM+ mm(現状地盤高は図示) 1) 本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号、最終改正 平成13年4月9日国土交通省告示第487号)に基づき指定された建設機械を使用する。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。 2) 本工事においては「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領(平成18年3月17日国土総務省告示第215号、最終改正 平成23年7月13日国土総務省告示第1号)に基づき指定された建設機械を使用する。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年建設技術評価制公課課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はあるいはこれと同等の開発目標を達成した建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。 排出ガス対策型建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。 本工事の施工範囲 ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 ※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ※自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ※駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ 施工図 ※設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通知するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。 工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、在来にならない補修する。 ※粉じん対策 粉じんが発生する場合には、集塵機を設置すること。 工事車両の洗車及び道路の清掃をすること。 搬出時等は、周辺道路への土砂等飛散防止に努めること。 監督員と協議のうえ、工事車両の出入り及び出隅部分に透明付付の仮囲いや赤色灯を設置すること。 ・騒音対策 隣地境界地点において騒音振動測定器を設置し、測定管理すること。 ・夜間照明 仮囲い上部に仮設夜間照明を設置すること。 撮影箇所数 ※() 箇所 ・ 航空写真() 箇所 ○ 監督員の指示による 本完成写真の著作権者の権利は、発注者に委譲するものとする。 提出内容 ※電子データ 1部 画素:長辺で2880PIX以上 記録方式:RGB(フルカラー) ・ JPEG最高画質 記録媒体:CD-R(ISO) ・カラープリント キャビネ板()部 アルバム(黒表紙金文字300mm×300mm程度) ※無し ・ 有り ・四つ切 () 枚 ※アルミ額縁 ・ 印刷用紙、A4縦 ・半切 () 枚 ※アルミ額縁 ・ 撮影内容:監督員の指示による ・全紙 () 枚 ※アルミ額縁 ・ 提出部数:監督員の指示による [3.2.5] 「建設発生土情報交換システム」(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)を活用し近隣の受入先を調査の上、搬出距離、搬入条件等が確認できる資料を監督職員に提出し、協議により搬出先を決定する。搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。 可児市建設発生土処理基準に基づき適正に処分すること。 ○場外指定場所に搬出する。 ※搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。 ・ 場内指定場所に敷き均し() ・ 場内指定場所に堆積 () ・ 岐阜県建設発生土管理基準により土壌検査を行う。 本工事の施工に関して提出する書類は、発注者が受注者に提示する「営繕工事の請負に係る書類」様式に基づき作成する。 総合試運転を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。 本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方を岐阜県内に本店(建設業法(昭和24年法律第100号)に規定する主たる営業所を含む。)を有する者の中から選定するよう努めること。 産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物の関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物の最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認すること。 下請業者の選定に当たっては岐阜県入札参加資格停止の処置がなされていないこと。			
章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	
① 共通事項	① 適用基準等 ・ 建築工事標準詳細図(令和4年版)国土交通大臣官房官庁営繕部整備課各図面において、(○-○-○)内の数字は適用する上記詳細番号を示す。 工事写真撮影ガイドブック(令和5年度版)建築工事編及び解体工事編 国土交通大臣官房官庁営繕部 ・ 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)国土交通大臣官房官庁営繕部整備課 ・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 風速(V ₀ =32 m/s) 地表面粗度区分(Ⅲ) 積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表(24) ③ 工事実績情報サービス(CORINS)への登録 工事請負金額が500万円以上(消費税込み)の工事について、(1.1.4)工事実績情報を登録するものとする。 (登録先:一財)日本建設情報総合センター) なお、登録内容を訂正する必要がある場合は、標準仕様書に記載された登録の手順に準じて訂正するものとする。 また、変更契約日と工事完了日の間が、10日に満たない場合は、変更契約時の登録を省略することができるものとする。(1.2.2) ④ 施工計画書 工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書(総合施工計画書)を作成し、監督員に提出する。 次の工種に該当する工事の施工計画書を当該工事の施工に先立ち作成し、監督員に提出する。 ○仮設工事 ・ 防水改修工事 ・ 外壁改修工事 ○建具改修工事 ○内装改修工事 ○塗装改修工事 ・ 耐震改修工事 ○環境配慮改修工事 ○解体工事 5 電気保安技術者 ・ 適用する (1.3.3) 6 工事用電力設備保安責任者 ・ 適用する (1.3.4) ⑦ 施工条件 ○適用する (1.3.5) ○施工時間 (※協議による ・ 指定なし ・ 指定あり) (・ 指定なし ○ 図示) ○施工順序 (・ 指定なし ○ 図示) ○工事用車両の駐車場 (・ 指定なし ・ 図示 ○ 敷地内) ○資機材置場 (・ 指定なし ・ 図示 ○ 敷地内) ○現場事務所 (・ 指定なし ・ 図示 ○ 敷地内) ○建設発生土仮置場 (・ 指定なし ・ 図示 ○ 敷地内)	⑨ 埋戻し及び盛土 ⑩ 砂利地業 ⑪ 環境への配慮 [G] 印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)」(以下「グリーン購入法」という。))に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針の変更(平成31年2月8日閣議決定)」に定める特定調達物品等を示す。原則としてグリーン購入法における特定調達品目を使用しない。(1.4.1) 1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次のi)からiv)を満たすものとする。 i) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDFパーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散量が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ii) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 iii) 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 iv) i)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散量が極めて少ない材料を使用しなくてはならない。 2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次のi)又はii)に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次のiii)又はiv)に該当する材料を指す。 i) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ii) 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 iii) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 iv) 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASマーク表示のない材料等は、次の1)から6)の事項を満たすものとする。(1.4.2) 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3) 安定的な供給が可能であること。 4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料等を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断に基準に従い、あらかじめ、「木材・木材製品の合法性・持続可能性の証明のためのガイドライン」(林野庁 平成18年2月15日)に準拠した証明書を監督員へ提出する。 改修標準仕様書、標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。 ※施工計画調査 (1.5.1~3) 本工事該当部位及び関連部位について既存施設(埋設配管等を含む)について、施工計画作成のための事前調査、情報収集を行う。 報告書 監督員に2部提出 立面図、平面図等に記載、必要に応じ写真を添付 調査業者 外壁及び防水改修施工数量調査は、使用予定材料メーカーの指定する施工業者とする。 ・埋設配管の試掘 範囲、復旧方法 ※図示 ・ ・施工数量調査(外壁改修) (1.5.2、3) 調査範囲 ※外壁改修範囲 ・ 図示 調査内容 ひび割れの幅及び長さ等を調査する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分、欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を調査する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を調査する。また、既存塗膜と新規塗料との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示 ・ ・既存塗膜の付着力試験 試験箇所及び箇所数については、監督員と協議の上決定する	① 共通事項 15 技能士 (1.5.2、3) ・ 施工数量調査(防水改修) 調査範囲 ※防水改修範囲 ・ 図示 調査方法 ・ 図示 ・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示 ・ ※適用する 適用する技能士 (1.6.2) 工事種目 技能士検定職種 技能検定作業 仮設工事 とび ○ とび作業 鉄筋工事 鉄筋施工 ○ 鉄筋組立作業 コンクリート工事 型枠施工 ○ 型枠組立作業 コンクリート圧送施工 ○ コンクリート圧送工事作業 石工事 石材施工 ・ 石張り作業 木工事 建築大工 ○ 大工工事作業 金属工事 内装仕上げ施工 ○ 鋼製下地工事作業 建築板金 ○ 内外装板金作業 防水改修工事 防水施工 ・ フタ付防水工事作業 ・ ルルコ®系塗膜防水工事作業 ・ アクリル®系塗膜防水工事作業 ・ 合成®系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル®系シート防水工事作業 ・ ペット系防水工事作業 ○ シート®防水工事作業 ・ 改質アクリルシート®工法防水 ・ FRP防水工事作業 屋根及びとい改修工事 建築板金 ・ 内外装板金作業 外壁改修工事 樹脂接着剤注入施工 ・ 樹脂接着剤注入工事作業 左官 ○ 左官作業 タイル張り ○ タイル張り作業 建具改修工事 サッシ施工 ○ ビル用サッシ施工 ガラス施工 ○ ガラス工事作業 自動ドア施工 ・ 自動ドア施工作業 内装改修工事 建築大工 ・ 大工工事作業 内装仕上げ施工 ○ 鋼製下地工事作業 建築板金 ○ 内外装板金作業 内装仕上げ施工 ○ フタ付系床仕上げ工事作業 ・ カベ®系床仕上げ工事作業 ○ ボード仕上げ工事作業 表装 ○ 壁装作業 左官 ○ 左官作業 タイル張り ○ タイル張り作業 塗装改修工事 塗装 ○ 建築塗装作業 耐震改修工事 型枠施工 ・ 型枠工事作業 鉄筋施工 ・ 鉄筋組立作業 コンクリート圧送施工 ・ コンクリート圧送工事作業 排水工事 配管 ・ 建築配管作業 舗装工事 路面標示施工 ・ 溶融・インソルト®マーカー工事作業 植栽工事 造園 ・ 造園工事作業 16 技能資格者 (1.6.3) ・ 溶接技能者(一社)日本溶接協会が検定した技能資格を有する者) ・ 圧接技量資格者(JIS Z 3881(ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準)による技量を有する者) 17 施工の検査等 (1.6.5、6) ○ 監督員の指示による 18 施工の立会い (1.6.7) ○ 監督員の指示による 19 化学物質の濃度測定 (1.6.9) 1) 着工前及び着工後に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。 2) 測定対象室及び測定箇所数は次による。 測定対象室() 測定箇所数() 測定方法 ※パップ採取による蒸気拡散式分析法 ・ 厚生労働省の標準法 測定物質 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン 換気 測定対象室のすべての窓及び扉(造り付け家具、押入れ等を含む。)を開放し30分換気する。 閉鎖 測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押入れ等の扉は、開放したままとする。 測定 測定は、「閉鎖」の状態のまま行う。 測定時間は、原則として24時間とする。但し24時間測定が行えない場合は、8時間測定(10時30分~18時30分)とする。 測定位置は、室中央付近の床から1.2m~1.5mの高さとする。 20 完成時の提出書類 (1.8.1~3)(表1.8.1) ○完成図(施工図、施工計画書を除く) ※新規に作成 ・ 既存完成図を修正 記載内容は監督職員と協議する。 可児市建設工事における取扱書類一覧により整理し提出する。 ※提出完成図(A2版二つ折り製本2部、A3版二つ折り製本2部) ○保全に関する資料 提出 ※1部 ・ ○施工図(・監督員の指示による) 提出 ※A2版二つ折り製本2部、A3版二つ折り製本2部 ○施工計画書(・監督員の指示による) 提出 ※1部 ・ 本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権者の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に移譲するものとする。 製作図等で原因として提出が出来ないものは、原因に代わるものとしてよい。 設備機器の位置、取り付け等が検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 完成図面電子データJWW形式又はDXF形式 及びPDF形式又はTIFF形式(解像度300DPI程度)	① 共通事項 22 工事写真 23 設計GL 24 建設機械 25 設備工事との取り合い 26 事故報告 27 養生その他 28 完成写真 29 建設発生土の処理 30 書類の書式等 31 概成工期 32 下請施工業務 33 産業廃棄物の適正処理 34 下請業者等 国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」による工事写真撮影ガイドブック(令和5年版)及び国土交通大臣官房官庁営繕部「デジタル工事写真の黒板情報電子化について」による他、監督員の指示により撮影し提出する。 ※設計GL=BM+ mm(現状地盤高は図示) 1) 本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号、最終改正 平成13年4月9日国土交通省告示第487号)に基づき指定された建設機械を使用する。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。 2) 本工事においては「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領(平成18年3月17日国土総務省告示第215号、最終改正 平成23年7月13日国土総務省告示第1号)に基づき指定された建設機械を使用する。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年建設技術評価制公課課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はあるいはこれと同等の開発目標を達成した建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。 排出ガス対策型建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。 本工事の施工範囲 ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 ※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ※自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ※駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ 施工図 ※設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通知するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。 工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、在来にならない補修する。 ※粉じん対策 粉じんが発生する場合には、集塵機を設置すること。 工事車両の洗車及び道路の清掃をすること。 搬出時等は、周辺道路への土砂等飛散防止に努めること。 監督員と協議のうえ、工事車両の出入り及び出隅部分に透明付付の仮囲いや赤色灯を設置すること。 ・騒音対策 隣地境界地点において騒音振動測定器を設置し、測定管理すること。 ・夜間照明 仮囲い上部に仮設夜間照明を設置すること。 撮影箇所数 ※() 箇所 ・ 航空写真() 箇所 ○ 監督員の指示による 本完成写真の著作権者の権利は、発注者に委譲するものとする。 提出内容 ※電子データ 1部 画素:長辺で2880PIX以上 記録方式:RGB(フルカラー) ・ JPEG最高画質 記録媒体:CD-R(ISO) ・カラープリント キャビネ板()部 アルバム(黒表紙金文字300mm×300mm程度) ※無し ・ 有り ・四つ切 () 枚 ※アルミ額縁 ・ 印刷用紙、A4縦 ・半切 () 枚 ※アルミ額縁 ・ 撮影内容:監督員の指示による ・全紙 () 枚 ※アルミ額縁 ・ 提出部数:監督員の指示による [3.2.5] 「建設発生土情報交換システム」(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)を活用し近隣の受入先を調査の上、搬出距離、搬入条件等が確認できる資料を監督職員に提出し、協議により搬出先を決定する。搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。 可児市建設発生土処理基準に基づき適正に処分すること。 ○場外指定場所に搬出する。 ※搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。 ・ 場内指定場所に敷き均し() ・ 場内指定場所に堆積 () ・ 岐阜県建設発生土管理基準により土壌検査を行う。 本工事の施工に関して提出する書類は、発注者が受注者に提示する「営繕工事の請負に係る書類」様式に基づき作成する。 総合試運転を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。 本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方を岐阜県内に本店(建設業法(昭和24年法律第100号)に規定する主たる営業所を含む。)を有する者の中から選定するよう努めること。 産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物の関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物の最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認すること。 下請業者の選定に当たっては岐阜県入札参加資格停止の処置がなされていないこと。		
教育委員会事務局 教育総務課	工事名	可児市立旭小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)	種別	改修特記仕様書1	図面番号	A01
	縮尺	—	作成年月日	2024.10		
	設計者	株式会社 デザインボックス				
	氏名	一級建築士 大臣登録 第319430号 野村智美				

章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項																																																																																																																																																																																			
3 防水改修工事	<p>12 折板葺</p> <p>[13.2.2][13.3.2、3][表13.2.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式</th> <th>山高、山ピッチによる区分</th> <th>耐力による区分</th> <th>材料による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>軒先面戸板</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td>重ね形・はげ締め形・かん合形</td> <td>山高 山ピッチ</td> <td>()種</td> <td>※鋼板製 アルミニウム合金板製</td> <td>・有り ・無し</td> <td>・有り ・無し</td> <td>・30分 ・無し</td> </tr> </table> <p>材料 板及びコイルの種類 () 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 () タイトフレームにJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理 標準仕様書表14.2.2による ・ E種 ・ F種 断熱材 ・有り(種別: 厚さ(mm): 防火性能: 時間) 無し 工法 建築基準法に基づき定まる(・1 ・1.15 ・1.3)の風圧力に対応した工法 折板のけらば納め ※けらば包みによる方法</p>	施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能		重ね形・はげ締め形・かん合形	山高 山ピッチ	()種	※鋼板製 アルミニウム合金板製	・有り ・無し	・有り ・無し	・30分 ・無し	4-2 外壁改修(モルタル塗り仕上げ外壁改修)	<p>3 浮き部改修工法</p> <p>(4.1.4)(4.2.2)(4.4.4)(4.4.4、10~15)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数(本/m²)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数(箇所/m²)</th> <th rowspan="2">注入量(mL/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>○アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※16</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・充填工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗替え工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>狭幅部のアンカーピン及び注入口は幅中央に各々5本/mとする</p> <p>※アンカーピンニング試験方法 引張試験: 1箇所/浮き部100m²かつ4面行うこと 引張強度: 1.2N/mm²以上とする</p> <p>アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度</p> <p>充填工法 (4.4.8) ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法 (4.4.9)(表4.4.1、2) ・現場調合材料 ・既調合材料 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示</p>	工法の種類	アンカーピンの本数(本/m ²)		注入口の箇所数(箇所/m ²)		注入量(mL/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	○アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25	・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50	※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16	-	-	※25	・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	・充填工法	-	-	-	-	-	・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-	4-3 外壁改修(タイル張り仕上げ外壁改修)	<p>※アンカーピンニング試験方法 引張試験: 1箇所/浮き部100m²かつ4面行うこと 引張強度: 1.2N/mm²以上とする</p> <p>アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度</p> <p>充填工法 (4.4.8) ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法 (4.4.9)(表4.4.1、2) ・現場調合材料 ・既調合材料 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示</p> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※改修標準仕様書 表4.5.1による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験(表4.5.2) ・行う ・行わない</p> <p>・セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り (表4.5.3、4) 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地の処理 ・目荒らし工法(改修標準仕様書4.4.9(3)による) ・タイル張りの工法 ・外装タイル(・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り) ・外装ユニットタイル(・マスク張り ・モザイクタイル張り) シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>・有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り (表4.5.5) 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地の処理 ・目荒らし工法(改修標準仕様書4.4.9(3)による) シーリングの種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系 シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>4 目地改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.16) ・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示 シーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>5 タイルの形状、寸法等 (4.1.4)(4.2.2)(表4.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法(mm)</th> <th rowspan="2">再生材料の適用(図)</th> <th colspan="3">吸水率による区分</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> <td>無</td> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない</p>	施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用(図)	吸水率による区分			役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考	I	II	III				有	無	有	有	無	有	無		5 建築改修工事	<p>⑤ 1 改修工法 (5.1.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○アルミニウム製建具</td> <td></td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>・樹脂製建具</td> <td></td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>○鋼製建具</td> <td>○外部</td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○内部</td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>○鋼製軽量建具</td> <td></td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製建具</td> <td></td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> </table> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>※指定する 適用箇所(※建具表による) ・指定しない (5.1.4) ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ※連動させる(※建具表による) ・連動させない</p> <p>3 見本の製作等 (5.1.5) 建具見本の製作 ・行う(建具符号:) 建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する 特殊な建具の仮組 ・行う(建具符号:) ・納まり等がわかる程度のもの</p> <p>4 防犯建物部品 (5.1.7) ・適用する 適用箇所(※建具表による)</p> <p>⑤ アルミニウム製建具 (5.2.2~5)(表5.2.1、2)</p> <p>性能値等 外部に面する建具の種類 ○A種(建具符号: ※建具表による) ・B種(建具符号: ※建具表による) ・C種(建具符号: ※建具表による) 枠の見込み寸法 ※建具表による</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級() 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級() 耐震ドア 面内変形追随性の等級()</p> <p>表面処理 外部に面する建具 ※B-1種 ・B-2種 着色 ・ステンカラー ・ブロンズ ・ブラック系 屋内の建具 ※B-C-1種 ・B-C-2種 着色 ・ステンカラー ・ブロンズ ・ブラック系</p> <p>ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 結露水の処理方法 ※図示 水切り板、ぜん板 ※図示</p> <p>⑥ 網戸等 (5.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>○防虫網</td> <td>※ステンレス(SUS316)製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス(SUS304)線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table> <p>外部に面する建具(枠見込み70mmのみ)には、脱落防止装置付又は完全内はずし式とし、見本品(模型など)又は施工図を提出して監督員の承認を要する。(5.2.2)(5.3.2~5)</p> <p>性能値等 外部に面する建具の種類 ・A種(建具符号: ※建具表による) ・B種(建具符号: ※建具表による) ・C種(建具符号: ※建具表による) 枠の見込み寸法 ・建具表による</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級(・T-1 ・T-2) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級(・H-4 ・H-5 ・H-6)</p> <p>表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ガラス ※複層ガラス</p> <p>⑦ 樹脂製建具 (5.2.2)(5.4.2~6)(表5.4.2~5)</p> <p>性能値 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号: ※建具表による) ○適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4(建具符号: ※建具表による) ・S-5(建具符号: ※建具表による) ・S-6(建具符号: ※建具表による)</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級() 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級() 耐震ドア 面内変形追随性の等級()</p> <p>鋼板の厚さ ※改修標準仕様書 表5.4.2による mm ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>⑧ 鋼製軽量建具 (5.2.2)(5.5.2~6)(表5.5.1、2)</p> <p>性能値 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号: ※建具表による)</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級() 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級() 耐震ドア 面内変形追随性の等級()</p> <p>鋼板の種類 ○垂れめっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板</p> <p>鋼板の厚さ ※改修標準仕様書 表5.4.2による mm ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出材</p>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	○アルミニウム製建具			※建具表による	・樹脂製建具			※建具表による	○鋼製建具	○外部		※建具表による		○内部		※建具表による	○鋼製軽量建具			※建具表による	・ステンレス製建具			※建具表による	種類	材種	線径	網目	○防虫網	※ステンレス(SUS316)製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm																																								
施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能																																																																																																																																																																																			
	重ね形・はげ締め形・かん合形	山高 山ピッチ	()種	※鋼板製 アルミニウム合金板製	・有り ・無し	・有り ・無し	・30分 ・無し																																																																																																																																																																																			
工法の種類	アンカーピンの本数(本/m ²)		注入口の箇所数(箇所/m ²)		注入量(mL/箇所)																																																																																																																																																																																					
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																						
○アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25																																																																																																																																																																																					
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																																																																																					
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																																																																																																					
※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16	-	-	※25																																																																																																																																																																																					
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																																																																																					
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																																																					
・充填工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																					
・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																					
施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用(図)	吸水率による区分			役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考																																																																																																																																																																																
			I	II	III																																																																																																																																																																																					
			有	無	有	有	無	有	無																																																																																																																																																																																	
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																																																																																																																																																																							
○アルミニウム製建具			※建具表による																																																																																																																																																																																							
・樹脂製建具			※建具表による																																																																																																																																																																																							
○鋼製建具	○外部		※建具表による																																																																																																																																																																																							
	○内部		※建具表による																																																																																																																																																																																							
○鋼製軽量建具			※建具表による																																																																																																																																																																																							
・ステンレス製建具			※建具表による																																																																																																																																																																																							
種類	材種	線径	網目																																																																																																																																																																																							
○防虫網	※ステンレス(SUS316)製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																																																																																																																																																																																							
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																																																																																																																							
4 外壁改修(共通事項)	<p>1 可とう性エポキシ樹脂 (4.2.2) (品質、試験方法) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂(JIS A 6024)による</p> <p>2 バテ状エポキシ樹脂 (4.2.2) (品質、試験方法) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂(JIS A 6024)による</p> <p>3 エポキシ樹脂モルタル (4.2.2) (品質、試験方法) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂(JIS A 6024)による</p> <p>4 シーリング材 (4.2.2) (品質、試験方法) 建築用シーリング材(JIS A 5758)による</p> <p>5 ポリマーセメントモルタル (4.2.2) (品質・性能) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p> <p>6 ポリマーセメントスラリー (4.2.2) (品質・試験方法) 試験方法・品質基準(独立行政法人 都市再生機構)による</p> <p>7 既調合モルタル (4.2.2) (品質・性能) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	4-3 外壁改修(タイル張り仕上げ外壁改修)	<p>1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.2)(4.5.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(m³/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> </tr> <tr> <td>・0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>・70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>・130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形(0.5mm未満) ※中粘度形(0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する</p> <p>・ウカットシール材充填工法 (4.5.6) ・シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>2 欠損部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.3)(4.5.7)</p> <p>・タイル部分張替え工法 接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557に基づく一液反応硬化型変成シリコーン樹脂系</p> <p>・タイル張替え工法 (4.5.8) 張替え用材料 ・接着剤 JIS A 5557に基づく一液反応硬化型変成シリコーン樹脂系 ・張付けモルタル(・現場調合材料 ・既調合モルタル)</p> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※改修標準仕様書 表4.5.1による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験(表4.5.2) ・行う ・行わない</p> <p>・セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り (表4.5.3、4) 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地の処理 ・目荒らし工法(改修標準仕様書4.4.9(3)による) ・タイル張りの工法 ・外装タイル(・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り) ・外装ユニットタイル(・マスク張り ・モザイクタイル張り) シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>・有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り (表4.5.5) 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地の処理 ・目荒らし工法(改修標準仕様書4.4.9(3)による) シーリングの種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系 シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>3 浮き部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.4)(4.5.9~15)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数(本/m²)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数(箇所/m²)</th> <th rowspan="2">注入量(mL/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※16</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>※注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法</td> <td>※16</td> <td>※16</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> </table> <p>狭幅部のアンカーピン及び注入口は幅中央に各々5本/mとする</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(m ³ /m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・0.3以上~0.5未満	100~200	・70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130	工法の種類	アンカーピンの本数(本/m ²)		注入口の箇所数(箇所/m ²)		注入量(mL/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25	・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50	※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16	-	-	※25	・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	※注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	※16	※16	-	-	※25	4-4 外壁改修(塗り仕上げ外壁改修)	<p>1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 (表4.6.2~5)</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地の補修</th> </tr> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td>※ひび割れ部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法(30MPa程度以上)</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td>※浮き部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離工法</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td>※欠損部改修工法</td> </tr> <tr> <td>○水洗い工法(15MPa程度)(デッキブラシ併用)</td> <td>※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外既存仕上げ面</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル (4.6.3、4)</p> <p>2 下地調整塗材 (4.6.3、4) 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (4.1.5)(4.2.2)(4.6.5) ※規制対象外 新規仕上塗材の種類 (表4.2.4~6)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状及び工法等</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">○薄付け仕上塗材</td> <td>・外装薄塗材 S i</td> <td>○砂壁状</td> <td>さざ波状 ・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 S i</td> <td>○ゆず肌状</td> <td>吹付け ・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>○外装薄塗材 E</td> <td>○凹凸状</td> <td>吹付け ・こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・厚付け仕上塗材</td> <td>・可とう形外装薄塗材 E</td> <td>○凹凸状</td> <td>吹付け ・こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材 E</td> <td>○凹凸状</td> <td>ひき起こし ・掻き落し</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 S</td> <td>○凹凸状</td> <td>ひき起こし ・掻き落し</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">○複層仕上塗材</td> <td>・外装厚塗材 C</td> <td>○吹放し</td> <td>凸部処理</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 S i</td> <td>○吹放し</td> <td>凸部処理</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 E</td> <td>○吹放し</td> <td>凸部処理</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">○複層仕上塗材</td> <td>・防水形複層塗材 C E</td> <td>○吹放し</td> <td>凸部処理</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 S i</td> <td>○吹放し</td> <td>凸部処理</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 E</td> <td>○吹放し</td> <td>凸部処理</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・可とう形改修用仕上塗材</td> <td>・可とう形改修塗材 C E</td> <td>○吹放し</td> <td>凸部処理</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材 S i</td> <td>○吹放し</td> <td>凸部処理</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材 E</td> <td>○吹放し</td> <td>凸部処理</td> </tr> </table> <p>耐水性 ※耐水性3種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック</p> <p>4 マスチック塗材 (4.1.5)(4.7.2)(表4.7.1) 種類 ・A種 ・B種</p>	工法	処理範囲	下地の補修	・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	※ひび割れ部改修工法	・高圧水洗工法(30MPa程度以上)	※既存仕上げ面全体 ・図示	※浮き部改修工法	・塗膜はく離工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	※欠損部改修工法	○水洗い工法(15MPa程度)(デッキブラシ併用)	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外既存仕上げ面	・図示	種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等	○薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i	○砂壁状	さざ波状 ・平たん状	・可とう形外装薄塗材 S i	○ゆず肌状	吹付け ・ローラー塗り	○外装薄塗材 E	○凹凸状	吹付け ・こて塗り	・厚付け仕上塗材	・可とう形外装薄塗材 E	○凹凸状	吹付け ・こて塗り	・防水形外装薄塗材 E	○凹凸状	ひき起こし ・掻き落し	・外装薄塗材 S	○凹凸状	ひき起こし ・掻き落し	○複層仕上塗材	・外装厚塗材 C	○吹放し	凸部処理	・外装厚塗材 S i	○吹放し	凸部処理	・外装厚塗材 E	○吹放し	凸部処理	○複層仕上塗材	・防水形複層塗材 C E	○吹放し	凸部処理	・防水形複層塗材 S i	○吹放し	凸部処理	・防水形複層塗材 E	○吹放し	凸部処理	・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材 C E	○吹放し	凸部処理	・可とう形改修塗材 S i	○吹放し	凸部処理	・可とう形改修塗材 E	○吹放し	凸部処理	⑨ 鋼製軽量建具 (5.2.2)(5.5.2~6)(表5.5.1、2) <p>性能値 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号: ※建具表による)</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級() 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級() 耐震ドア 面内変形追随性の等級()</p> <p>鋼板の厚さ ※改修標準仕様書 表5.4.2による mm ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出材</p>																																								
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(m ³ /m)																																																																																																																																																																																							
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120																																																																																																																																																																																							
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40																																																																																																																																																																																							
・0.3以上~0.5未満	100~200	・70																																																																																																																																																																																								
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130																																																																																																																																																																																							
工法の種類	アンカーピンの本数(本/m ²)		注入口の箇所数(箇所/m ²)		注入量(mL/箇所)																																																																																																																																																																																					
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																						
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25																																																																																																																																																																																					
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																																																																																					
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																																																																																																					
※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16	-	-	※25																																																																																																																																																																																					
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																																																																																					
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																																																					
※注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	※16	※16	-	-	※25																																																																																																																																																																																					
工法	処理範囲	下地の補修																																																																																																																																																																																								
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	※ひび割れ部改修工法																																																																																																																																																																																								
・高圧水洗工法(30MPa程度以上)	※既存仕上げ面全体 ・図示	※浮き部改修工法																																																																																																																																																																																								
・塗膜はく離工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	※欠損部改修工法																																																																																																																																																																																								
○水洗い工法(15MPa程度)(デッキブラシ併用)	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外既存仕上げ面	・図示																																																																																																																																																																																								
種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																																																																																																																							
○薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i	○砂壁状	さざ波状 ・平たん状																																																																																																																																																																																							
	・可とう形外装薄塗材 S i	○ゆず肌状	吹付け ・ローラー塗り																																																																																																																																																																																							
	○外装薄塗材 E	○凹凸状	吹付け ・こて塗り																																																																																																																																																																																							
・厚付け仕上塗材	・可とう形外装薄塗材 E	○凹凸状	吹付け ・こて塗り																																																																																																																																																																																							
	・防水形外装薄塗材 E	○凹凸状	ひき起こし ・掻き落し																																																																																																																																																																																							
	・外装薄塗材 S	○凹凸状	ひき起こし ・掻き落し																																																																																																																																																																																							
○複層仕上塗材	・外装厚塗材 C	○吹放し	凸部処理																																																																																																																																																																																							
	・外装厚塗材 S i	○吹放し	凸部処理																																																																																																																																																																																							
	・外装厚塗材 E	○吹放し	凸部処理																																																																																																																																																																																							
○複層仕上塗材	・防水形複層塗材 C E	○吹放し	凸部処理																																																																																																																																																																																							
	・防水形複層塗材 S i	○吹放し	凸部処理																																																																																																																																																																																							
	・防水形複層塗材 E	○吹放し	凸部処理																																																																																																																																																																																							
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材 C E	○吹放し	凸部処理																																																																																																																																																																																							
	・可とう形改修塗材 S i	○吹放し	凸部処理																																																																																																																																																																																							
	・可とう形改修塗材 E	○吹放し	凸部処理																																																																																																																																																																																							
4-1 外壁改修(コンクリート打放し仕上げ外壁改修)	<p>1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.2)(4.3.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(m³/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> </tr> <tr> <td>・0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>・70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0以下</td> <td>150~250</td> <td>・130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形(0.5mm未満) ※中粘度形(0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する</p> <p>○ウカットシール材充填工法 (4.3.5) ○シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ○可とう性エポキシ樹脂</p> <p>○シール工法 (4.3.6) ○バテ状エポキシ樹脂 ○可とう性エポキシ樹脂</p> <p>2 欠損部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.3)(4.3.7)</p> <p>○充填工法 ○エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル</p>	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(m ³ /m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・0.3以上~0.5未満	100~200	・70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下	150~250	・130	4-2 外壁改修(モルタル塗り仕上げ外壁改修)	<p>1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.4.2)(4.4.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(m³/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> </tr> <tr> <td>・0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>・70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>・130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形(0.5mm未満) ※中粘度形(0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する</p> <p>○ウカットシール材充填工法 (4.4.6) ○シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>○シール工法 (4.4.7) ○バテ状エポキシ樹脂 ○可とう性エポキシ樹脂</p> <p>2 欠損部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.4.3)(4.4.8)</p> <p>○充填工法 ○エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 (4.4.9)(表4.4.1、2) ・現場調合材料 ・既調合材料 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(m ³ /m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・0.3以上~0.5未満	100~200	・70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130	4-3 外壁改修(モルタル塗り仕上げ外壁改修)	<p>1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.2)(4.5.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(m³/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> </tr> <tr> <td>・0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>・70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>・130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形(0.5mm未満) ※中粘度形(0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する</p> <p>○ウカットシール材充填工法 (4.5.6) ・シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>2 欠損部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.3)(4.5.7)</p> <p>・タイル部分張替え工法 接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557に基づく一液反応硬化型変成シリコーン樹脂系</p> <p>・タイル張替え工法 (4.5.8) 張替え用材料 ・接着剤 JIS A 5557に基づく一液反応硬化型変成シリコーン樹脂系 ・張付けモルタル(・現場調合材料 ・既調合モルタル)</p> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※改修標準仕様書 表4.5.1による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験(表4.5.2) ・行う ・行わない</p> <p>・セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り (表4.5.3、4) 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地の処理 ・目荒らし工法(改修標準仕様書4.4.9(3)による) ・タイル張りの工法 ・外装タイル(・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り) ・外装ユニットタイル(・マスク張り ・モザイクタイル張り) シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>・有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り (表4.5.5) 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地の処理 ・目荒らし工法(改修標準仕様書4.4.9(3)による) シーリングの種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系 シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>3 浮き部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.4)(4.5.9~15)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数(本/m²)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数(箇所/m²)</th> <th rowspan="2">注入量(mL/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※16</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>※注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法</td> <td>※16</td> <td>※16</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> </table> <p>狭幅部のアンカーピン及び注入口は幅中央に各々5本/mとする</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(m ³ /m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・0.3以上~0.5未満	100~200	・70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130	工法の種類	アンカーピンの本数(本/m ²)		注入口の箇所数(箇所/m ²)		注入量(mL/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25	・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50	※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16	-	-	※25	・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	※注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	※16	※16	-	-	※25	4-4 外壁改修(タイル張り仕上げ外壁改修)	<p>1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 (表4.6.2~5)</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地の補修</th> </tr> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td>※ひび割れ部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法(30MPa程度以上)</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td>※浮き部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離工法</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td>※欠損部改修工法</td> </tr> <tr> <td>○水洗い工法(15MPa程度)(デッキブラシ併用)</td> <td>※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外既存仕上げ面</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル (4.6.3、4)</p> <p>2 下地調整塗材 (4.6.3、4) 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (4.1.5)(4.2.2)(4.6.5) ※規制対象外 新規仕上塗材の種類 (表4.2.4~6)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状及び工法等</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">○薄付け仕上塗材</td> <td>・外装薄塗材 S i</td> <td>○砂壁状</td> <td>さざ波状 ・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 S i</td> <td>○ゆず肌状</td> <td>吹付け ・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>○外装薄塗材 E</td> <td>○凹凸状</td> <td>吹付け ・こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・厚付け仕上塗材</td> <td>・可とう形外装薄塗材 E</td> <td>○凹凸状</td> <td>吹付け ・こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材 E</td> <td>○凹凸状</td> <td>ひき起こし ・掻き落し</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 S</td> <td>○凹凸状</td> <td>ひき起こし ・掻き落し</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">○複層仕上塗材</td> <td>・外装厚塗材 C</td> <td>○吹放し</td> <td>凸部処理</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 S i</td> <td>○吹放し</td> <td>凸部処理</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 E</td> <td>○吹放し</td> <td>凸部処理</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">○複層仕上塗材</td> <td>・防水形複層塗材 C E</td> <td>○吹放し</td> <td>凸部処理</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 S i</td> <td>○吹放し</td> <td>凸部処理</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 E</td> <td>○吹放し</td> <td>凸部処理</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・可とう形改修用仕上塗材</td> <td>・可とう形改修塗材 C E</td> <td>○吹放し</td> <td>凸部処理</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材 S i</td> <td>○吹放し</td> <td>凸部処理</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材 E</td> <td>○吹放し</td> <td>凸部処理</td> </tr> </table> <p>耐水性 ※耐水性3種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック</p> <p>4 マスチック塗材 (4.1.5)(4.7.2)(表4.7.1) 種類 ・A種 ・B種</p>	工法	処理範囲	下地の補修	・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	※ひび割れ部改修工法	・高圧水洗工法(30MPa程度以上)	※既存仕上げ面全体 ・図示	※浮き部改修工法	・塗膜はく離工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	※欠損部改修工法	○水洗い工法(15MPa程度)(デッキブラシ併用)	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外既存仕上げ面	・図示	種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等	○薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i	○砂壁状	さざ波状 ・平たん状	・可とう形外装薄塗材 S i	○ゆず肌状	吹付け ・ローラー塗り	○外装薄塗材 E	○凹凸状	吹付け ・こて塗り	・厚付け仕上塗材	・可とう形外装薄塗材 E	○凹凸状	吹付け ・こて塗り	・防水形外装薄塗材 E	○凹凸状	ひき起こし ・掻き落し	・外装薄塗材 S	○凹凸状	ひき起こし ・掻き落し	○複層仕上塗材	・外装厚塗材 C	○吹放し	凸部処理	・外装厚塗材 S i	○吹放し	凸部処理	・外装厚塗材 E	○吹放し	凸部処理	○複層仕上塗材	・防水形複層塗材 C E	○吹放し	凸部処理	・防水形複層塗材 S i	○吹放し	凸部処理	・防水形複層塗材 E	○吹放し	凸部処理	・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材 C E	○吹放し	凸部処理	・可とう形改修塗材 S i	○吹放し	凸部処理	・可とう形改修塗材 E	○吹放し	凸部処理	⑨ 鋼製軽量建具 (5.2.2)(5.5.2~6)(表5.5.1、2) <p>性能値 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号: ※建具表による)</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級() 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級() 耐震ドア 面内変形追随性の等級()</p> <p>鋼板の厚さ ※改修標準仕様書 表5.4.2による mm ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の</p>
工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(m ³ /m)																																																																																																																																																																																							
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120																																																																																																																																																																																							
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40																																																																																																																																																																																							
・0.3以上~0.5未満	100~200	・70																																																																																																																																																																																								
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下	150~250	・130																																																																																																																																																																																							
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(m ³ /m)																																																																																																																																																																																							
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120																																																																																																																																																																																							
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40																																																																																																																																																																																							
・0.3以上~0.5未満	100~200	・70																																																																																																																																																																																								
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130																																																																																																																																																																																							
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(m ³ /m)																																																																																																																																																																																							
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120																																																																																																																																																																																							
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40																																																																																																																																																																																							
・0.3以上~0.5未満	100~200	・70																																																																																																																																																																																								
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130																																																																																																																																																																																							
工法の種類	アンカーピンの本数(本/m ²)		注入口の箇所数(箇所/m ²)		注入量(mL/箇所)																																																																																																																																																																																					
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																						
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25																																																																																																																																																																																					
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																																																																																					
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																																																																																																					
※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16	-	-	※25																																																																																																																																																																																					
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																																																																																					
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																																																					
※注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	※16	※16	-	-	※25																																																																																																																																																																																					
工法	処理範囲	下地の補修																																																																																																																																																																																								
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	※ひび割れ部改修工法																																																																																																																																																																																								
・高圧水洗工法(30MPa程度以上)	※既存仕上げ面全体 ・図示	※浮き部改修工法																																																																																																																																																																																								
・塗膜はく離工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	※欠損部改修工法																																																																																																																																																																																								
○水洗い工法(15MPa程度)(デッキブラシ併用)	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外既存仕上げ面	・図示																																																																																																																																																																																								
種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																																																																																																																							
○薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i	○砂壁状	さざ波状 ・平たん状																																																																																																																																																																																							
	・可とう形外装薄塗材 S i	○ゆず肌状	吹付け ・ローラー塗り																																																																																																																																																																																							
	○外装薄塗材 E	○凹凸状	吹付け ・こて塗り																																																																																																																																																																																							
・厚付け仕上塗材	・可とう形外装薄塗材 E	○凹凸状	吹付け ・こて塗り																																																																																																																																																																																							
	・防水形外装薄塗材 E	○凹凸状	ひき起こし ・掻き落し																																																																																																																																																																																							
	・外装薄塗材 S	○凹凸状	ひき起こし ・掻き落し																																																																																																																																																																																							
○複層仕上塗材	・外装厚塗材 C	○吹放し	凸部処理																																																																																																																																																																																							
	・外装厚塗材 S i	○吹放し	凸部処理																																																																																																																																																																																							
	・外装厚塗材 E	○吹放し	凸部処理																																																																																																																																																																																							
○複層仕上塗材	・防水形複層塗材 C E	○吹放し	凸部処理																																																																																																																																																																																							
	・防水形複層塗材 S i	○吹放し	凸部処理																																																																																																																																																																																							
	・防水形複層塗材 E	○吹放し	凸部処理																																																																																																																																																																																							
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材 C E	○吹放し	凸部処理																																																																																																																																																																																							
	・可とう形改修塗材 S i	○吹放し	凸部処理																																																																																																																																																																																							
	・可とう形改修塗材 E	○吹放し	凸部処理																																																																																																																																																																																							

⑤ 10	ステンレス製 建具	性能値級 (5.2.2)(5.6.2~5)(表5.6.1) 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号: ※建具表による) ・適用しない () 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 (建具符号: ※建具表による) ・S-5 (建具符号: ※建具表による) ・S-6 (建具符号: ※建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () 耐震ドア 内面変形追随性の等級 () ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・鋼板 (厚内) ※SUS430、SUS430J1L、SUS443J1、SUS304 ・ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ
⑪	木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※B種 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
⑫	建具用金物	金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書 表5.7.1により適用は建具表による 金属製建具用丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書 表5.7.2による ・建具表による 樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書 表5.7.3による ・建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ※建具表による
⑬	鍵	マスターキー ・製作する ※製作しない ○既存のマスターキーに合わせる その他の鍵の製作本数 ※各室3本1組 ○3本 (PS同一キー) 鍵箱 ○無 ・有 鋼製 ・10 ・20 ・30 ・60 ・120 ・200本用
14	自動ドア開閉装置	引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書 表5.8.5による 種類 () 多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書 表5.8.6による 引き戸用検出装置 性能値 ※標準仕様書 表5.8.3による 戸の開閉方式 ※建具表による 引き戸用検出装置の種類 ※標準仕様書 表5.8.4による 種類 () ・建具表による 凍結防止措置 ・適用する ・適用しない
⑮	自閉式上吊り引戸装置	性能値等 ※標準仕様書 表5.9.1による (試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 (一般社団法人 公共建築協会) における「評価の内容」による
16	重量シャッター	シャッターの種類 ・管理用シャッター耐風圧強度 () N/m2 ・外壁用防火シャッター耐風圧強度 () N/m2 ○屋外用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉方式の種類 ※上部電動式 (手動併用) ・上部手動式 二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※図示 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※図示 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 ※設ける (設置箇所 ※図示) 「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」(昭和48年12月28日建設省告示第2563号) に定める基準に適合するもの ※障害物感知装置 (自動閉鎖型) 管理用シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12
17	軽量シャッター	開閉方式の種類 ※手動式 ・上部電動式 (手動併用) 耐風圧強度 () N/m2 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 スラットの材質の種類 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 (※AZ90) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバラッピング形

⑥ 18	オーバーヘッドドア	性能値級 (5.12.2~5)(表5.12.1、2) セクション材料による区分 耐風圧性能区分 (Pa) 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材料 ※消音部付き標準形
⑯	ガラス	障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所 ※図示 フロート板ガラス 品目及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による 型板ガラス 厚さによる種類 ※建具表による 網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による 合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅱ類 ・Ⅲ類 強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ類 熱線吸収板ガラス 板ガラスの種類、厚さによる種類 ※建具表による 性能による種類 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※建具表による 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・G ・S 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン 熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による 日射熱遮へい性による区分 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅲ種 耐久性による区分 (日射熱遮蔽性による区分が2種の場合) ・A類 ・B類 映像調整 ・行わない ・行う 倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による ガラスの留め材及び溝の大きさ
20	ガラスブロック	建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ○シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ステンレス製 ・シーリング材
⑰	ガラス用フィルム	表面形状 呼び寸法 厚さ 色調 目地幅(mm) 伸縮調整 防火性能 目地位置(mm) 平積み 曲面積み 目地位置(mm) ・正方形 ・125×125 ・80 ※8~15 外側 ※6m以下ごと ※無し ・160×160 ・95 ・125 ・15~25 ※15以下 ・有り ・200×200 ・95 ・125 内側 ※6以上 ・320×320 95 ・長方形 ・250×125 80 ・320×160 95
⑱	改修範囲	種 記号 性能等 ・日射調整フィルム ※SC-1 ・SC-2 日射遮蔽性能による区分 ・A ・B ・C ・D ・E ・低放射フィルム ※LE 熱貫流率による区分 ・A ・B ・C ・D ・衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム ※GI-1 ・GI-2 ・層間変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム ※GD-1 ・GD-2 品質 JIS A 5759による。
⑲	改修範囲	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示

⑩ 2	既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※土上材のみ (接着剤とも) ・下地モルタルとも (※図示の範囲 ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるボリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※図示
⑩ 3	既存壁の撤去及び下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示)
4	木下地等の表面仕上げ	表面仕上げの種類 適用箇所 機械加工 ・A種 ・B種 ・C種 手加工 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種
5	製材	・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 等級 形状 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※2級 ※A種・B種 ※2級 ※A種・B種
5	製材	・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 等級 形状 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※1等 ※10%以下 ・A種・B種 ※1等 ※10%以下 ・A種・B種
5	製材	・「製材の日本農林規格」以外の製材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 含水率 間伐材等の適用 () 造作材の場合 (※A種・B種) ・適用する ※A種・B種 () 造作材の場合 (※A種・B種) ・適用しない
6	造作用集材	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (6.5.2)(表6.5.3、4) ・「集材の日本農林規格」による造作用集材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 見付け材面数 見付け材面の品質 間伐材等の適用 ※1等・2等 ※1等・2等
6	造作用集材	・「集材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面数 見付け材面の品質 間伐材等の適用 ※1等・2等 ※1等・2等
6	造作用集材	・「集材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※15%以下 ※15%以下 ※1等・2等
6	造作用集材	・「集材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※15%以下 ※15%以下 ※1等・2等
6	造作用集材	・「集材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※15%以下 ※15%以下

⑪ 7	造作用単板積層材	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (6.5.2)(表6.5.3、4) ・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 施工箇所 厚さ (mm) 表面の品質 防虫処理 間伐材等の適用 ・有り(・天然木加工 ・塗装加工) ・適用する ・無し() ・適用しない ・有り(・天然木加工 ・塗装加工) ・適用する ・無し() ・適用しない
8	床張り用合板合板等	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (6.5.2)(表6.5.3) ・普通合板 施工箇所 厚さ (mm) 表板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 間伐材等の適用 ※5.5 ※1類 ・広葉樹 ・2類 ※2等以上 ・1等 ・針葉樹 ※C-D以上
8	床張り用合板合板等	・構造用合板 施工箇所 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 厚さ (mm) 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用 ※2級以上 ・1類 ・特類 ※C以上 ※12 ・適用する ・適用しない () ・適用しない
8	床張り用合板合板等	・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 間伐材等の適用 ・1類 ・特類
8	床張り用合板合板等	・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 施工箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ (mm) 接着の程度 防虫処理の適用 ・1類 ・2類 ・適用する ()
8	床張り用合板合板等	・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 表面性能 化粧加工の方法 防虫処理の適用 間伐材等の適用 ()
8	床張り用合板合板等	・パーティクルボード 施工箇所 表面面状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ (mm) ※15
8	床張り用合板合板等	・構造用パネル 施工箇所 等級 厚さ (mm) ・1級 ・2級 ・3級 ・4級
8	床張り用合板合板等	・MDF 施工箇所 厚さ (mm) 表面面状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分
⑫ 9	接着剤	(6.5.3、4)(6.8.2)(6.9.3)(6.11.4、5) 接着剤は可塑剤 (難揮発性の可塑剤を除く) が添付されていないものとする。ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着材の種類 ・図示
10	防蟻・防蟻処理	・防蟻、防蟻処理を省略できる樹種による製材 (6.5.5) 適用部位 ()
教育委員会事務局 教育総務課		
工事名 可児市立旭小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)		
種別 改修特記仕様書 4 図面番号 A04		
縮尺 ー 作成年月日 2024.10		
設計者 株式会社 デザインボックス		
氏名 一級建築士 大臣登録 第319430号 野村智美		

⑧ ユニット及びその他工事	1 フリーアクセスフロア [20.2.2]	<p>特記事項</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>寸法(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>表面仕上材</th> </tr> <tr> <td>・置敷式 ・支柱調整式</td> <td>・500×500</td> <td>・</td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3000N ・5000N</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルカーペット</td> </tr> </table> <p>寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2)(f)(a)~(c)による</p> <p>パネルの長さ ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内 500mm以下の場合 ±0.5mm以内</p> <p>パネルの平面形状(角度) ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内 500mm以下の場合 ±0.5mm以内</p> <p>フリーアクセスフロアの高さ ※±0.5mm以内</p> <p>(品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500	・	・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット		
	施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材										
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500	・	・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット											
	2 可動間仕切 [20.2.3]	<table border="1"> <tr> <th>構造形式による種類</th> <th>構成基材の種類</th> <th>パネル表面仕上げ</th> <th>遮音性(α/500Hz)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式</td> <td>・スタッド ・パネル</td> <td>・メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り</td> <td>・0 ・12 ・20 ・28 ・36</td> <td>・不燃</td> </tr> </table> <p>パネル内に取付ける建具・あり(※図示)・なし ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。</p> <p>表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による パネル材料のホルムアルデヒド放散量 JIS A 6512によるF☆☆☆☆以上</p>	構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性(α/500Hz)	防火性能	・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	・スタッド ・パネル	・メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃					
構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性(α/500Hz)	防火性能													
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	・スタッド ・パネル	・メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃													
3 移動間仕切 [20.2.4]	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">走行方向</th> <th rowspan="2">操作方法による種類</th> <th rowspan="2">パネル圧接装置の操作方法</th> <th rowspan="2">総厚さ(mm)</th> <th colspan="2">パネル表面材</th> <th rowspan="2">遮音性(α/500Hz)</th> </tr> <tr> <th>材質</th> <th>仕上げ</th> </tr> <tr> <td>・平行方向 移動式 ・二方向 移動式</td> <td>・手動式 ・電動式 ・部分電動式</td> <td>・プッシュ式 ・ハンドル式</td> <td>・</td> <td>・鋼板 ・</td> <td>・焼付塗装 ・壁紙張り</td> <td>・36未満 ・36以上</td> </tr> </table> <p>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。</p> <p>ランナー ※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値にして、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする。</p> <p>(品質・性能) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材		遮音性(α/500Hz)	材質	仕上げ	・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式	・	・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上
走行方向	操作方法による種類					パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)		パネル表面材		遮音性(α/500Hz)						
		材質	仕上げ														
・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式	・	・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上											
4 トイレブース [20.2.4]	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">表面材の材料</th> <th colspan="2">脚部</th> <th rowspan="2">ドアエッジ</th> </tr> <tr> <th>形状</th> <th>材質</th> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>・端木タイプ ・アジャスター</td> <td>・標準 ※R</td> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材</td> </tr> </table> <p>パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	表面材の材料	脚部		ドアエッジ	形状	材質	・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	・端木タイプ ・アジャスター	・標準 ※R	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材						
表面材の材料	脚部		ドアエッジ														
	形状	材質															
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	・端木タイプ ・アジャスター	・標準 ※R	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材														
5 階段滑り止め [20.2.6]	<p>材質 ・ステンレス製 ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材</p> <p>滑り止め材 形状 ・ひも型 ・タイヤ型 材質 ・ゴム又は合成樹脂</p> <p>取付け工法 ※接着工法 ・埋め込み工法 幅()mm 端部フラットエンド(・あり ・なし)</p>																
6 手すり [20.2.6]	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール ・木調樹脂成型品</td> <td>・クリアカー 2-UC ・HL ・SOP ・DP</td> <td>・35 ・</td> <td>・</td> </tr> </table>	材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール ・木調樹脂成型品	・クリアカー 2-UC ・HL ・SOP ・DP	・35 ・	・								
材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所														
・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール ・木調樹脂成型品	・クリアカー 2-UC ・HL ・SOP ・DP	・35 ・	・														
7 黒板及びホワイトボード [20.2.8]	<p>・黒板 区分 ※焼き付け 種類 ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板 色 ※緑 ・ホワイトボード</p>																

⑧ ユニット及びその他工事	8 表示 [20.2.10]	<p>・衝突防止表示 形状・寸法(・ 30φ) 材質(・ ステンレス製)</p> <p>案内用記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用進入口等の表示 ・適用する(※消防法に適合する市販品) ・適用しない 色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※図示 その他の表示 ※図示</p>																					
	9 煙突ライニング [20.2.11]	<p>煙突用成形ライニング材 種類 ・ゾノトライト系けい酸カルシウムライニング材 適用安全使用温度(上限温度) ・400℃ ・650℃ 適用安全使用温度(下限温度) ・ (適用安全使用温度(上限温度)が400℃又は650℃の場合) 品質・性能及び試験方法 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による (適用安全使用温度(上限温度)が400℃又は650℃以外の場合) 品質・性能等</p>																					
	10 ブラインド [20.2.12]	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅(mm)</th> <th>スラットレールの材質</th> <th>幅・高さ</th> </tr> <tr> <td>・横形</td> <td>・手動</td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・縦形</td> <td>・手動 ・電動</td> <td>※2本操作コード式 ・1本操作コード式</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>アルミニウム合金製</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>スラットの材質 ・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ ・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は 図 とする。</p> <p>操作方式 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式 幅・高さ ※図示 材質 ・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製 品質等 その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による</p>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	スラットレールの材質	幅・高さ	・横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製	・図示	・縦形	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	・図示
	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	スラットレールの材質	幅・高さ																
・横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製	・図示																	
・縦形	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	・図示																	
11 ロールスクリーン [20.2.13]	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>きれ地の種類、品質、特殊加工等</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・シングル ・ダブル</td> <td>・手引き ・ひも引き ・電動</td> <td>・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ</td> <td></td> <td>・図示</td> <td>(暗幕)</td> </tr> </table> <p>ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は 図 とする。 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上</p>	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考	・シングル ・ダブル	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示	(暗幕)										
形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考																		
・シングル ・ダブル	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示	(暗幕)																		
12 カーテン [20.2.14]	<p>材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押し出し成型材</p> <p>強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形</p>																						
13 カーテンレール [20.2.14]	<p>材質 ・集成材(仕上げ: ・アルミニウム製 押し出し型材(市販品) 表面処理 種別(標準仕様書表14.2.1) ・BC-1種 色合い ・鋼製(仕上げ:)</p>																						
14 ブラインドボックス及びカーテンボックス [20.2.14]	<p>溝型×深さ(mm) ・150×80 ・120×80 ・120×150 ・180×150 ・図示</p> <p>材質 ・集成材(仕上げ: ・アルミニウム製 押し出し型材(市販品) 表面処理 種別(標準仕様書表14.2.1) ・BC-1種 色合い ・鋼製(仕上げ:)</p>																						
15 天井点検口 [20.2.14]	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>・450×450 ・600×600</td> <td>・一般形 ・気密形</td> <td>・屋内外用 ・屋内用 ・目地タイプ ・目地タイプ</td> <td>・縁縁タイプ ・縁縁タイプ</td> </tr> </table> <p>(品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	材種	寸法	形式	外枠	内枠	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・気密形	・屋内外用 ・屋内用 ・目地タイプ ・目地タイプ	・縁縁タイプ ・縁縁タイプ												
材種	寸法	形式	外枠	内枠																			
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・気密形	・屋内外用 ・屋内用 ・目地タイプ ・目地タイプ	・縁縁タイプ ・縁縁タイプ																			
16 床点検口(ハッチ) [20.2.14]	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>・450×450 ・600×600</td> <td>・一般形 ・密閉形</td> <td>・屋内外用 ・屋内用 ・鍵付き</td> </tr> </table> <p>密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	材種	寸法	形式	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用 ・鍵付き														
材種	寸法	形式	備考																				
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用 ・鍵付き																				

⑧ ユニット及びその他工事	17 止水板 [20.2.10]	<p>形状 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式 施工箇所 ※図示</p>											
	18 エキスパンションジョイント金物 [20.2.11]	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>クリアランス(mm)</th> <th>耐火性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製</td> <td>・50 ・100 ・150</td> <td>・有り ・無し</td> <td></td> </tr> </table> <p>外部は防水型とする</p>	材種	クリアランス(mm)	耐火性能	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・100 ・150	・有り ・無し				
	材種	クリアランス(mm)	耐火性能	備考									
	・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・100 ・150	・有り ・無し										
19 くつふきマット [20.2.11]	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>受け枠</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ステンレス鋼(SUS304)製</td> <td>・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金</td> <td></td> </tr> </table>	材種	受け枠	備考	・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ステンレス鋼(SUS304)製	・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金							
材種	受け枠	備考											
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ステンレス鋼(SUS304)製	・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金												
20 流し台ユニット [20.2.11]	<p>品質・性能 (1) 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.11による。 (2) 構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。 形状 ※図示</p>												
21 旗竿 [20.2.11]	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形式</th> <th>高さ(mm)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>・チーバー式 ・同一断面式</td> <td></td> <td>・ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </table>	材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製	・チーバー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式	
材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考								
・アルミニウム合金製	・チーバー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式									
22 旗竿受金物 [20.2.11]	<p>材種 ・ステンレス製(SUS304)</p>												
23 車止めさく [20.2.11]	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材種</th> <th>柱径、肉厚(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・上下式鎖内蔵式 ・標準品 ・スプリング式</td> <td>・ステンレス製</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)	・上下式鎖内蔵式 ・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製						
形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)										
・上下式鎖内蔵式 ・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製												
24 プレキャストコンクリート [20.3.3、4]	<p>コンクリートの設計基準強度 ・図示 配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 ・図示 取付け方法 ※図示</p>												
25 間知石及びコンクリート間知ブロック積み [20.4.2、3]	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・間知石</td> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート間知ブロック</td> <td></td> <td>・A ・B</td> <td></td> </tr> </table> <p>積み方 ※谷積み ・布積み 目塗り ・図示 ・伸縮目地 伸縮調整目地 材質 ※図示 厚さ ※図示</p>	材種	種類	質量区分	備考	・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩			・コンクリート間知ブロック		・A ・B	
材種	種類	質量区分	備考										
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩												
・コンクリート間知ブロック		・A ・B											
1 屋外雨水排水 [20.2.1、2][表21.2.1、2]	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> </tr> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>外圧管(1種)</td> <td>・B形管</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td></td> <td>・VP ・VU ・RS-VU</td> <td>・図示 ・図示 ・図示</td> </tr> </table> <p>基礎の厚さ及び種類 ※図示 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 側溝の形状及び寸法 ※図示 排水溝の種類 ※図示 砂地裏に用いる材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 砂利地裏に用いる材料 ・再生クラッシュラン [G] ・切込砂利又は切込砕石 現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※18N/mm2 ・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295A ・現場打ちの場合の足掛け金物 ※標準仕様書21.2.2(6)(イ) 材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・合成樹脂被覆加工されたもの 凍上抑制層に用いる材料 砂の粒度試験 ・行う ・行わない</p>	材種	種類・記号	形状	呼び径	・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管(1種)	・B形管	・図示	・硬質ポリ塩化ビニル管		・VP ・VU ・RS-VU	・図示 ・図示 ・図示
材種	種類・記号	形状	呼び径										
・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管(1種)	・B形管	・図示										
・硬質ポリ塩化ビニル管		・VP ・VU ・RS-VU	・図示 ・図示 ・図示										
2 鉄釘ふた [21.2.1]	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>鉄釘製 マンホール ふた</td> <td>・水針形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉形 (チーバ・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (チーバ・パッキン式)</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-20用</td> <td>・有り ・無し 左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S2091による</td> </tr> </table>	名称	種類	適用荷重	備考	鉄釘製 マンホール ふた	・水針形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉形 (チーバ・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (チーバ・パッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し 左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S2091による				
名称	種類	適用荷重	備考										
鉄釘製 マンホール ふた	・水針形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉形 (チーバ・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (チーバ・パッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し 左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S2091による										

⑧ 排水工事	3 グレーチング [21.2.1]	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインバーピッチ</th> <th>垂鉛めっき(付着量)</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>・鋼製 ・ステンレス製</td> <td>・受枠付き、ボルト固定 ・受枠付き、ボルト固定</td> <td>・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>・細目 ・普通目 ・細目</td> <td>・</td> <td>・凹凸形 ・平形 ・凹凸形 ・平形</td> </tr> </table> <p>(品質・性能及び荷重試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	垂鉛めっき(付着量)	上面形状	・鋼製 ・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定 ・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・普通目 ・細目	・	・凹凸形 ・平形 ・凹凸形 ・平形
	材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	垂鉛めっき(付着量)	上面形状									
	・鋼製 ・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定 ・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・普通目 ・細目	・	・凹凸形 ・平形 ・凹凸形 ・平形									
	4 街きよ、緑石、及び側溝 [21.3.1、2][表21.3.1]	<p>街きよ、緑石、側溝</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状、寸法</th> </tr> <tr> <td>・緑石</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・L形側溝</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・U形側溝</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・U形側溝ふた</td> <td>※図示</td> </tr> </table> <p>砂利地裏に用いる材料 ○再生クラッシュラン [G] ・切込砂利又は切込砕石 砂利地裏の厚さ ※100(mm) ※図示 ・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※18N/mm2 凍上抑制層に用いる材料 砂の粒度試験 ・行う ○行わない</p> <p>※B種</p>	種類	形状、寸法	・緑石	※図示	・L形側溝	※図示	・U形側溝	※図示	・U形側溝ふた	※図示				
種類	形状、寸法															
・緑石	※図示															
・L形側溝	※図示															
・U形側溝	※図示															
・U形側溝ふた	※図示															
5 埋戻し土 [21.2.1]	<p>※B種</p>															
1 路床 [22.2.2、3、5][表22.2.1]	<p>路床の材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・切込み砂利 ・砂</td> <td>※図示</td> </tr> </table> <p>・路床安定処理 安定処理の方法 ・置換え工法 ・安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰() ・消石灰() 添加量 kg/m3 (目標CBR ・3以上) ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m²以上 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強度 ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1.5×10⁻⁶cm/sec以上</p> <p>試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない 路床締固度の試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない</p>	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	※図示	・凍上抑制層	・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン	※図示	・フィルター層	・切込み砂利 ・砂	※図示			
種別	材料	厚さ(mm)														
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	※図示														
・凍上抑制層	・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン	※図示														
・フィルター層	・切込み砂利 ・砂	※図示														
2 路盤 [22.2.2、3、5][表22.3.1]	<p>路盤の厚さ ※図示</p> <p>路盤材料</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">種類</th> </tr> <tr> <td>・クラッシュラン</td> <td>・粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td>再生材</td> <td>○クラッシュラン [G]</td> <td>・粒度調整砕石 [G]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]</td> <td>・粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td> <td></td> </tr> </table> <p>(22.4.2~6)[表22.4.4]</p> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 材料及び種類 アスファルト ○再生アスファルト [G] (・60~80 ・80~100) ・ストリートアスファルト 骨材 ○道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 [G]</p> <p>加熱アスファルト混合物の種類 ○密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・密粒度アスファルト混合物(13F) シーラントの乳剤の種類 ○PK-1 ・PK-2 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ○行わない 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	種類	種類		・クラッシュラン	・粒度調整砕石	再生材	○クラッシュラン [G]	・粒度調整砕石 [G]		・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]	・粒度調整鉄鋼スラグ [G]		・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]		
種類	種類															
	・クラッシュラン	・粒度調整砕石														
再生材	○クラッシュラン [G]	・粒度調整砕石 [G]														
	・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]	・粒度調整鉄鋼スラグ [G]														
	・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]															

教育委員会事務局 教育総務課			
工事名	可児市立旭小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)		
種別	改修特記仕様書6	図面番号	A06
縮尺	—	作成年月日	2024.10
設計者	株式会社 デザインボックス		
氏名	一級建築士 大井登録 第319430号 野村智美		

章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項																																																																																																																																					
1.2 環境配慮改修工事 1 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1、3~5)	<p>施工調査 ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する 調査範囲 (○) 内部改修範囲 (●) 図示 () 貸与資料 (あり)</p> <p>・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクテノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソチール、クロソドライト、トレモライト</p> <p>分析方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材 料 名</th> <th colspan="2">定性分析方法</th> <th colspan="2">定量分析方法</th> </tr> <tr> <th>JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2</th> <th>JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4</th> <th>JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2</th> <th>JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・箇所数()</td> <td>・箇所数()</td> <td>・箇所数()</td> <td>・箇所数()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・箇所数()</td> <td>・箇所数()</td> <td>・箇所数()</td> <td>・箇所数()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・箇所数()</td> <td>・箇所数()</td> <td>・箇所数()</td> <td>・箇所数()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・箇所数()</td> <td>・箇所数()</td> <td>・箇所数()</td> <td>・箇所数()</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 図示</p> <p>・石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数 (各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定2</td> <td></td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定4</td> <td></td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定5</td> <td></td> <td>集じん・排気装置の出口吹出し風速排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>1 m/s以下の位置 計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定6</td> <td></td> <td>処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定7</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定8</td> <td>処理作業後 (シート撤去後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定9</td> <td>1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法 ・自動測定器による測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th colspan="3">測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定4</td> <td colspan="3">粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーテイクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> <tr> <td colspan="4">・JIS K 3850-1に基づいた測定</td> </tr> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ 直径(mm)</th> <th>試料の吸引流量 (L/min)</th> <th>試料の吸引時間 (min)</th> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> </tbody> </table> <p>石綿含有建材の処理 ・石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 図示 除去工法 ※9.1.3 (2) (7)による</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化・固形化</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 図示 除去工法 ・破砕して除去 ・手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※湿潤化・固形化</p> <p>除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>○石綿含有成型板の除去 除去対象範囲 ○図示 除去した石綿含有成型板の処分 ○石綿含有せっこうボード ※埋立処分(管理型最終処分場) ○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成型板 ○埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ○図示</p>	材 料 名	定性分析方法		定量分析方法		JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4	JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4		・箇所数()	・箇所数()	・箇所数()	・箇所数()		・箇所数()	・箇所数()	・箇所数()	・箇所数()		・箇所数()	・箇所数()	・箇所数()	・箇所数()		・箇所数()	・箇所数()	・箇所数()	・箇所数()	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)		測定1	処理作業前	処理作業室内	計 点		測定2		調査対象室外部の付近	計 点		測定3	処理作業中	処理作業室内	計 点		測定4		セキュリティゾーン入口	計 点		測定5		集じん・排気装置の出口吹出し風速排出口 (処理作業室外の場合)	1 m/s以下の位置 計 点		測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界			測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点		測定8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	計 点		測定9	1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点	測定名称	測定方法			測定4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーテイクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定			・JIS K 3850-1に基づいた測定				測定名称	メンブレンフィルタ 直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)	測定4	25	5	30	測定5				・	47	10	120	・	47	10	240	<p>2 断熱アスファルト防水改修工事 (9.2.2~3)</p> <p>3 外断熱改修工事 (9.3.2~4)</p> <p>断熱材 断熱材の種類 断熱材の厚さ(mm) 施工箇所 図示 ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>外装材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による</p> <p>笠木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による</p> <p>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・あり ・なし 下地の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり(mm) ・なし 外装材の外壁への取付け 図示 笠木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム笠木による</p> <p>3 ガラス改修工事 (9.4.2、3)</p> <p>複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ・建具表による 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・G ・S 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン</p> <p>上記以外は、改修特記仕様書5章 建具改修工事による</p> <p>4 断熱・防露改修工事 (9.5.2~4)</p> <p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・A種1 ・A種1H 吹き付け厚さ(mm) ・25 ・30 施工箇所 図示 (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p> <p>5 屋上緑化改修工事 (9.6.2、3)</p> <p>植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない 芝及び地被類の種類等 ※図示 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示 (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・設置する(種類) 既存保護層の撤去 ・行う ・行わない 新植した芝及び地被類の枯損償の期間 ※引き渡しの日から1年</p>	種類	防火性能	備考				<p>1.2 環境配慮改修工事 6 透水性アスファルト舗装改修工事 (9.7.2~5、9)</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 路床 路床の材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土[G]</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシュラン[G] ・クラッシュラン ・切込み砂利</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・砂</td> <td>・図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>路床安定処理 ・適用する ・適用しない 路床安定処理の方法 ・添加材料による安定処理 ・添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰(・特号 ・1号) ・消石灰(・特号 ・1号) 添加量 ・ kg(目標CBR ・3以上) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理土のCBR試験</p> <p>・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m²以上 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 ・1.5×10⁻²cm/sec以上</p> <p>試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない</p> <p>路盤 路盤の厚さ 図示 路盤材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">種 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砕石</td> <td>・クラッシュラン ・粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td>再生材</td> <td>・クラッシュラン[G] ・粒度調整砕石[G] ・クラッシュラン鉄鋼スラグ[G] ・粒度調整鉄鋼スラグ[G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ[G]</td> </tr> </tbody> </table> <p>舗装の構成 図示 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの</p> <p>○塗装替え部 特記なき限り、RB種とする。</p> <p>各改修は特記なくとも以下の下地調整を行うこと。 ○FS貼替部 既設床材撤去後凹み・破損部の下地調整を用いて充填処理し、突起物等はサンダー掛けを行い平たんにする。</p> <p>○塗装替え部 特記なき限り、RB種とする。</p> <p>1.3 各下地調整 その他</p>	種類	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土[G]	・図示	・凍上抑制層	・再生クラッシュラン[G] ・クラッシュラン ・切込み砂利	・図示	・フィルター層	・砂	・図示	種 類		砕石	・クラッシュラン ・粒度調整砕石	再生材	・クラッシュラン[G] ・粒度調整砕石[G] ・クラッシュラン鉄鋼スラグ[G] ・粒度調整鉄鋼スラグ[G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ[G]
材 料 名	定性分析方法		定量分析方法																																																																																																																																							
	JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4	JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4																																																																																																																																						
	・箇所数()	・箇所数()	・箇所数()	・箇所数()																																																																																																																																						
	・箇所数()	・箇所数()	・箇所数()	・箇所数()																																																																																																																																						
	・箇所数()	・箇所数()	・箇所数()	・箇所数()																																																																																																																																						
	・箇所数()	・箇所数()	・箇所数()	・箇所数()																																																																																																																																						
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)																																																																																																																																						
	測定1	処理作業前	処理作業室内	計 点																																																																																																																																						
	測定2		調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																						
	測定3	処理作業中	処理作業室内	計 点																																																																																																																																						
	測定4		セキュリティゾーン入口	計 点																																																																																																																																						
	測定5		集じん・排気装置の出口吹出し風速排出口 (処理作業室外の場合)	1 m/s以下の位置 計 点																																																																																																																																						
	測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界																																																																																																																																							
	測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点																																																																																																																																						
	測定8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	計 点																																																																																																																																						
	測定9	1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																						
測定名称	測定方法																																																																																																																																									
測定4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーテイクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																									
・JIS K 3850-1に基づいた測定																																																																																																																																										
測定名称	メンブレンフィルタ 直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																																																																																							
測定4	25	5	30																																																																																																																																							
測定5																																																																																																																																										
・	47	10	120																																																																																																																																							
・	47	10	240																																																																																																																																							
種類	防火性能	備考																																																																																																																																								
種類	材料	厚さ(mm)																																																																																																																																								
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土[G]	・図示																																																																																																																																								
・凍上抑制層	・再生クラッシュラン[G] ・クラッシュラン ・切込み砂利	・図示																																																																																																																																								
・フィルター層	・砂	・図示																																																																																																																																								
種 類																																																																																																																																										
砕石	・クラッシュラン ・粒度調整砕石																																																																																																																																									
再生材	・クラッシュラン[G] ・粒度調整砕石[G] ・クラッシュラン鉄鋼スラグ[G] ・粒度調整鉄鋼スラグ[G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ[G]																																																																																																																																									

■凡例一覧表

Cコテ	コンクリート金ゴテ
Mコテ	モルタル金ゴテ
FS	複層長尺ビニル床シート(消臭・抗菌) t=2.5は防滑仕様
GB-R	せっこうボード
GB-D	化粧せっこうボード
GB-S	シーリングせっこうボード
FK	けい酸カルシウム板(ベベルエッジ)
化粧FK	化粧けい酸カルシウム板
R	ラワン合板
V	シナベニア
GW	グラスウール
RW	ロックウール
EP	合成樹脂エマルジョンペイント(シリコン系)
VP	ビニル樹脂
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料
SOP	合成樹脂調合ペイント
NWP	内部木材保護塗料

※建具については、建具表参照のこと。

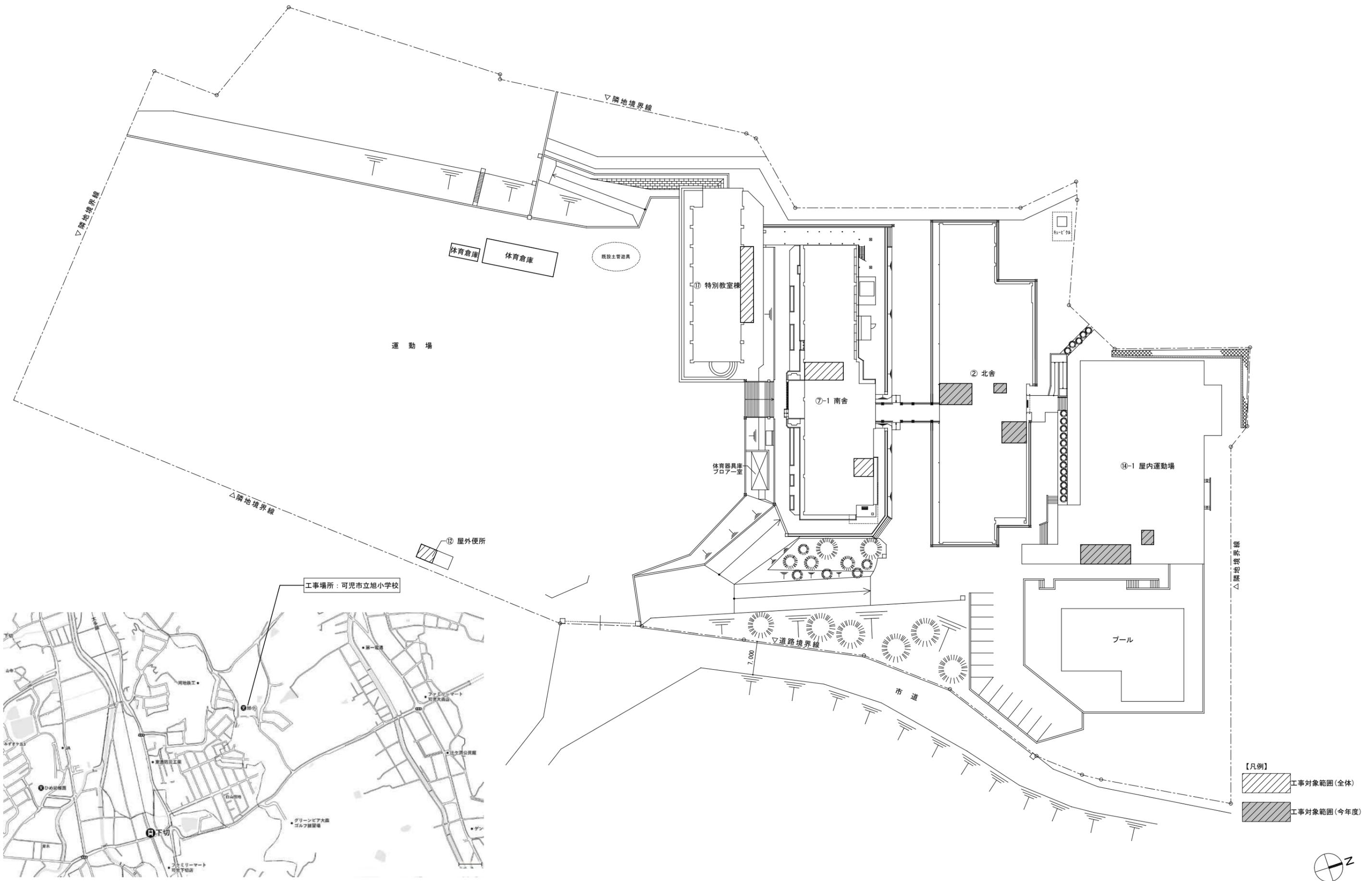
■アスベスト含有建材

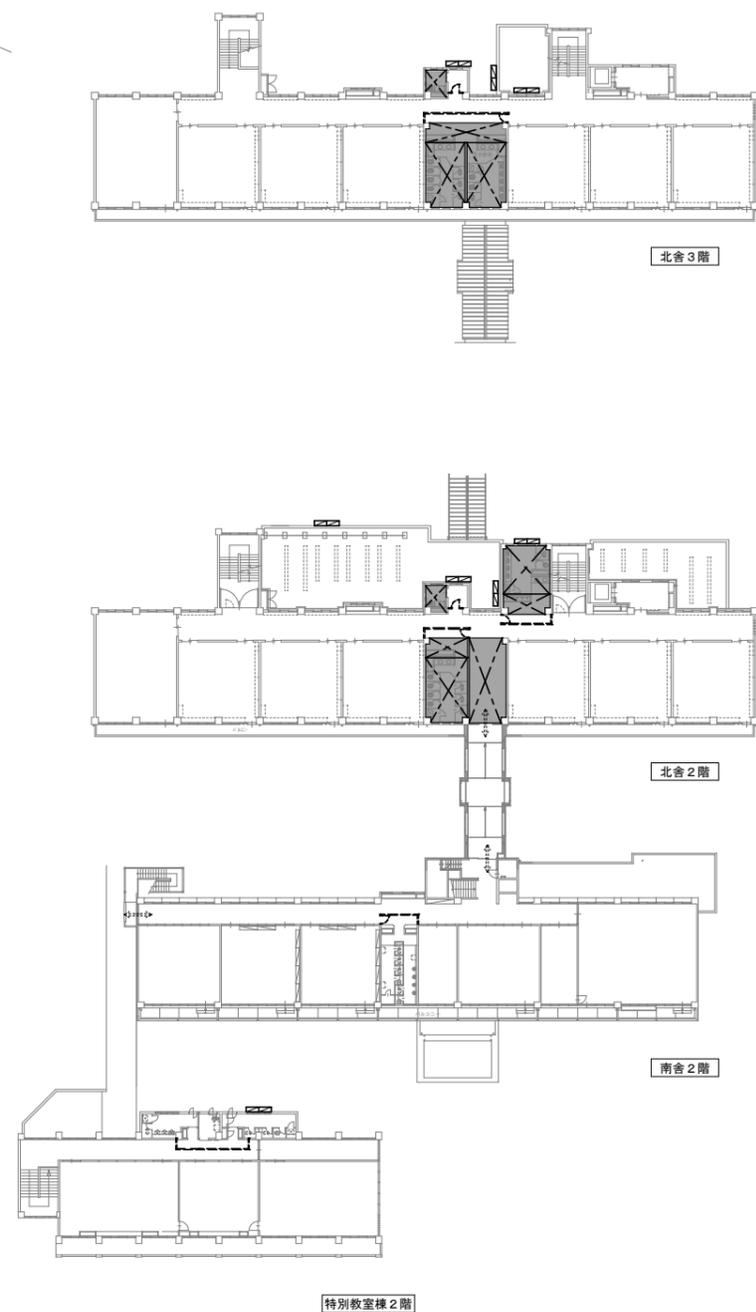
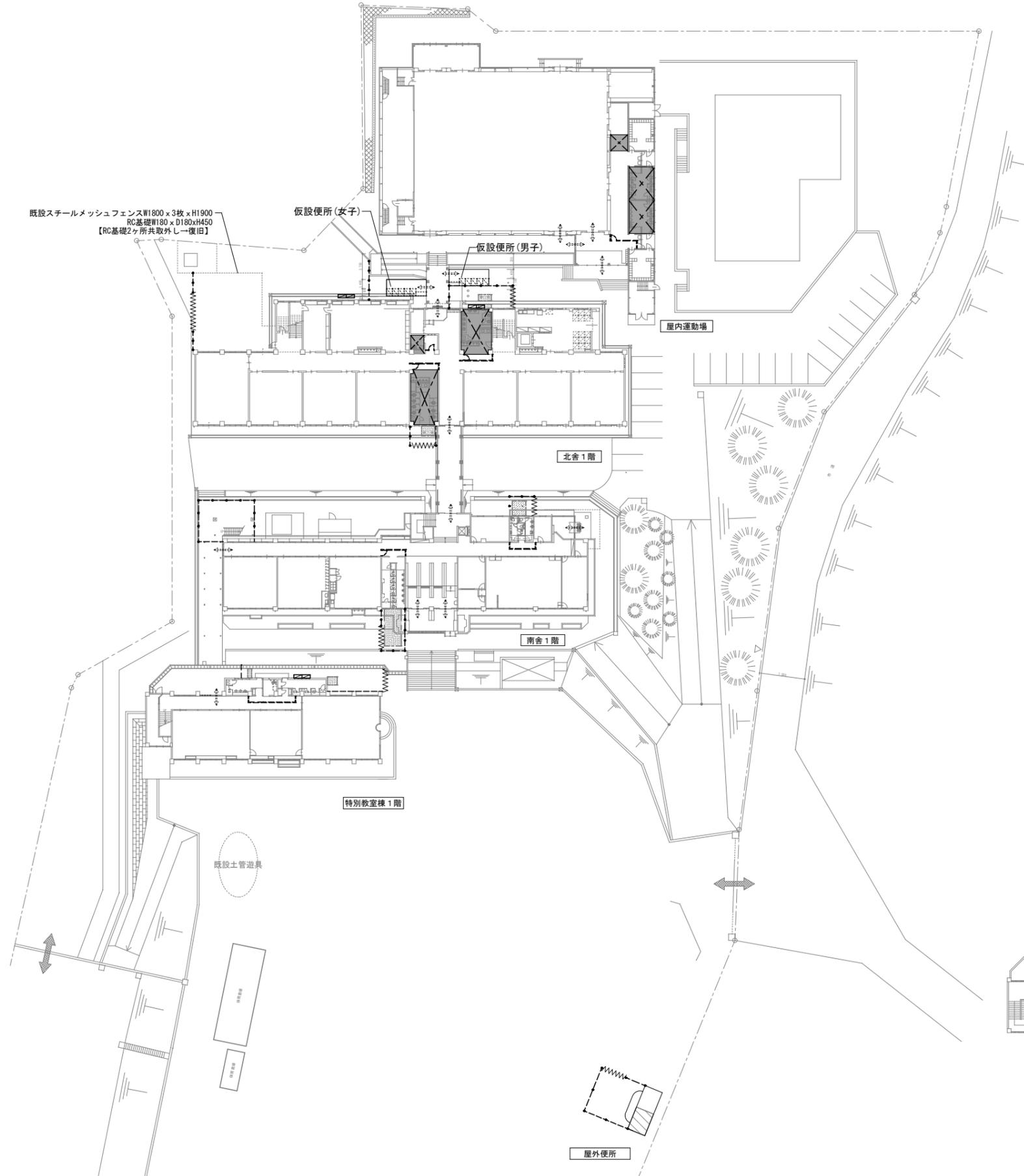
② 北倉	[男子・女子便所、多目的トイレ] 天井：FK
⑦-1 南倉 ※工事対象外	[職員用男子・女子便所] 壁：GB-R 天井：FK
	[男子・女子便所] 天井：FK
⑩ 特別教室棟 ※工事対象外	[男子・女子便所、多目的トイレ] 天井：FK
⑭-1 屋内運動場	[前室] 壁：FK 天井：有孔FK
	[男子・女子便所] 天井：有孔FK
⑫ 屋外便所 ※工事対象外	[男子・女子便所] 天井：FK

■内装工事材料 ※同等品も可とする。

略号	仕様	製作所
汚垂石	ハイドロセラ・フロアPU(薄型) t=7.0	TOTO
MK	アイカセラル(シリコン目地) t=3.0 (壁面端部：アルミジョイナーM形状)	アイカ工業
木製棚板	メラミンフラッシュ t=20 SUS棚受(2ヶ所) ※寸法は平面詳細図参照のこと。	-

教育委員会事務局 教育総務課			
工事名	可児市立旭小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)		
種 別	改修特記仕様書7	図面番号	A07
縮 尺	—	作成年月日	2024.10
設計者	株式会社 デザインボックス		
氏名	一級建築士 大臣登録 第319430号 野村智美		

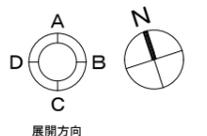


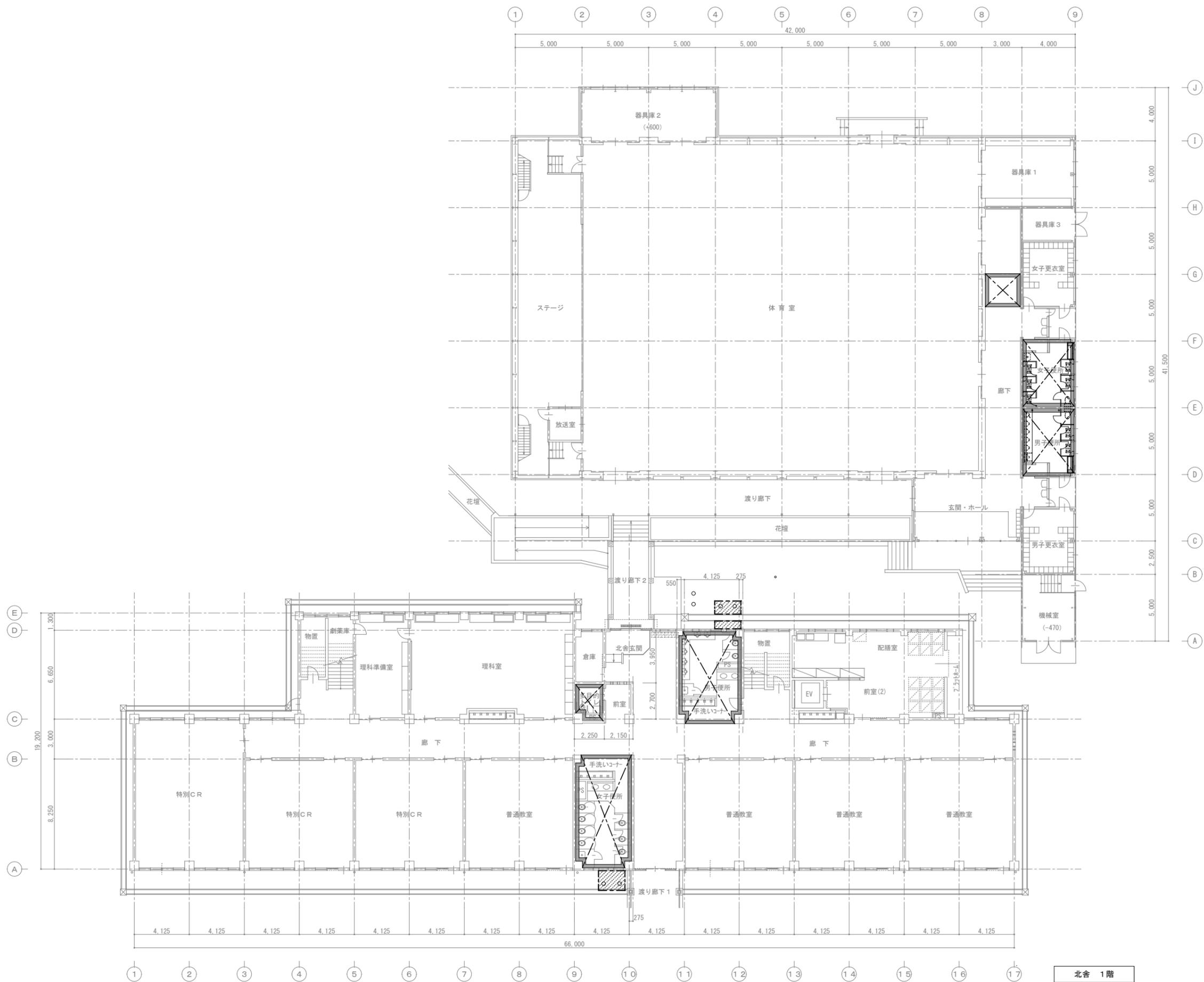


- 仮設便所(共通) (配管接続含む、電気別途工事)
 - ・手洗いシンク×2(全槽敷き1600、蛇口3ヶ所)
 - ・目隠しフェンスH=3600、屋根、床組 (単管パイプ組 ポリカ波板張 程度)
- 仮設便所(男子) (配管接続含む)
 - ・水洗タイプ 洋式×2
 - ・水洗タイプ 小便器×3
- 仮設便所(女子) (配管接続含む)
 - ・水洗タイプ 洋式×5

凡例	
	工事対象範囲
	外部改修範囲 ※平面詳細図参照
	仮囲い：成形鋼板 H=2,000
	ゲート：クロスゲート H=1,800 x W=3,000、6,000
	仮設間仕切：A種
	仮設扉
	くさび緊結式足場
	職員、児童出入口
	工事車両出入口

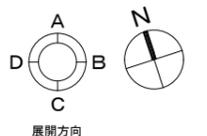
- ・工事車両通行時には交通誘導員を配置すること。
- ・仮設計画は参考とし関係者及び監督員と協議の上、決定すること。
- ・必要に応じて別途工事関係者及び監督員と協議を行うこと。



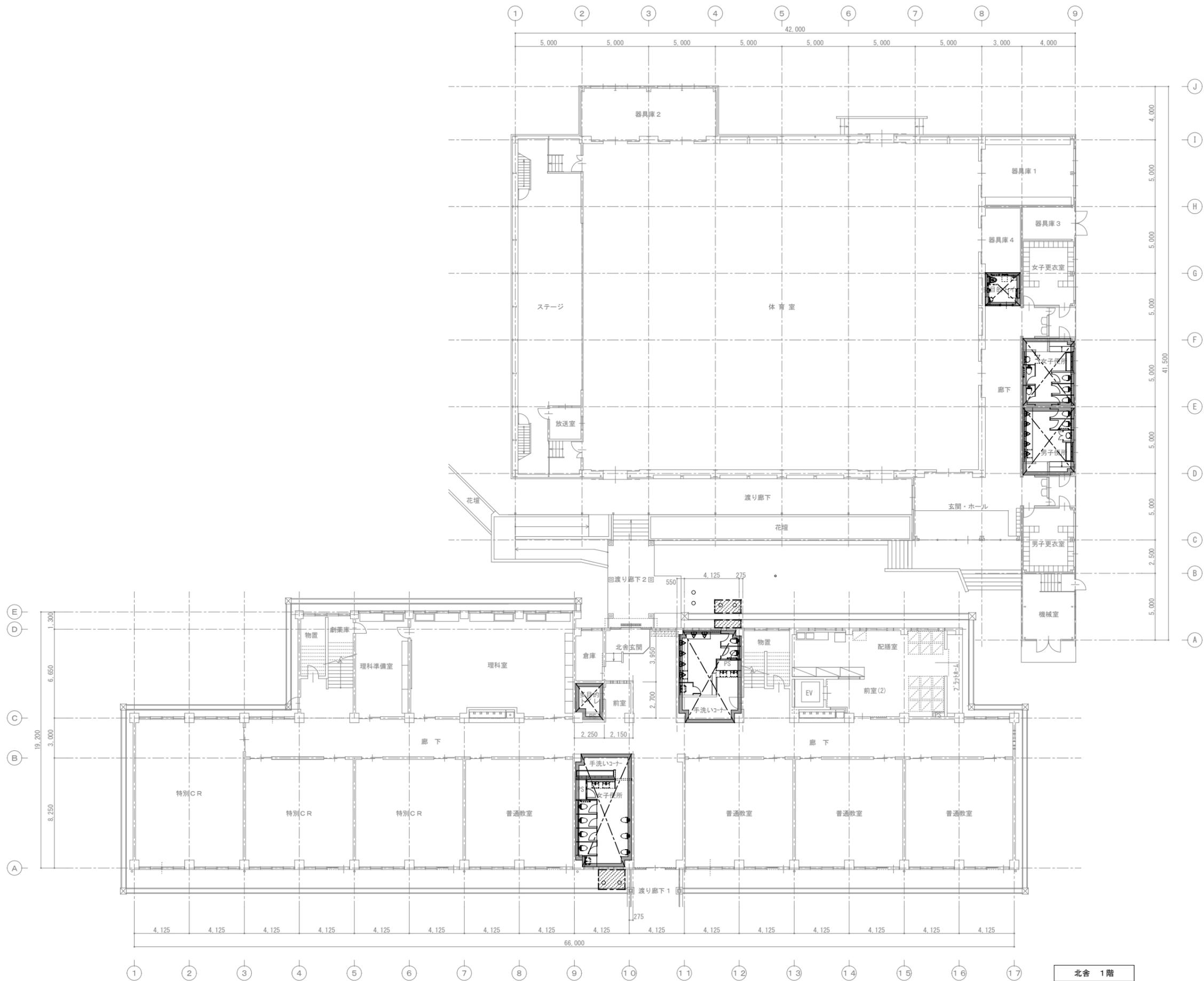


屋内運動場 1階

凡例	
	工事対象範囲
	外部改修範囲 ※平面詳細図参照

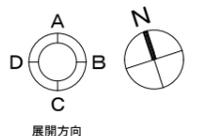


北舎 1階

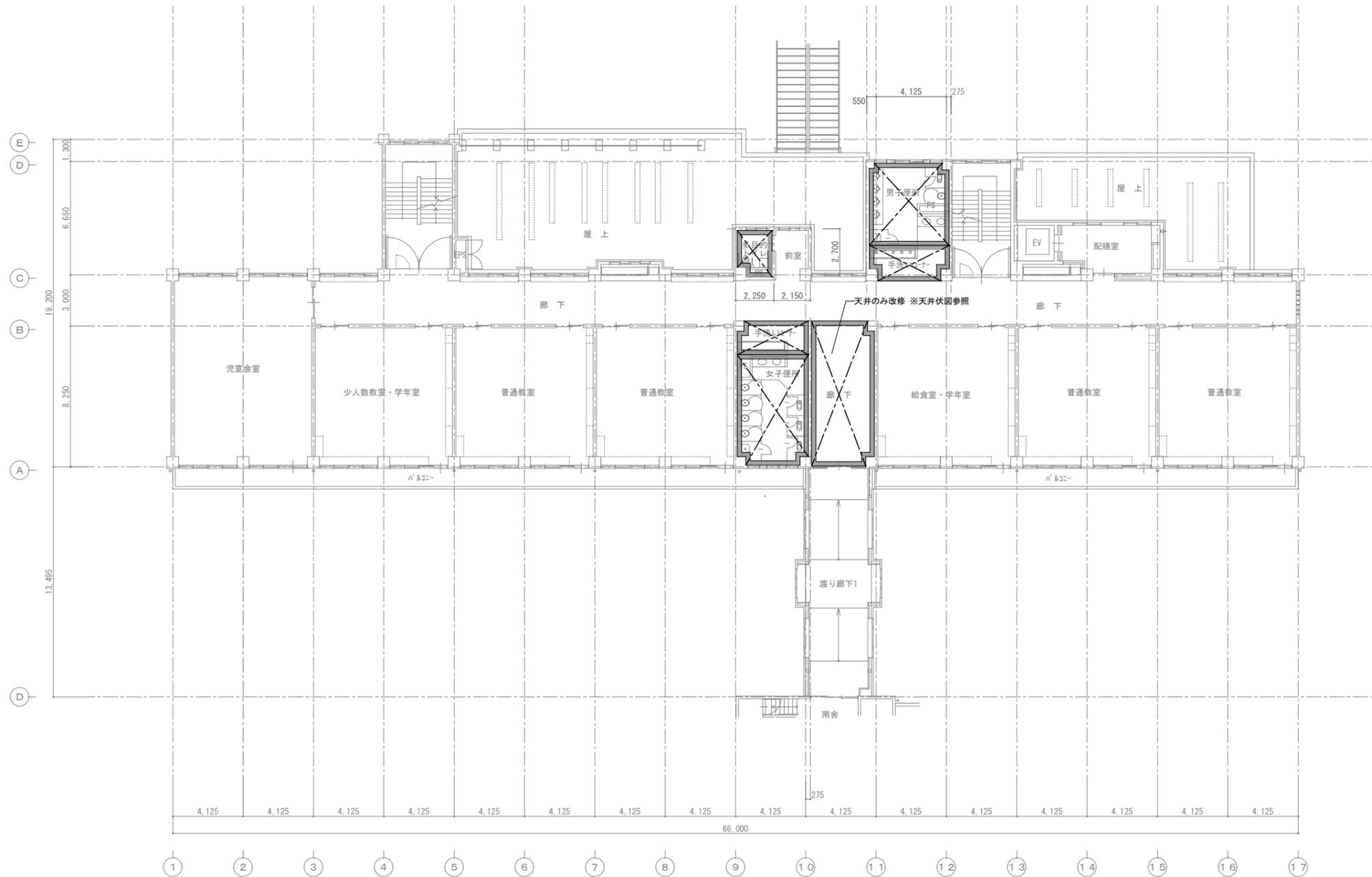


屋内運動場 1階

凡例	
	工事対象範囲
	外部改修範囲 ※平面詳細図参照

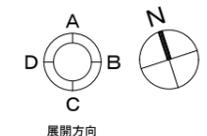


北舎 1階



北舎 2階

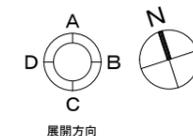
凡例
工事対象範囲



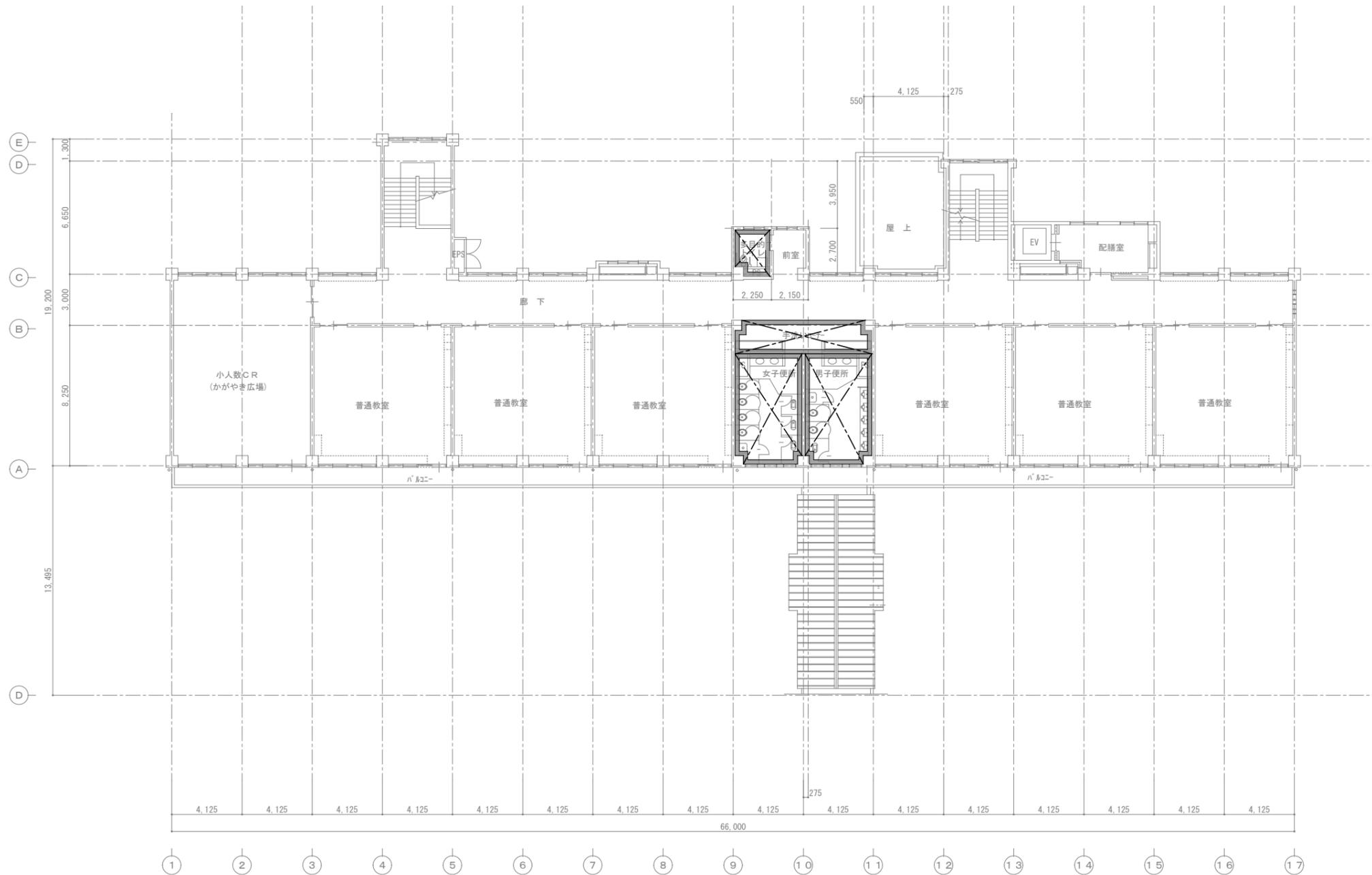


北舎 2階

凡例
 工事対象範囲

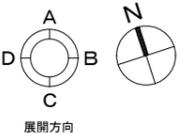


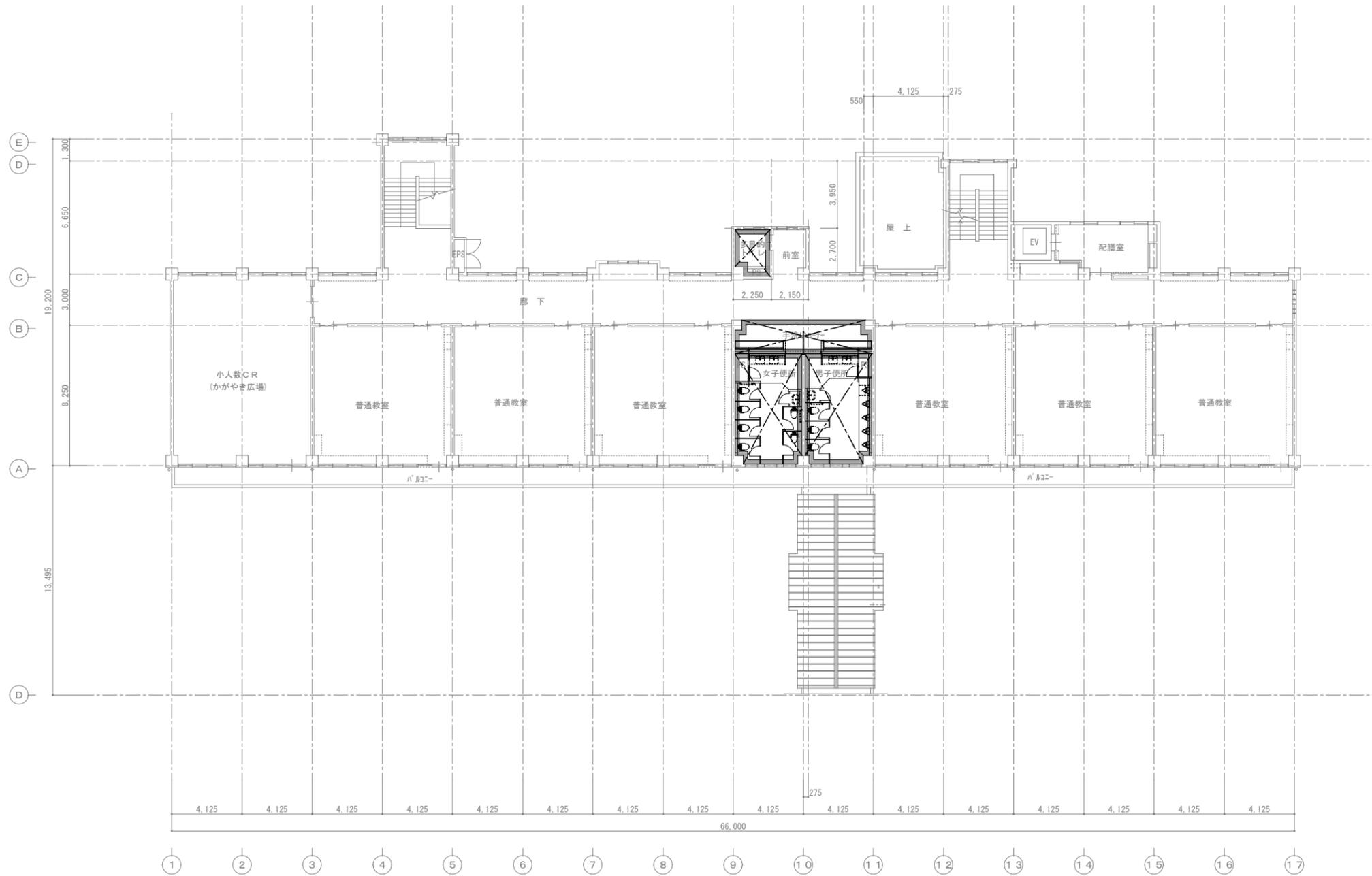
2407	可児市立旭小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)	改修後 北舎 2階平面図	1/200 scale	'24.10 date	谷本 drawing	野村 chief	野村 check	 DESIGN BOX architecture & urban design		一級建築士 319430 野村 智美	A 1 3
------	------------------------	--------------	----------------	----------------	---------------	-------------	-------------	--	---	-----------------------	-------



北舎 3階

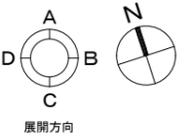
凡例
工事対象範囲

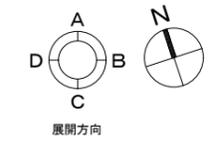
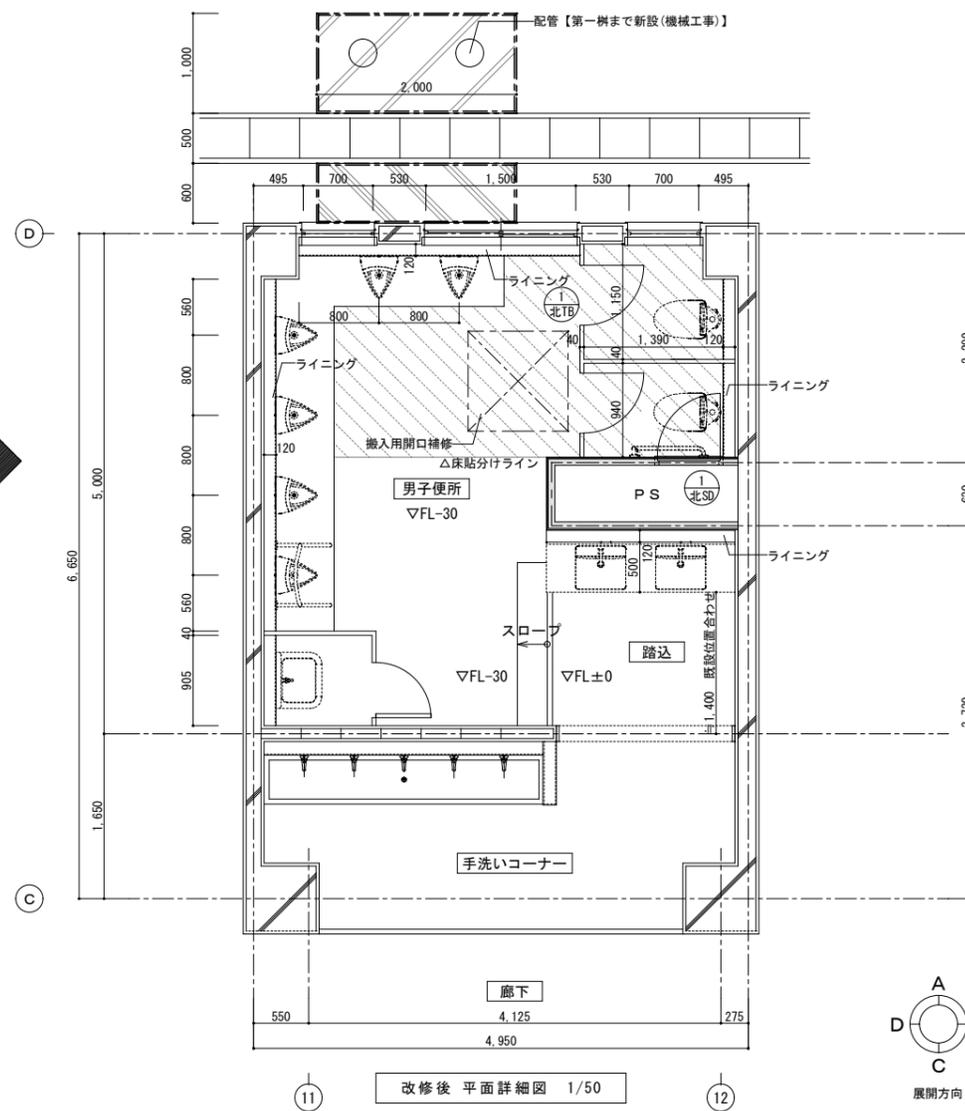
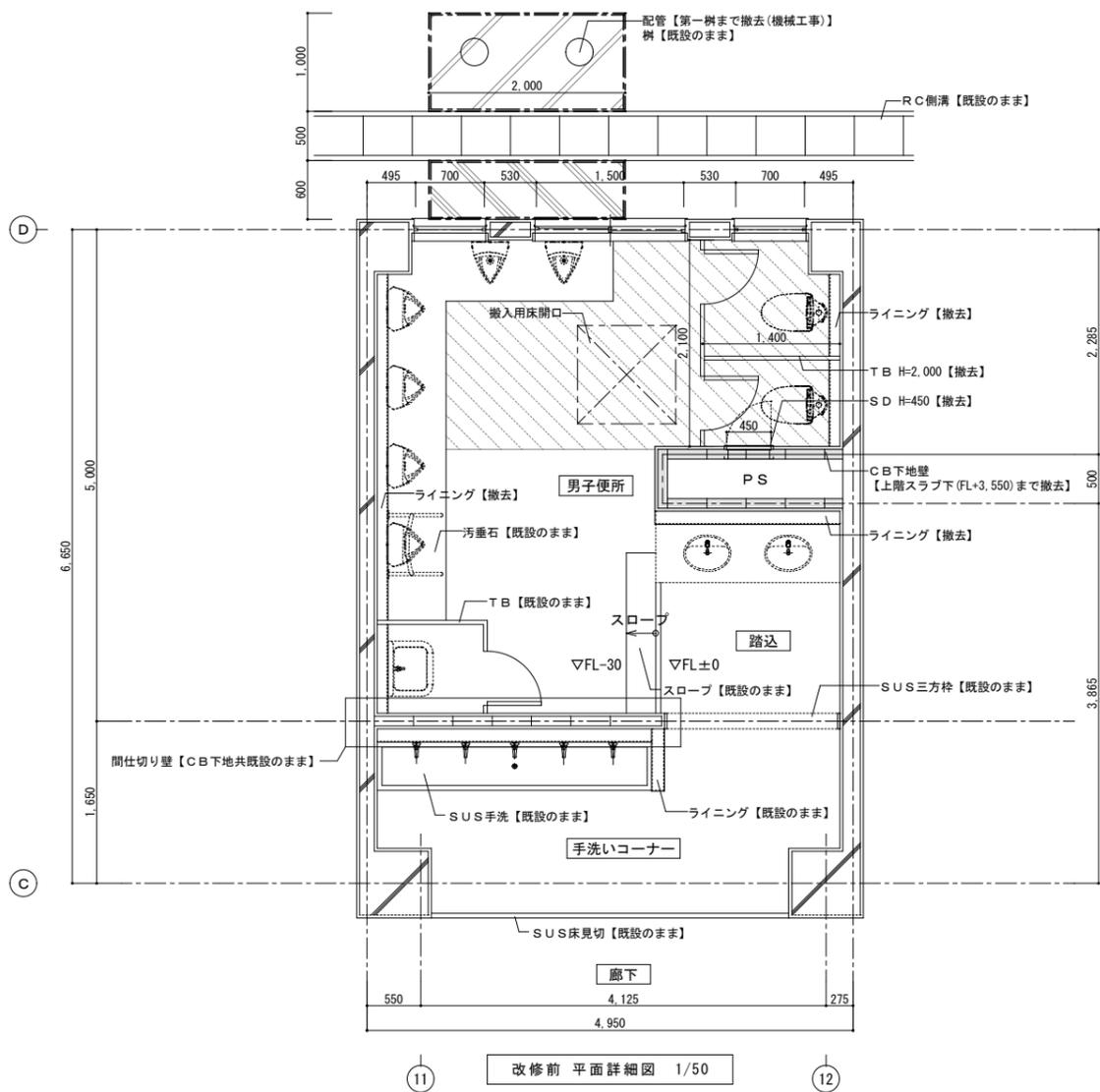




北舎 3階

凡例
 工事対象範囲





■改修前仕上表 ※特記なき限り下記とする。

床	Mコテ下地 FS t=2.0、汚垂石【既設のまま】 [便所一部]Mコテ下地 FS t=2.0【FS撤去】
巾木	100角タイル【既設のまま】 [PS壁三面]100角タイル【Mコテ下地共撤去】
壁	GB-R t=12.5+EP【既設のまま】 腰壁：Mコテ下地 100角タイル【既設のまま】 [PS壁三面] GB-R t=12.5+EP【CB下地共撤去】 腰壁：Mコテ下地 100角タイル【CB下地共撤去】
天井	LGS下地 FK t=6+EP【LGS共撤去】
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、換気扇【撤去(機械工事)】 照明器具【撤去(電気工事)】 鏡【撤去(機械工事)】

※浮き部補修：1.0㎡程度

■改修前凡例

	FS t=2.0【撤去】		既設CB t=100下地壁【撤去】
	外部工事範囲		
	砕石 t=150+AS t=50【撤去】		
	土間コンクリート t=130【鉄筋D10@200S共撤去】		

■改修後仕上表 ※特記なき限り下記とする。

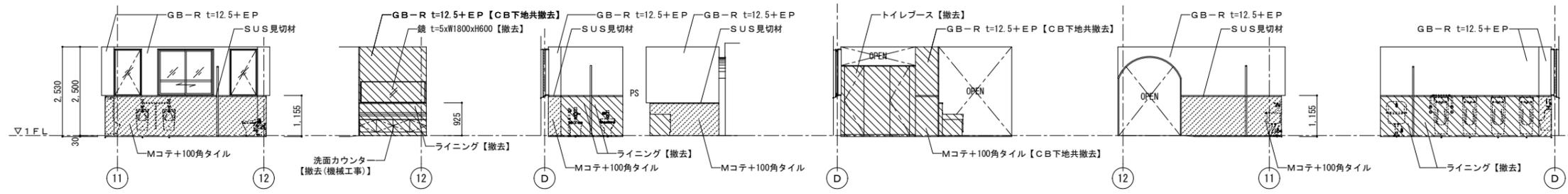
床	[便所一部]下地調整の上、FS t=2.0【新設】
巾木	[PS壁三面]SUS H=100【新設】※詳細参照
壁	下地調整の上、NAD【塗替】 腰壁：Mコテ下地 100角タイル【浮き部補修】 [PS壁三面] LGS下地 GB-S t=12.5+MK t=3【LGS共新設】 LGS下地 FK t=6+NAD【LGS共新設】
天井	LGS下地 FK t=6+NAD【LGS共新設】
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、換気扇【新設(機械工事)】 照明器具【新設(電気工事)】 鏡【新設】

■改修後凡例

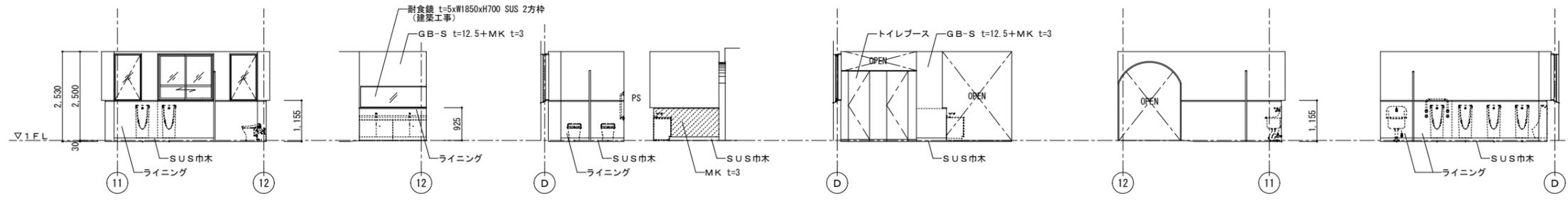
	FS t=2.0【撤去】
	間仕切り壁【新設】 ※特記なき限りスタッドは65型とする。 ※壁仕上げは展開図による。
	建具【新設】
	外部工事範囲
	砕石 t=150+AS t=50【新設】
	土間コンクリート t=120+Mコテt=30【鉄筋D10@200S共新設】 差筋D10@200【新設】

※改修後は特記なき限り【新設】とする。

改修前 展開図 1/100



改修後 展開図 1/100



■改修前 展開図 凡例 ※特記なき限り下記とする。

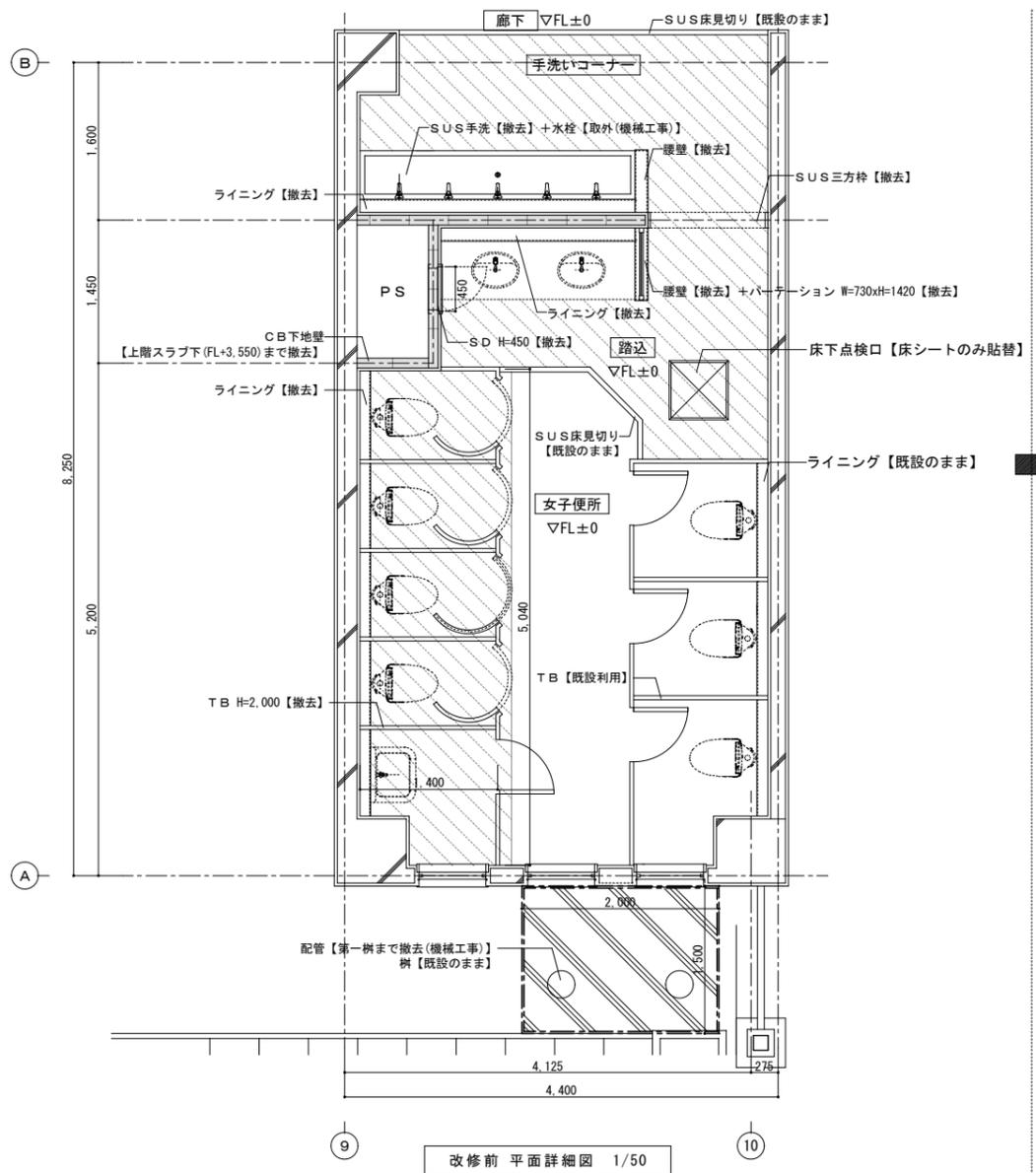
	Mコテ+100角タイル【浮き部補修】
	撤去範囲を示す。

※改修前は特記なき限り【既設のまま】とする。

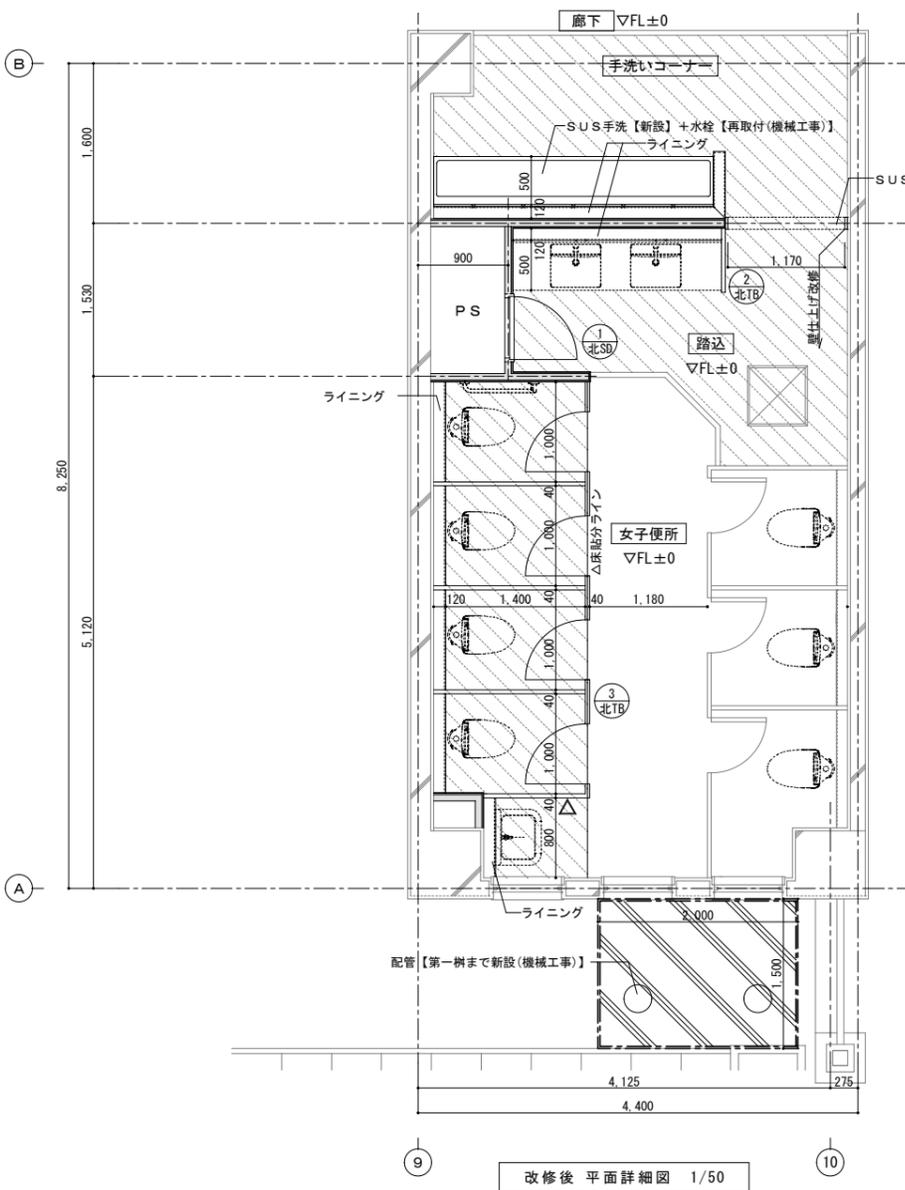
■改修後 展開図 凡例 ※特記なき限り下記とする。

	既設タイルの上、MK t=3【新設】 (ONタイル工法)
--	---------------------------------

※改修後は特記なき限り【新設】とする。
※塗替部は、特記なき限り既設塗装下地調整 (R種) とする。



改修前 平面詳細図 1/50



改修後 平面詳細図 1/50

■改修前仕上表 ※特記なき限り下記とする。

床	Mコテ下地 F S t=2.0、汚垂石【既設のまま】 [便所一部]Mコテ下地 F S t=2.0【F S撤去】
巾木	100角タイル【既設のまま】 [P S 壁三面]100角タイル【Mコテ下地共撤去】
壁	GB-R t=12.5+EP【既設のまま】 腰壁：Mコテ下地 100角タイル【既設のまま】 [P S 壁三面] GB-R t=12.5+EP【C B下地共撤去】 腰壁：Mコテ下地 100角タイル【C B下地共撤去】
天井	L G S下地 F K t=6+EP【L G S共撤去】
設備機器	照明器具【撤去(電気工事)】 鏡【撤去(機械工事)】

※浮き部補修：1.0㎡程度

■改修前凡例

	F S t=2.0【撤去】		既設C B t=100下地壁【撤去】
	外部工事範囲		
	砕石 t=150+AS t=50【撤去】		
	土間コンクリート t=130【鉄筋D10@200S共撤去】		

■改修後仕上表 ※特記なき限り下記とする。

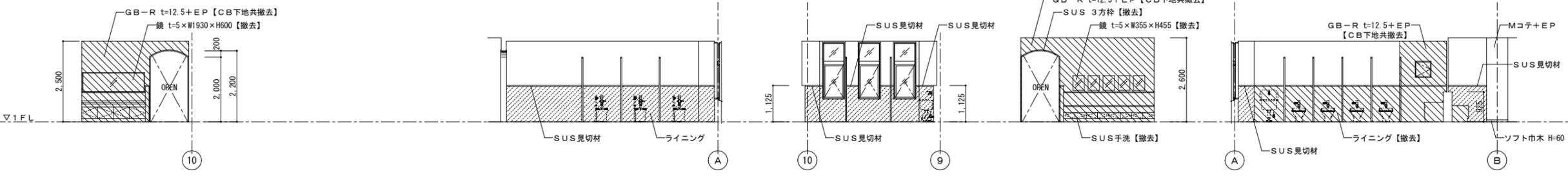
床	[便所一部]下地調整の上、F S t=2.0【新設】
巾木	[P S 壁三面]SUS H=100【新設】※雑詳細図参照
壁	下地調整の上、NAD【塗替】 腰壁：Mコテ下地 100角タイル【浮き部補修】 [P S 壁三面] L G S下地 GB-S t=12.5+MK t=3【L G S共新設】
天井	L G S下地 F K t=6+NAD【L G S共新設】
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、換気扇【新設(機械工事)】 照明器具【新設(電気工事)】 鏡【新設】

■改修後凡例

	F S t=2.0【撤去】
	間仕切壁【新設】 ※特記なき限りスタッドは65型とする。 ※壁仕上げは展開図による。
	新設木製掃除用具掛け下地 ゴム集成材 S O P W=600xH=100x t=20
	建具【新設】
	外部工事範囲
	砕石 t=150+AS t=50【新設】
	土間コンクリート t=120+Mコテt=30【鉄筋D10@200S共新設】 差筋D10@200【新設】

※改修後は特記なき限り【新設】とする。

改修前 展開図 1/100

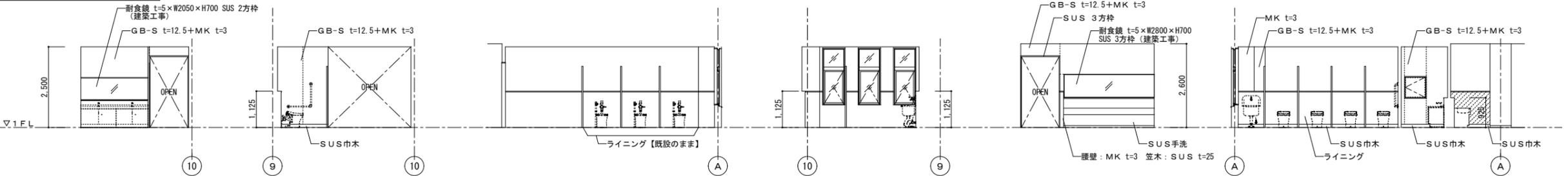


■改修前 展開図 凡例 ※特記なき限り下記とする。

	Mコテ+100角タイル【浮き部補修】
	撤去範囲を示す。

※改修前は特記なき限り【既設のまま】とする。

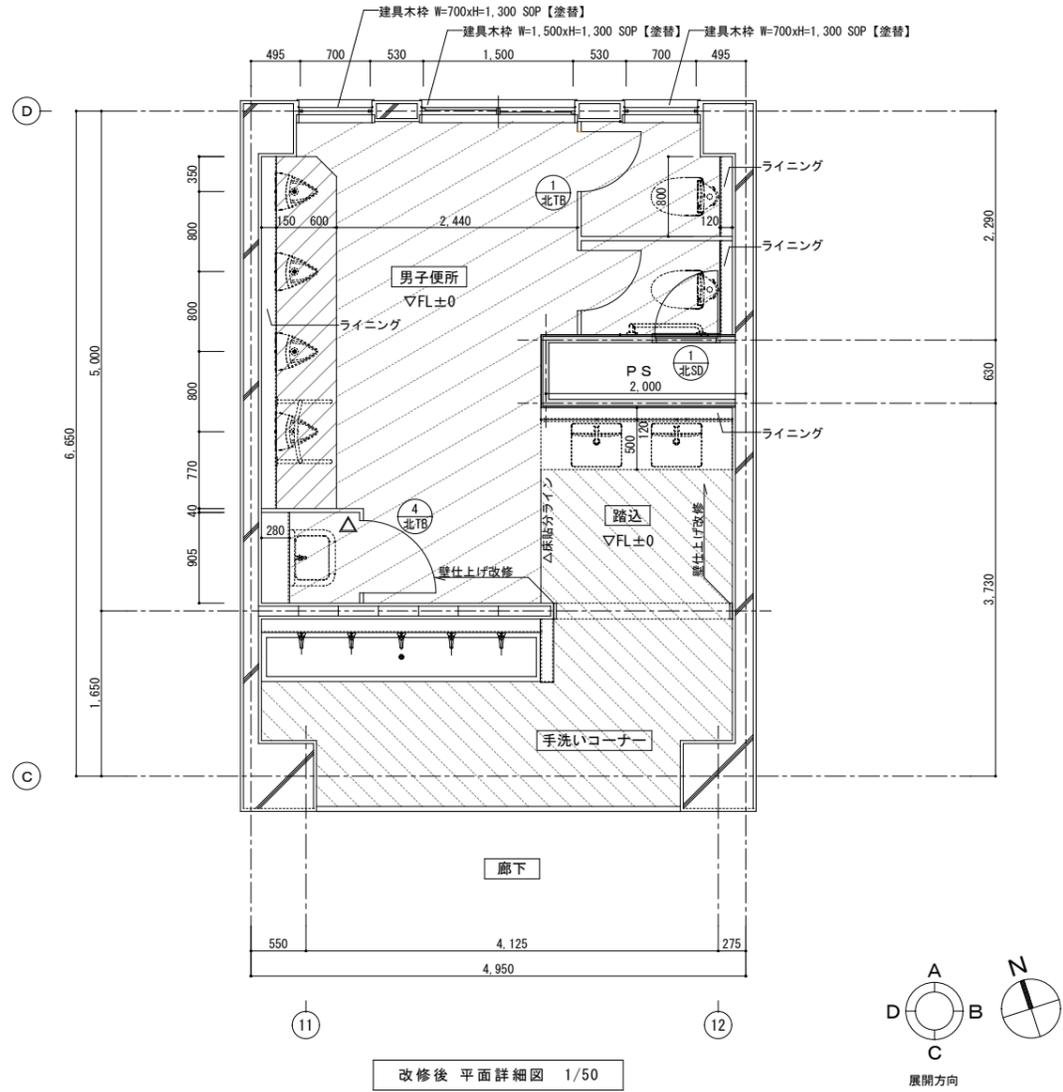
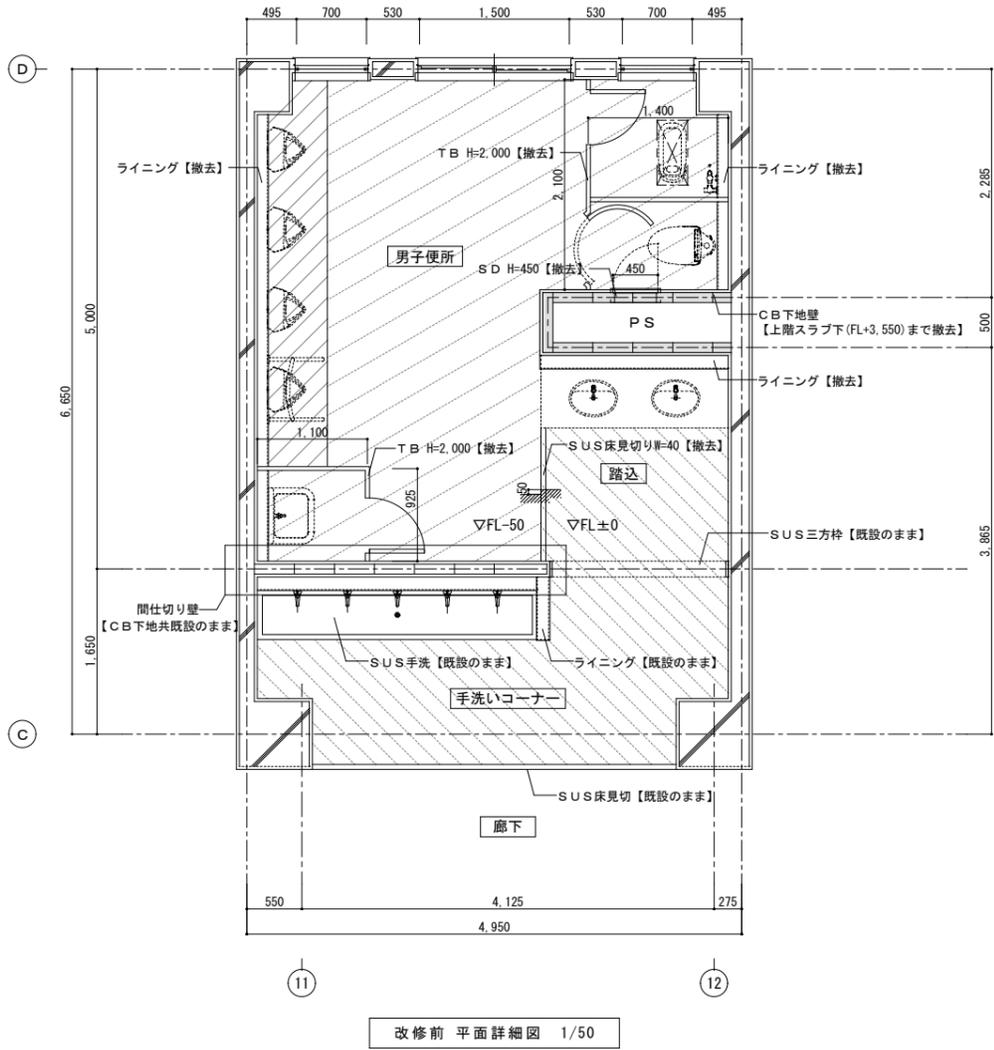
改修後 展開図 1/100



■改修後 展開図 凡例 ※特記なき限り下記とする。

	既設タイルの上、MK t=3【新設】 (ONタイル工法)
--	---------------------------------

※改修後は特記なき限り【新設】とする。
※塗替部は、特記なき限り既設塗装下地調整(R B種)とする。



■改修前仕上表 ※特記なき限り下記とする。

床	[手洗いコーナー、踏込]Mコテ下地 FS t=2.0【FS撤去】 [便所]Mコテ下地 50角タイル貼【タイル撤去】 汚垂石 t=10【撤去】
巾木	Mコテ下地 100角タイル【浮き部補修】 Mコテ下地 GB-R t=12.5+EP
壁	腰壁：Mコテ下地 100角タイル【浮き部補修】
天井	LGS下地 FK t=6+EP【LGS共撤去】
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、換気扇【撤去(機械工事)】 照明器具【撤去(電気工事)】 鏡【撤去】

※浮き部補修：1.0m程度

■改修前凡例 ※特記なき限り下記とする。

	FS t=2.0【撤去】		汚垂石 t=10【撤去】
	床タイル【撤去】		既設CB t=100下地壁【撤去】
	和便器撤去跡床開口部補修 ※詳細図参照		

■改修後仕上表 ※特記なき限り下記とする。

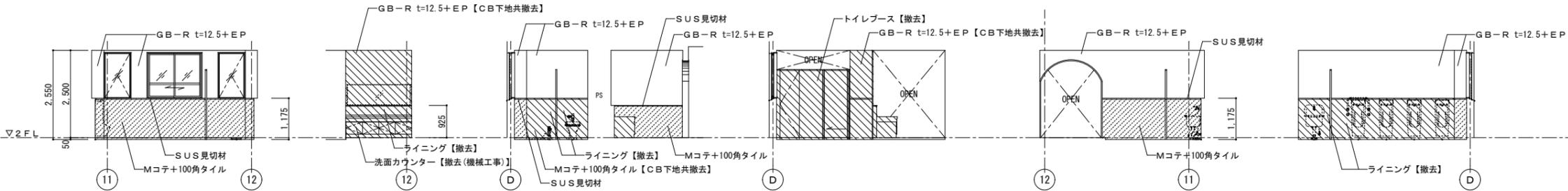
床	[手洗いコーナー、踏込]下地調整の上、FS t=2.0【FS新設】 [便所]嵩上コンクリート下地 FS t=2.0【嵩上コン共新設】 汚垂石 t=7【新設】
巾木	SUS H=100【新設】※詳細図参照
壁	下地調整の上、NAD【塗替】 腰壁：既設100角タイルの上、MK t=3【新設】(ONタイル工法) 壁新設部：LGS下地 GB-S t=12.5+MK t=3【LGS共新設】
天井	LGS下地 FK t=6+NAD【LGS共新設】
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、換気扇【新設(機械工事)】 照明器具【新設(電気工事)】 鏡【新設】

■改修後凡例 ※特記なき限り下記とする。

	FS t=2.0【張替】		汚垂石 t=7【新設】
	FS t=2.0【新設】		
	間仕切壁【新設】 ※特記なき限りスタッドは6.5型とする。 ※壁仕上げは展開図による。		
	新設木製掃除用具掛け下地 ゴム集成材 SOP W=600xH=100xt=20		
	建具【新設】		

※改修後は特記なき限り【新設】とする。

改修前 展開図 1/100

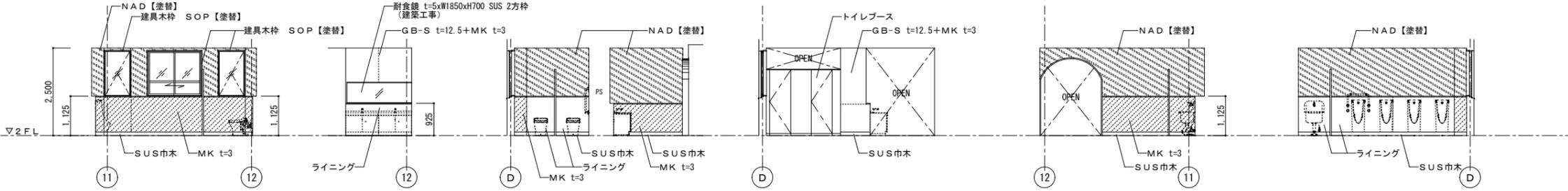


■改修前 展開図 凡例 ※ 特記なき限り下記とする。

	Mコテ+100角タイル【浮き部補修】
	撤去範囲を示す。

※改修前は特記なき限り【既設のまま】とする。

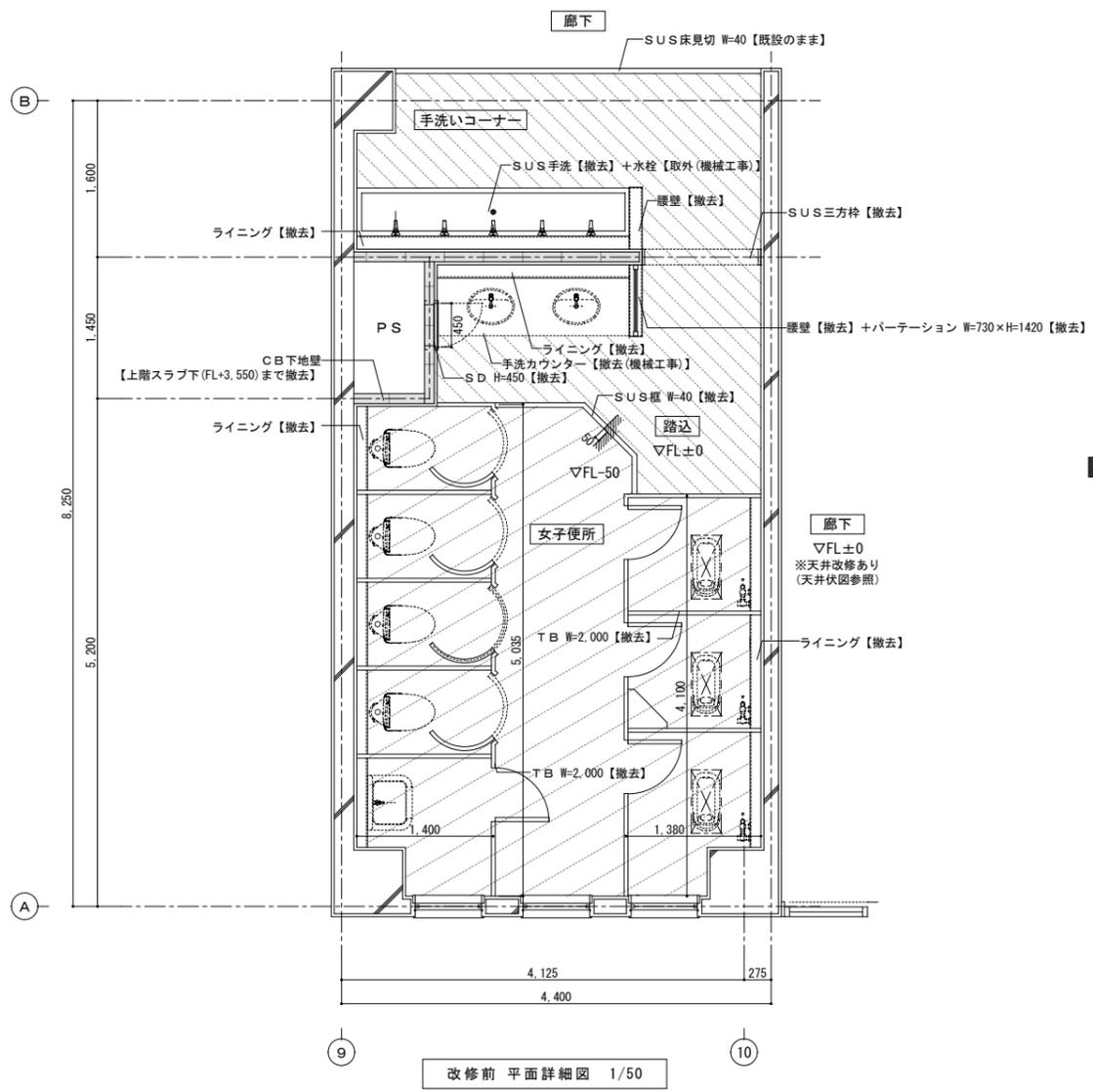
改修後 展開図 1/100



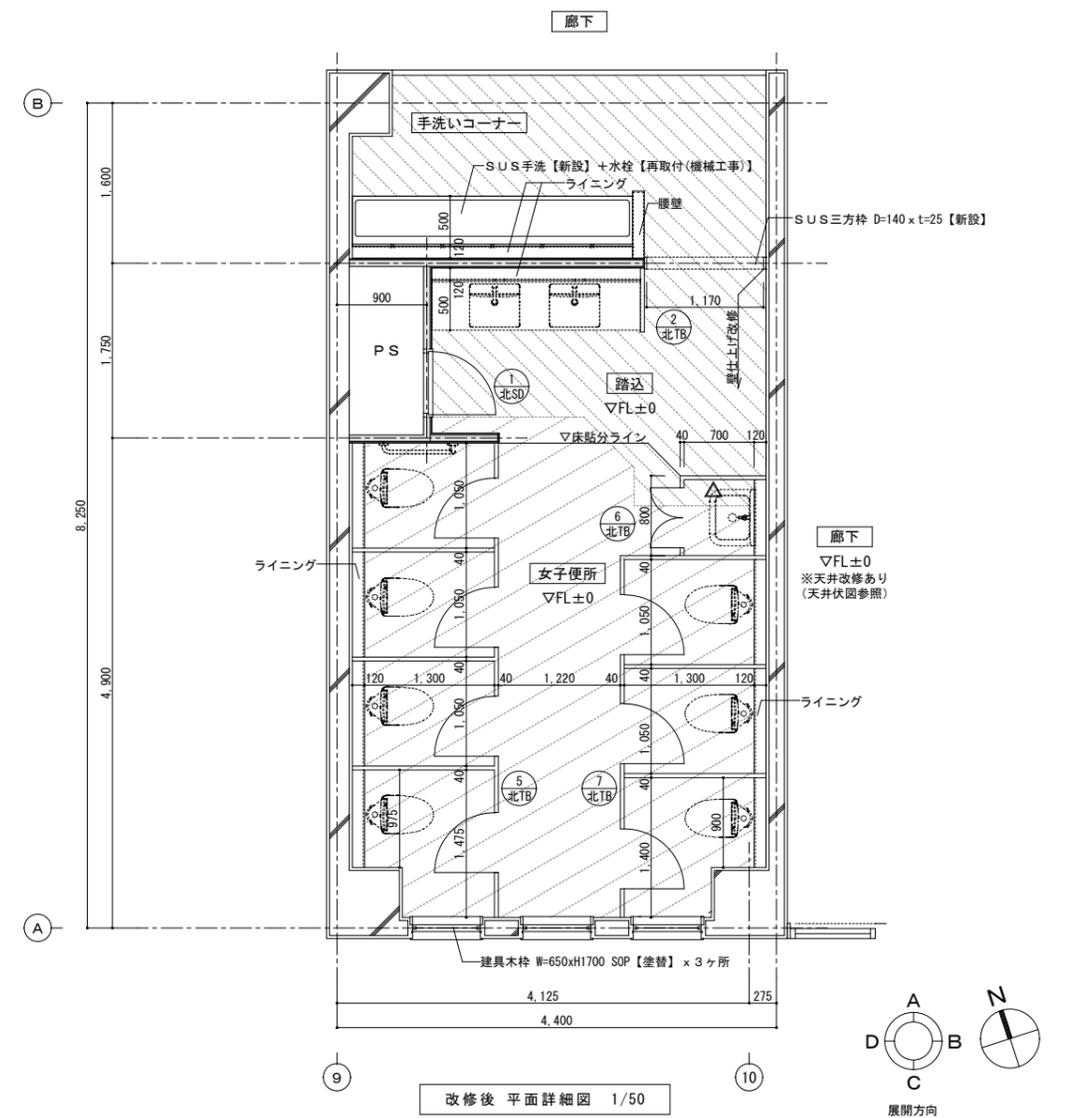
■改修後 展開図 凡例 ※ 特記なき限り下記とする。

	既設タイルの上、MK t=3【新設】 (ONタイル工法)
	下地調整の上、NAD【塗替】

※改修後は特記なき限り【新設】とする。
※塗替部は、特記なき限り既設塗装下地調整 (RB種)とする。



改修前 平面詳細図 1/50



改修後 平面詳細図 1/50

■改修前仕上表 ※特記なき限り下記とする。

床	[手洗いコーナー、踏込]Mコテ下地 FS t=2.0【FS撤去】 [便所]Mコテ下地 50角タイル貼【タイル撤去】
巾木	Mコテ下地 100角タイル【浮き部補修】
壁	Mコテ下地 GB-R t=12.5+EP 腰壁：Mコテ下地 100角タイル【浮き部補修】
天井	LGS下地 FK t=6+EP【LGS共撤去】
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、換気扇【撤去(機械工事)】 照明器具【撤去(電気工事)】 鏡【撤去(機械工事)】

※浮き部補修：1.0㎡程度

■改修前凡例 ※特記なき限り下記とする。

	FS t=2.0【撤去】		汚垂石 t=10【撤去】
	床タイル【撤去】		既設CB t=100下地壁【撤去】
	和便器撤去跡床開口部補修 ※詳細図参照		

■改修後仕上表 ※特記なき限り下記とする。

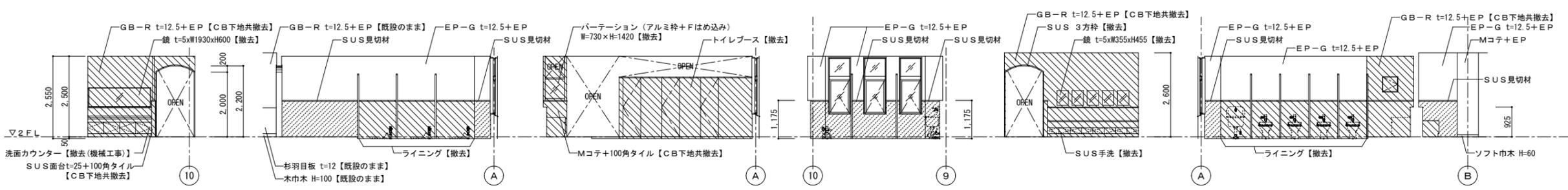
床	[手洗いコーナー、踏込]下地調整の上、FS t=2.0【FS新設】 [便所]高上コンクリート下地 FS t=2.0【高上コン新設】
巾木	SUS H=100【新設】※詳細図参照
壁	下地調整の上、NAD【塗替】 腰壁：既設100角タイルの上、MK t=3【新設】(ONタイル工法) 壁新設部：LGS下地 GB-S t=12.5+MK t=3【LGS共新設】
天井	LGS下地 FK t=6+NAD【LGS共新設】
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、換気扇【新設(機械工事)】 照明器具【新設(電気工事)】 鏡【新設】

■改修後凡例 ※特記なき限り下記とする。

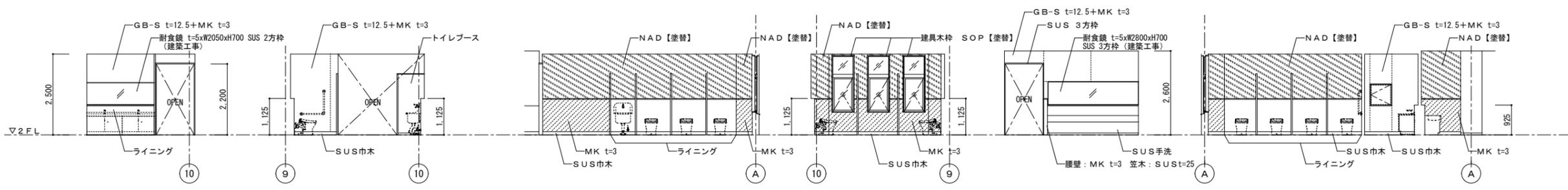
	FS t=2.0【張替】		汚垂石 t=7【新設】
	FS t=2.0【新設】		
	間仕切壁【新設】 ※特記なき限りスタッドは65型とする。 ※壁仕上げは展開図による。		
	新設木製掃除用具掛け下地 ゴム集成材 SOP W=600xH=100x t=20		
	建具【新設】		

※改修後は特記なき限り【新設】とする。

改修前 展開図 1/100



改修後 展開図 1/100



■改修前 展開図 凡例 ※特記なき限り下記とする。

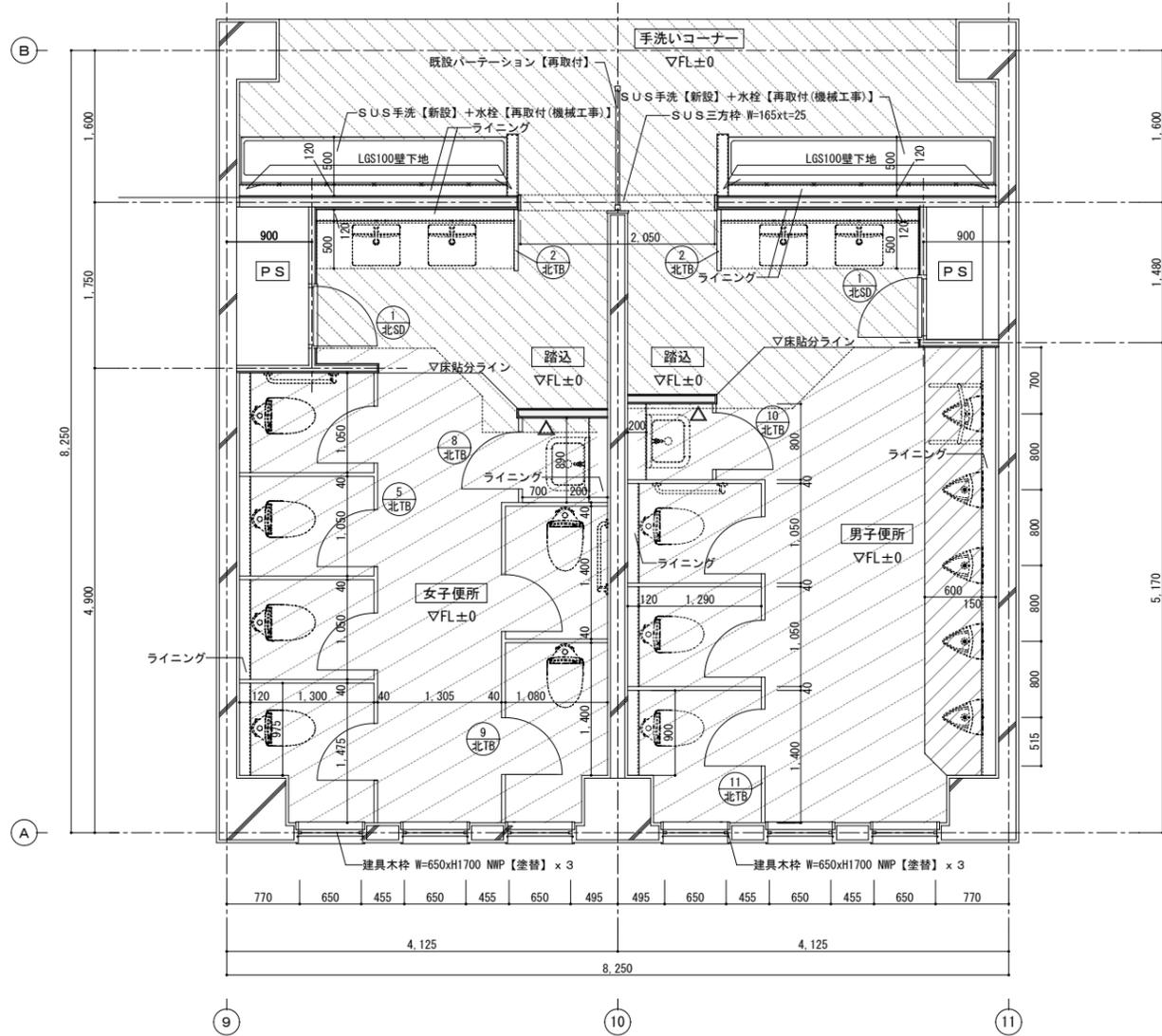
	Mコテ+100角タイル【浮き部補修】
	撤去範囲を示す。

※改修前は特記なき限り【既設のまま】とする。

■改修後 展開図 凡例 ※特記なき限り下記とする。

	既設タイルの上、MK t=3【新設】 (ONタイル工法)
	下地調整の上、NAD【塗替】

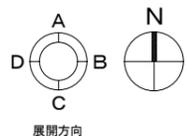
※改修後は特記なき限り【新設】とする。
※塗替部は、特記なき限り既設塗装下地調整(RB種)とする。



改修前 平面詳細図 1/50

■改修後仕上表 ※特記なき限り下記とする。

床	[手洗いコーナー、踏込] 下地調整の上、FS t=2.0 【FS新設】 [便所] 嵩上コンクリート下地 FS t=2.0 【嵩上共新設】 汚垂石 t=7 【新設】
巾木	SUS H=100 【新設】 ※雑詳細図参照
壁	下地調整の上、NAD 【塗替】 腰壁：既設100角タイルの上、MK t=3 【新設】 (ONタイル工法) 壁新設部：LGS下地 GB-S t=12.5+MK t=3 【LGS共新設】
天井	LGS下地 FK t=6+NAD 【LGS共新設】
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、換気扇 【新設(機械工事)】 照明器具 【新設(電気工事)】 鏡 【新設】

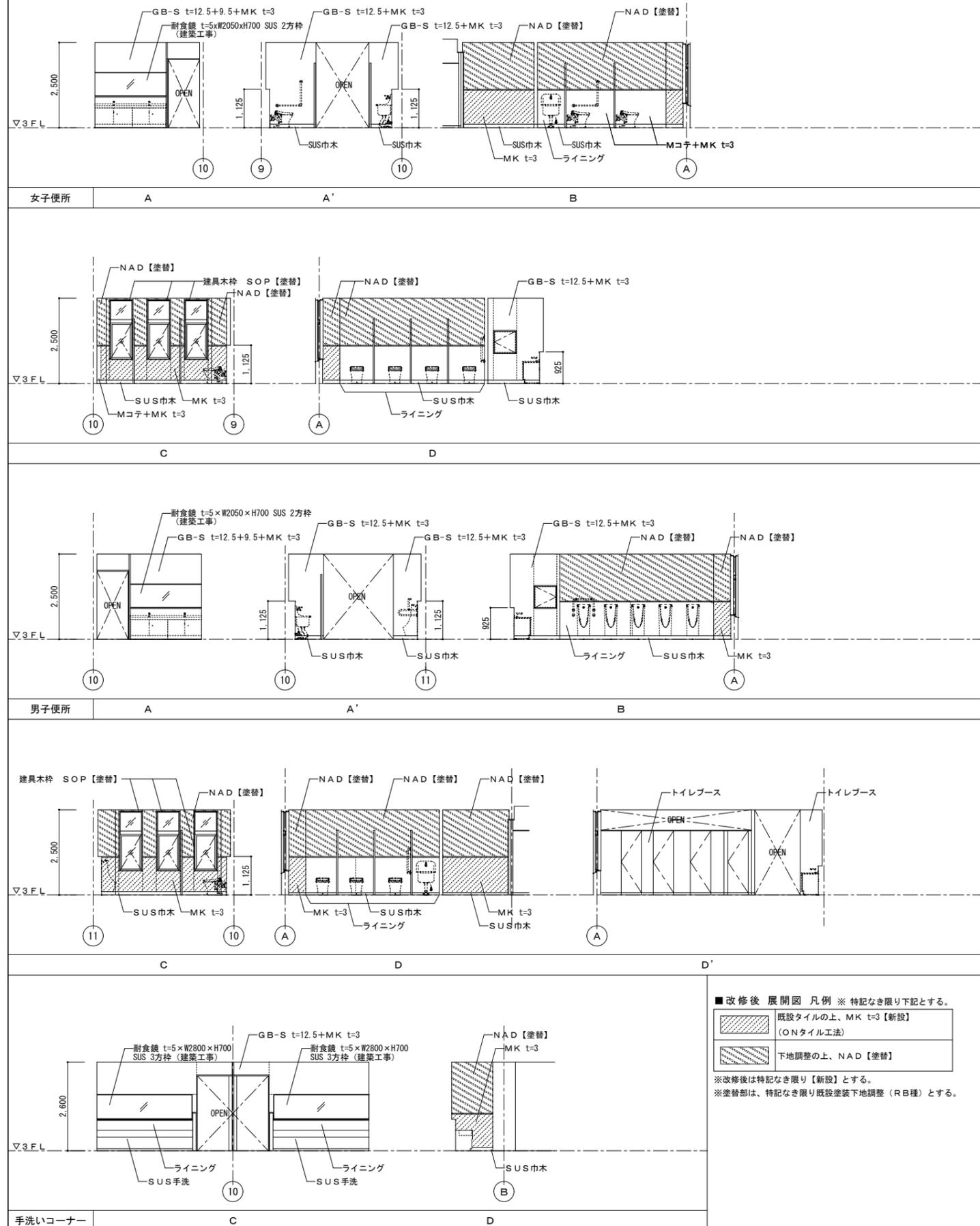


■改修後凡例 ※特記なき限り下記とする。

	FS t=2.0 【塗替】		汚垂石 t=7 【新設】
	FS t=2.0 【新設】		
	間仕切壁 【新設】		
	※特記なき限りスタッドは65型とする。 ※壁仕上げは展開図による。		
	新設木製掃除用具掛け下地		
	ゴム集材材 SOP W=600xH=100xt=20		
	建具 【新設】		

※改修後は特記なき限り【新設】とする。

改修後 展開図 1/100

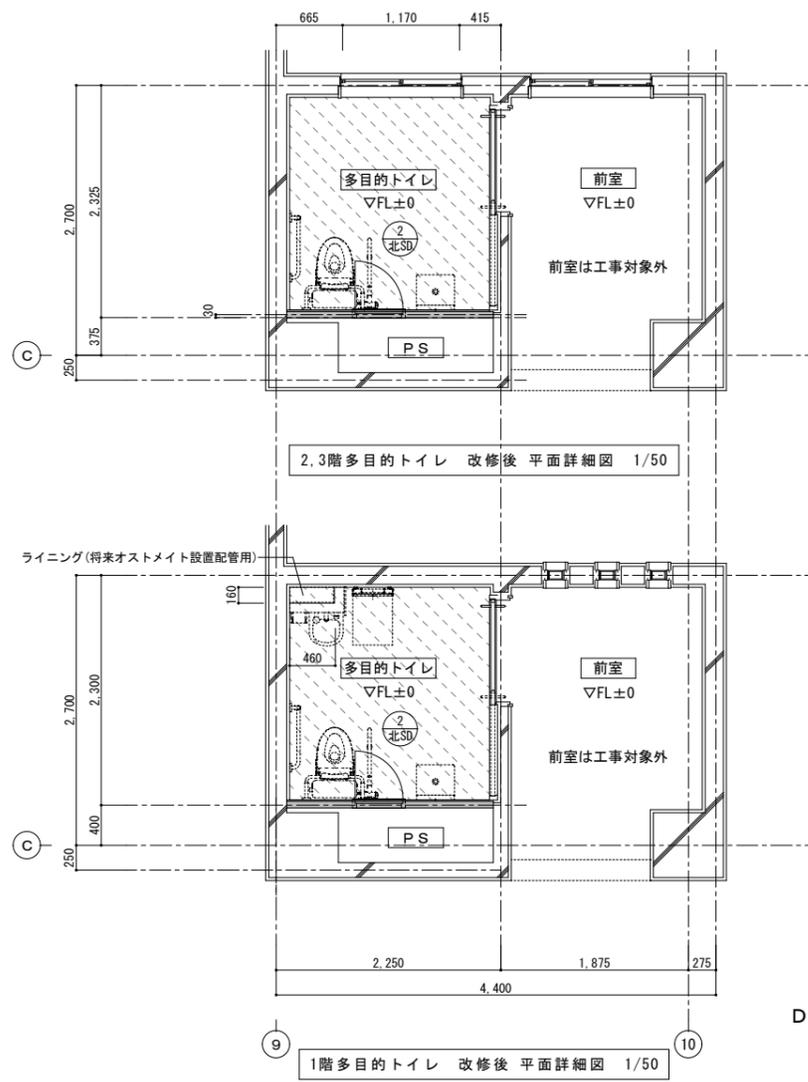
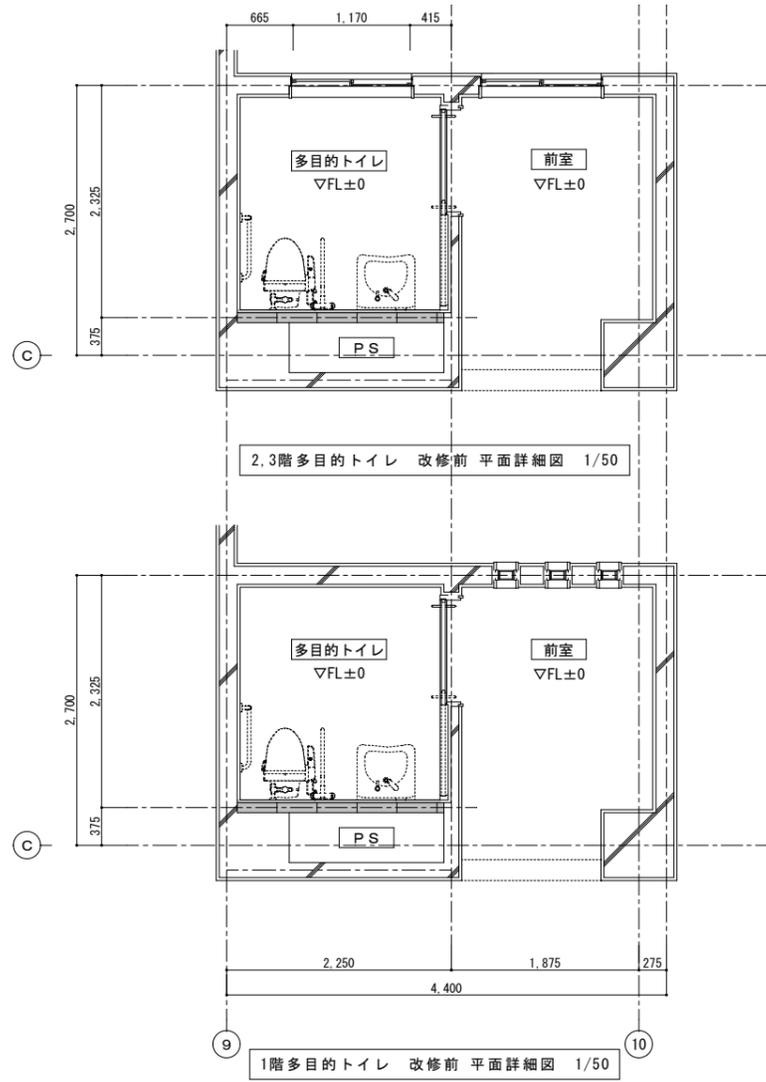


■改修後 展開図 凡例 ※特記なき限り下記とする。

	既設タイルの上、MK t=3 【新設】 (ONタイル工法)
	下地調整の上、NAD 【塗替】

※改修後は特記なき限り【新設】とする。
※塗替部は、特記なき限り既設塗装下地調整 (RB種) とする。





■改修前仕上表 ※特記なき限り下記とする。

床	Mコテ下地 FS t=2.0【仕上撤去】
巾木	ソフト巾木 H=60【撤去】
壁	[PS]GB-R t=12.5+上部:EP 下部:ダイノックシート【CB下地共撤去】 【その他】Mコテ下地 GB-R t=12.5+上部:EP 下部:ダイノックシート【既設のまま】
天井	[1,2階]LGS下地 FK t=6+EP【LGS共撤去】 【3階】LGS下地 FK t=6+EP【FK撤去】
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、換気扇【撤去(機械工事)】 照明器具【撤去(電気工事)】 鏡【撤去(機械工事)】

■改修前凡例 ※特記なき限り下記とする。

	FS t=2.0【撤去】		汚墨石t=10【撤去】
	床タイル【撤去】		既設CBt=100下地壁【撤去】
	和便器撤去跡床開口部補修 ※雑詳細図参照		

■改修後仕上表 ※特記なき限り下記とする。

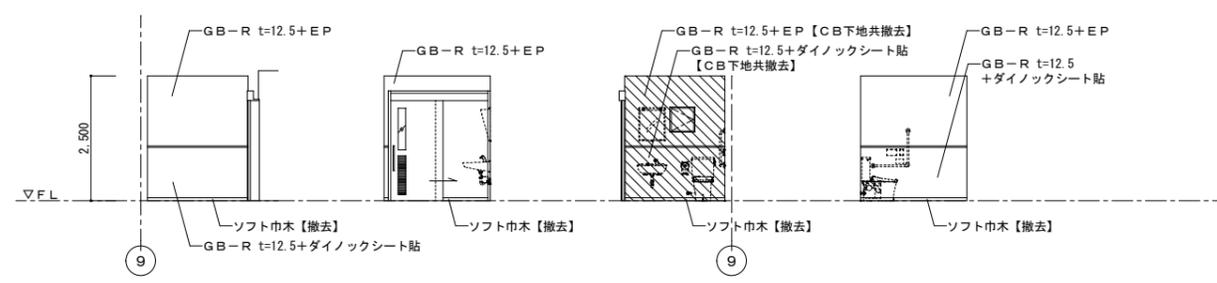
床	下地調整の上、FS t=2.0【FS新設】
巾木	SUS巾木 H=60【新設】 ※雑詳細図参照
壁	[PS]LGS下地 GB-S t=12.5+MK t=3【LGS共新設】
天井	[1,2階]LGS下地 FK t=6+NAD【LGS共新設】 【3階】LGS下地 FK t=6+NAD【FK新設】
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、換気扇【新設(機械工事)】 照明器具【新設(電気工事)】 鏡【新設(機械工事)】

■改修後凡例 ※特記なき限り下記とする。

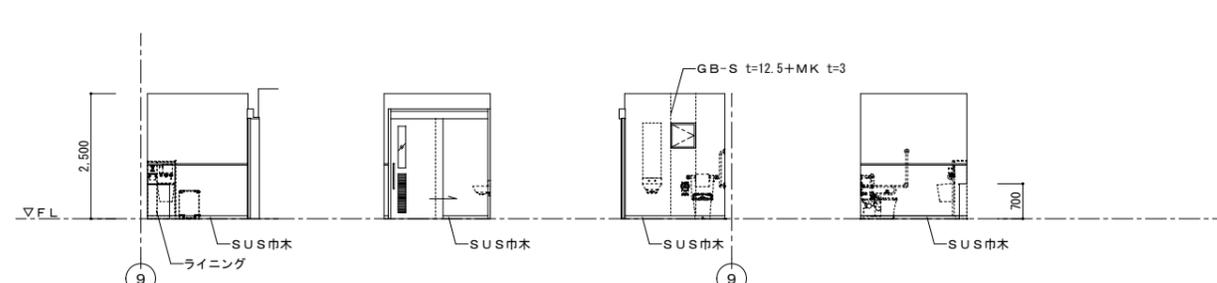
	FS t=2.0【張替】		汚墨石【新設】
	FS t=2.0【新設】		
	間仕切壁【新設】 ※特記なき限りスタッドは65型とする。 ※壁仕上げは展開図による。		

※改修後は特記なき限り【新設】とする。

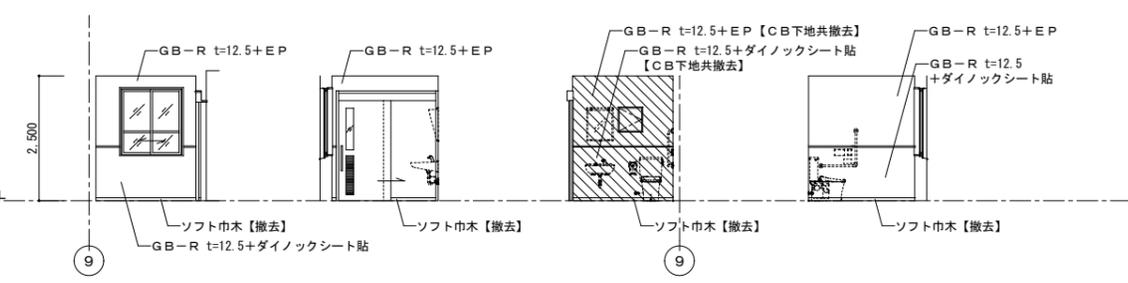
改修前 展開図 1/100



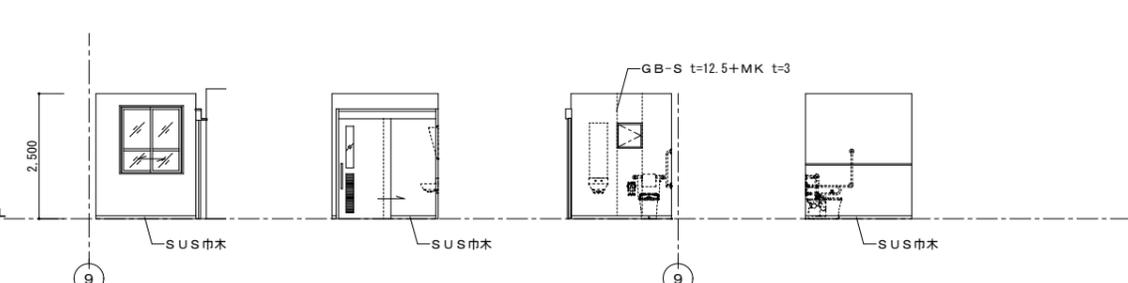
改修後 展開図 1/100



改修前 展開図 1/100



改修後 展開図 1/100



■改修前 展開図 凡例 ※特記なき限り下記とする。

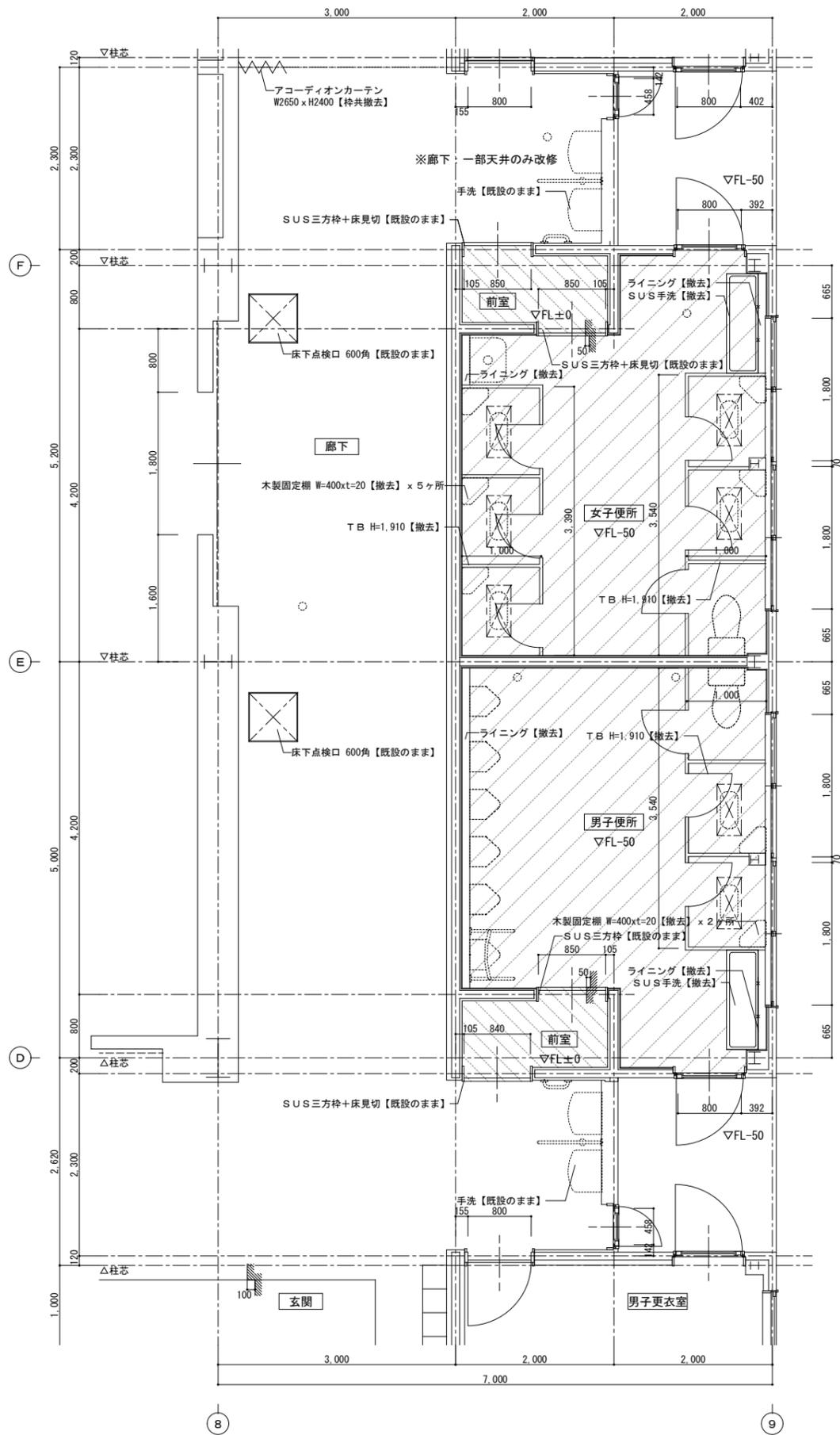
	Mコテ+100角タイル【浮き部補修】
	GB-R t=12.5+EP
	撤去範囲を示す。

※改修前は特記なき限り【既設のまま】とする。

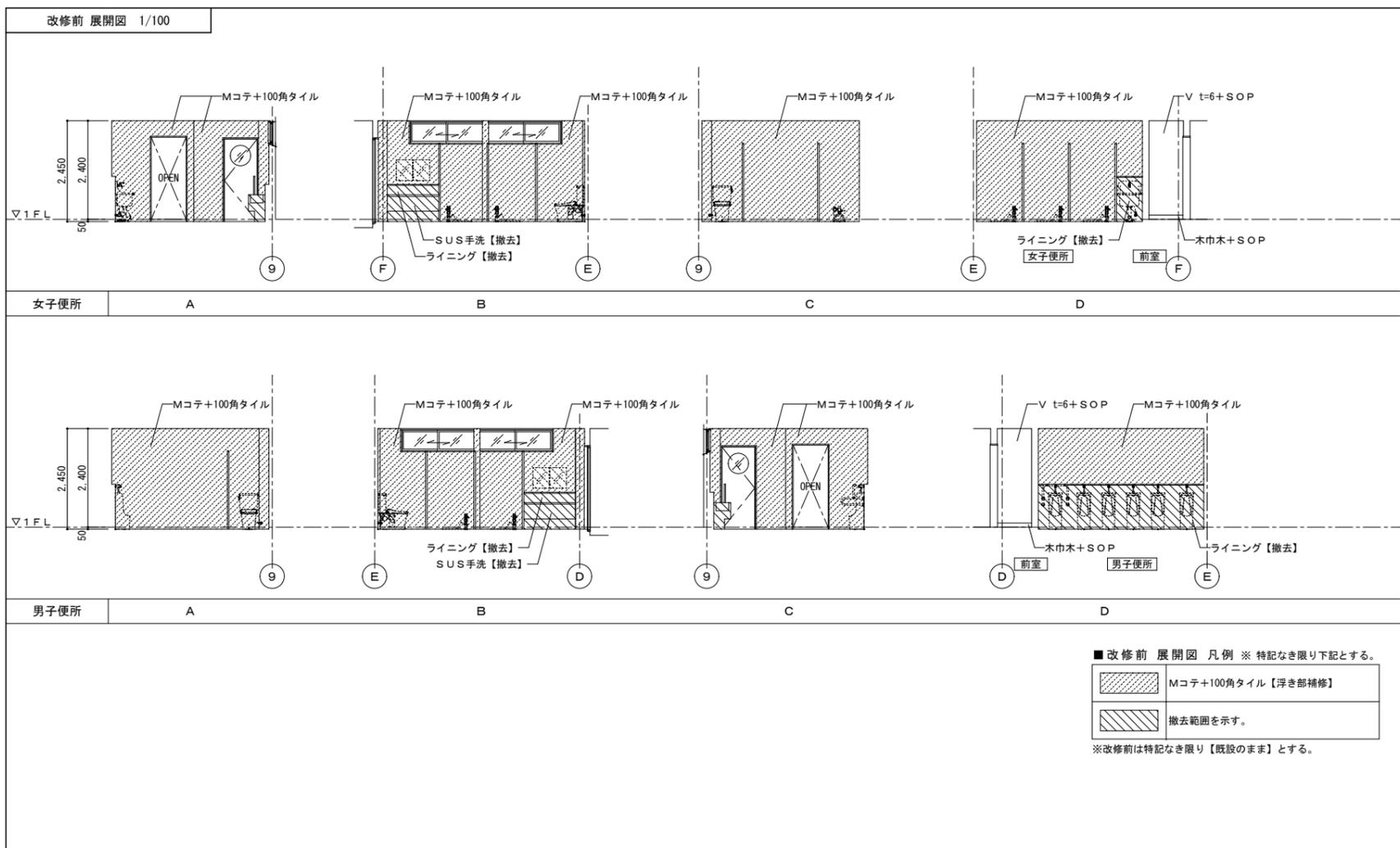
■改修後 展開図 凡例 ※特記なき限り下記とする。

	既設タイルの上、MK t=3【新設】 (ONタイル工法)
	下地調整の上、NAD【差替】

※改修後は特記なき限り【新設】とする。



改修前 平面詳細図 1/50



改修前 展開図 1/100

■改修前 展開図 凡例 ※特記なき限り下記とする。
 Mコテ+100角タイル【浮き部補修】
 撤去範囲を示す。
 ※改修前は特記なき限り【既設のまま】とする。

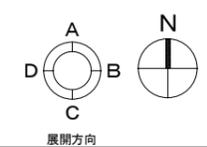
■改修前仕上表 ※特記なき限り下記とする。

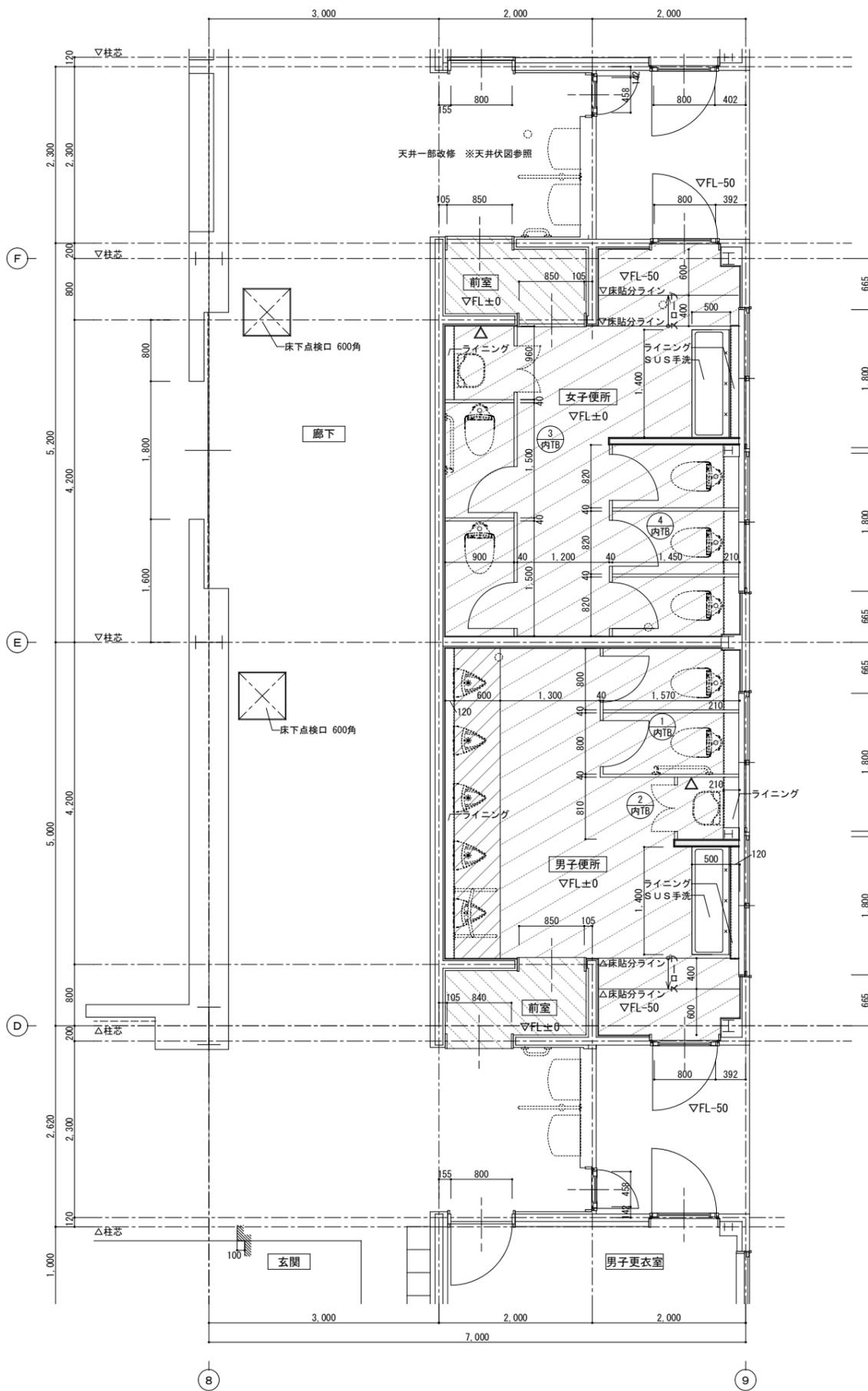
床	[前室]Mコテ下地 FS t=2.0【FS撤去】 [便所]Mコテ下地 モザイクタイル【タイル撤去】
巾木	[前室]木巾木 H=100 [便所]Mコテ下地 100角タイル【浮き部補修】
壁	[前室]V t=6+OP [便所]Mコテ下地 100角タイル【浮き部補修】
天井	LGS下地 有孔FK t=6+吹付タイル【有孔FK撤去】 衛生陶器、水栓、配管、換気扇【撤去(機械工事)】
設備機器	照明器具【撤去(電気工事)】 鏡【撤去】

※浮き部補修：2㎡程度

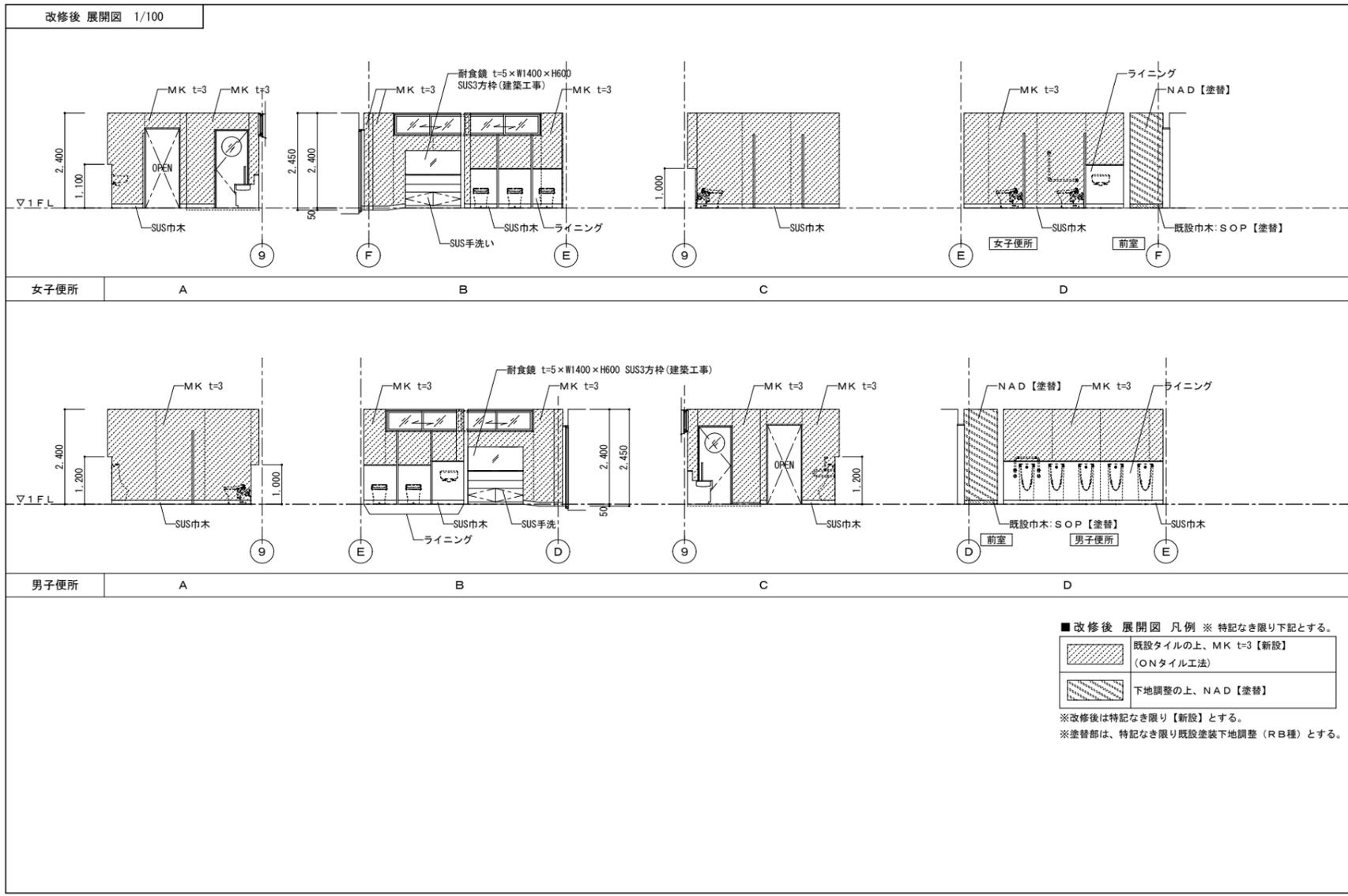
■改修前凡例

	FS【撤去】
	床タイル【撤去】
	和便器撤去跡 床開口部補修 ※詳細図参照





改修後 平面詳細図 1/50



改修後 展開図 1/100

■改修後 展開図 凡例 ※ 特記なき限り下記とする。

- 既設タイルの上、MK t=3【新設】(ONタイル工法)
- 下地調整の上、NAD【塗替】

※改修後は特記なき限り【新設】とする。
※塗替部は、特記なき限り既設塗装下地調整 (RB種) とする。

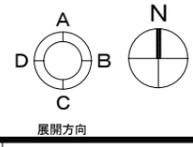
■改修後仕上表 ※特記なき限り下記とする。

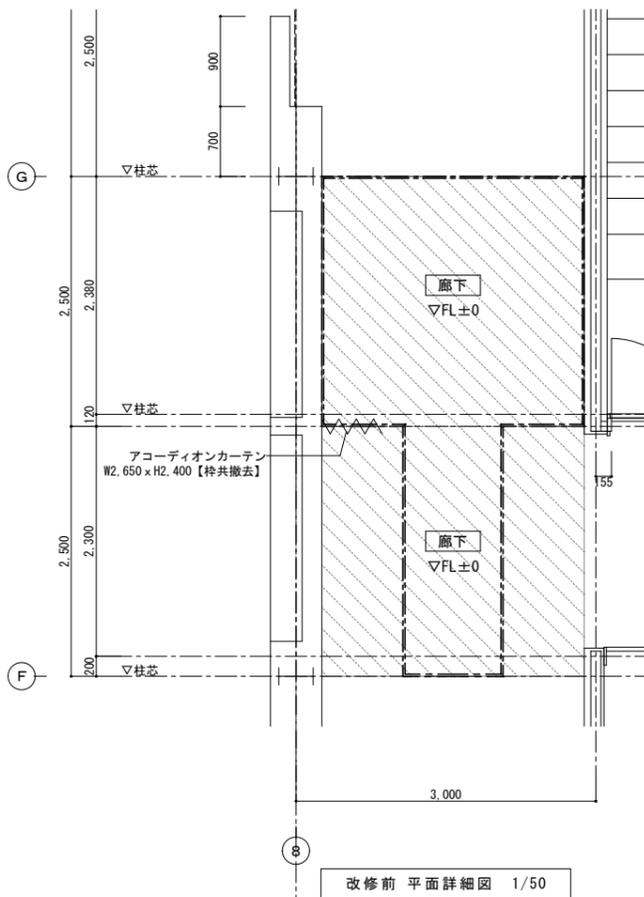
床	[前室]下地調整の上、FS t=2.0【張替】 [便所]嵩上げコンクリート下地 FS t=2.5 【嵩上げコンクリート共新設】 汚垂石 t=7【新設】
巾木	[前室]下地調整の上、SOP【塗替】 [便所]SUS t=100【新設】※雑詳細図参照
壁	[前室]下地調整の上、NAD【塗替】 [便所]既設100角タイルの上、MK t=3【新設】(ONタイル工法) [壁新設部]LGS下地 GB-S t=12.5+MK t=3【LGS共新設】
天井	LGS下地 FK t=6+NAD【FK新設】
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、換気扇【新設(機械工事)】 照明器具【新設(電気工事)】 鏡【新設】

■改修後凡例

	FS t=2.5【張替】
	FS t=2.5【新設】
	汚垂石 t=7【新設】
	木製掃除用具掛け下地【新設】 ゴム集成材 SOP W=600xH=100xT=20
	間仕切壁【新設】 ※特記なき限りスタッドは65型とする。 ※壁仕上げは展開図による。
	建具【新設】

※改修後は特記なき限り【新設】とする。





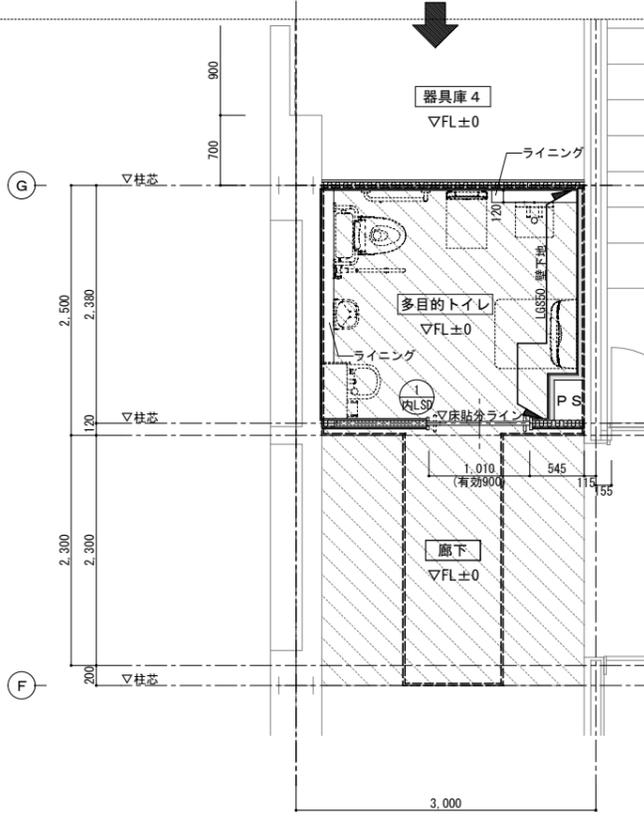
改修前平面詳細図 1/50

■改修前仕上表 ※特記なき限り下記とする。

床	[廊下一部]Mコテ下地 FS t=2.5【土間コンクリート共撤去】 [その他]Mコテ下地 FS t=2.5【既設のまま】
巾木	[廊下一部]木巾木 H=100 SOP【撤去】 [その他]木巾木 H=100 SOP【既設のまま】
壁	[廊下一部]既設V t=6 SOP【Vのみ撤去】 [その他]既設V t=6 SOP【既設のまま】
天井	[廊下一部]LGS下地 FK t=6+EP【FKのみ撤去】 ※天井伏図参照 [その他]LGS下地 FK t=6+EP【既設のまま】

■改修前凡例

	FS【撤去】
	土間コンクリートt=120 鉄筋D10@200(シタ)【撤去】



改修後平面詳細図 1/50

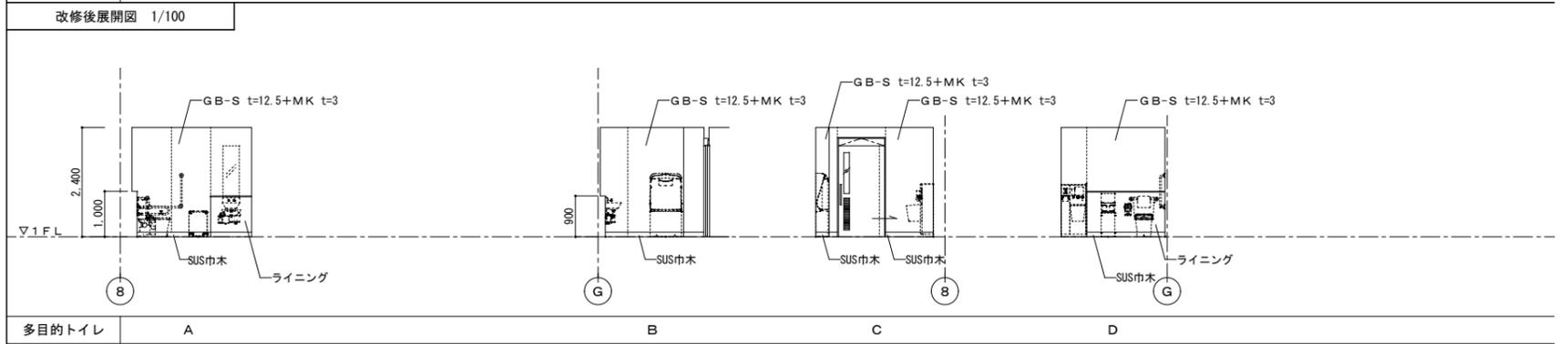
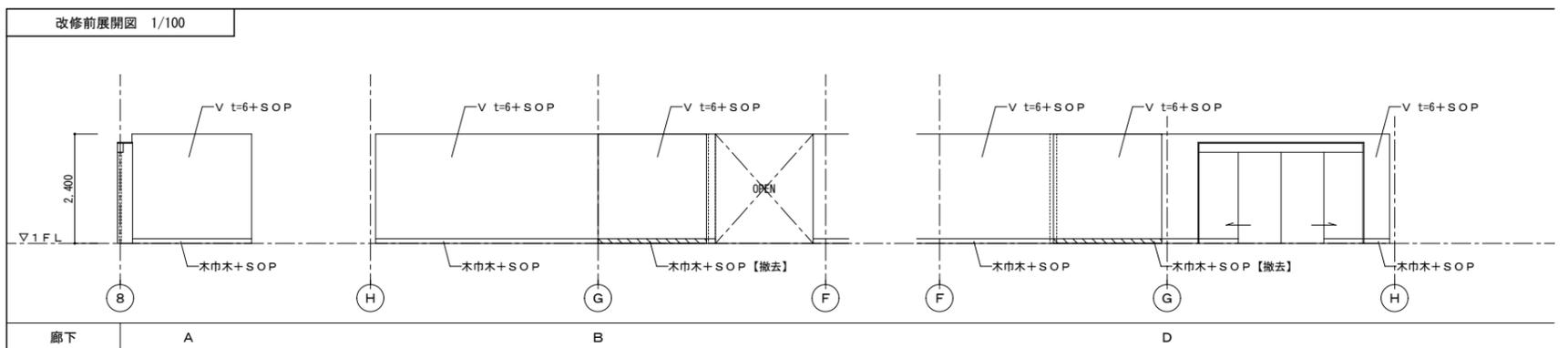
■改修後仕上表 ※特記なき限り下記とする。

床	[多目的トイレ、廊下]FS t=2.5【土間コンクリート共新設】 [廊下一部]FS t=2.5【FS新設】
巾木	[多目的トイレ、器具庫4南面]SUS H=100【新設】※雑詳細図参照 [多目的トイレ]LGS下地
壁	GB-S t=12.5+MK t=3【LGS共新設】 [多目的トイレ西面]GB-S t=12.5+MK t=3 【GB-S共新設】 [廊下、器具庫側のみ]GB-R t=12.5+9.5+NAD
天井	LGS下地 FK t=6+NAD【FK新設】
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、換気扇【新設(機械工事)】 照明器具【新設(電気工事)】 鏡【新設】

■改修後凡例 ※特記なき限り下記とする。

	FS t=2.5【新設】
	土間コンクリート t=120(鉄筋D10@200シタ) +FS t=2.5【新設】 四周差筋 D10@200【新設】
	間仕切壁【新設】 ※特記なき限りスタッドは65型とする。 ※壁仕上げは展開図による。
	GW t=50 24K【新設】
	建具【新設】

※改修後は特記なき限り【新設】とする。



■改修前 展開図 凡例 ※特記なき限り下記とする。

	Mコテ+100角タイル【浮き部補修】
	撤去範囲を示す。

※改修前は特記なき限り【既設のまま】とする。

■改修後 展開図 凡例 ※特記なき限り下記とする。

	既設タイルの上、MK t=3【新設】 (ONタイル工法)
	既設Mコテの上、MK t=3【新設】

※改修後は特記なき限り【新設】とする。
※差替部は、特記なくとも既設塗装下地調整(RB種)とする。